

2019年度

事業実績報告書

< 法人本部 >

< 障がい者施設 >

【北広島リハビリセンター】

北広島リハビリセンター更生部
北広島リハビリセンター療護部
北広島リハビリセンター診療部

【地域サポートセンターみなみ】

障がい福祉サービス事業所みなみ
障がい児通所支援事業所みなみ
障がい相談支援事業所みなみ
障がい者生活支援センターみらい

< 高齢者施設 >

【北広島地域サポートセンター四恩園】

北広島リハビリセンター特養部四恩園
北広島ショートステイ四恩園
北広島デイサービスセンター四恩園
デイホームさとみ
デイホームかたる
北広島団地地域交流ホームふれて
北広島市みなみ高齢者支援センター

【北広島団地地域サポートセンターともに】

北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園
北広島居宅介護支援事業所四恩園
北広島訪問看護ステーション四恩園
北広島グループホーム四恩園
北広島複合型サービス四恩園
サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 次

<p>基本理念 … 1</p> <p>2019年度社会福祉法人北海長正会事業実績 … 2</p> <p>法人役員等名簿（2020年3月31日現在） … 4</p> <p>理事会・評議員会・法人内部監査開催状況 … 5</p> <p>経営委員会（経営会議）開催状況 … 11</p> <p>運営委員会（幹部会議）開催状況 … 14</p> <p>サービス検討委員会（障がい者施設）開催状況 … 16</p> <p>サービス検討委員会（高齢者施設）開催状況 … 17</p> <p>2019年度資金収支決算報告書 … 18</p> <p>【障がい者施設関係】</p> <p>1. 運営管理 (1) 2019年度施設行事等実施状況 … 22</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 職員の状況 … 23</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 職員研修実施状況 … 25</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) ボランティア受入状況 … 27</p> <p style="padding-left: 20px;">(5) 面会者状況 … 27</p> <p style="padding-left: 20px;">(6) 施設見学等受入状況 … 28</p> <p style="padding-left: 20px;">(7) 実習生（研修生）受入状況 … 28</p> <p>2-1. 利用者支援状況（更生部） … 29</p> <p>2-2. 利用者支援状況（療護部） … 33</p> <p>2-3. 利用者支援状況（短期入所） … 37</p> <p>2-4. ADL状況 … 38</p> <p>2-5. 食事量形態別食数 … 39</p> <p>2-6. 院外受診状況表 … 40</p> <p>2-7. 理学療法実施状況 … 41</p> <p>2-8. 作業療法実施状況 … 42</p> <p>2-9. 言語療法実施状況 … 42</p> <p>2-10. 自助具制作状況 … 42</p> <p>2-11. 外来患者月別実績表 … 43</p> <p>3. 在宅福祉サービス事業実績状況 … 43</p> <p>4-1. 利用者支援状況（障がい福祉サービス） … 44</p> <p>4-2. 利用者支援状況（障がい児通所支援） … 46</p> <p>4-3. 利用者支援状況（障がい相談支援） … 48</p> <p>5. 障がい者生活支援センターみらい実績状況 … 49</p> <p>6-1. リスクマネジメント報告（更生部・療護部） … 52</p> <p>6-2. リスクマネジメント報告（福祉サービス・障がい児通所） … 53</p> <p>2019年度事業総括 … 54</p>	<p>【高齢者施設関係】</p> <p>1. 運営管理 (1) 職員の状況 … 67</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 職員研修状況 … 69</p> <p>2. 事業実施状況 … 73</p> <p>(1) 特養部 1) 施設サービス利用者状況 … 73</p> <p style="padding-left: 20px;">2) 施設サービス行事等実施状況 … 76</p> <p style="padding-left: 20px;">3) ボランティア受入状況 … 77</p> <p style="padding-left: 20px;">4) 四恩園面会者数 … 77</p> <p style="padding-left: 20px;">5) 家族ボランティア報告 … 78</p> <p>・特別養護老人ホーム 要介護度別利用状況 … 79</p> <p>3. 在宅福祉サービス事業実施状況 … 80</p> <p>・短期入所生活介護要介護度別利用状況 … 80</p> <p>・デイサービスセンター用介護度別利用状況 … 81</p> <p>・デイホームかたる要介護度別利用状況 … 82</p> <p>・デイホームさとみ要介護度別利用状況 … 83</p> <p>・ホームヘルプサービスステーション定期巡回訪問介護・看護 要介護度別利用状況（介護保険制度利用） … 84</p> <p>・ホームヘルプサービスステーション 要介護度別利用状況（介護保険制度利用） … 85</p> <p>・ホームヘルプサービスステーション 類型別利用状況（自立支援法利用状況） … 86</p> <p>・居宅介護支援事業所要介護度別利用状況 … 87</p> <p>・訪問看護ステーション要介護度別利用状況 … 88</p> <p>・複合型サービス要介護度別利用状況 … 89</p> <p>・グループホーム要介護度別利用状況 … 90</p> <p>・サービス付き高齢者向け住宅要介護度別利用状況 … 91</p> <p>4. 北広島市みなみ高齢者支援センター 相談実績報告 … 92</p> <p>5. 2019年度地域交流ホームふれてイベント等報告 … 94</p> <p>6. 2019年度地域交流ホームふれて来場者数 … 96</p> <p>7. 2019年度地域サポートセンターともに利用状況 … 98</p> <p>2019年度事業総括 … 99</p> <p>2019年度高齢者施設リスクマネジメント結果 … 111</p>
---	---

基本理念

施設の信条 < 信頼 > < 恕(思いやり) > < 和 >

社会福祉法人北海長正会は、「ノーマライゼーションの理念」と「自立支援」を基調とし、施設サービス及び在宅サービスの機能を有効に活用し、お客様本位のサービスの提供により要援護者の「基本的人権」「人間としての尊厳」「自己実現」が保たれ、サービス機能の向上を図り、地域の福祉サービスの拠点として一人一人が生きがいを持ち、心豊かな安心した生活が送れるよう、「生活の質」の充実に努めることを基本理念とします。

基本理念を形骸化させないため、職員は施設の信条と共に次の6項目を実践します。

1. [お客様に喜んでもらえるように]

私たちは、お客様本位のサービス提供を実践し「かかりつけ施設」としての信頼を高め、お客様に喜んでもらえるよう誠心誠意努めます。

1. [お客様の役に立てるように]

私たちは、福祉倫理・知識・技術の修得を怠ること無く、自己啓発に励み、お客様の役に立てるようその向上に努めます。

1. [地域に求められる資源として]

私たちは、サービスが地域の方々の生活を支え、無くてはならない資源として求められるサービスを提供できるようその実践に努めます。

1. [力が出る「ほうれんそう」]

私たちは、お客様の役に立つために、一人一人の力を全体の力とするため報告・連絡・相談を徹底しチームワークの結束に努めます。

1. [地域の資源の活用とつながり]

私たちは、お客様のニーズ充足のために関係機関・職種との連携に努め、地域の資源を活用し必要なサービスの提供に努めます。

1. [信頼は接し方から]

私たちは、「同じ目線の高さ」「さわやかなあいさつと笑顔」「声がけ」「聞き手に回る」お客様との日々の接し方が信頼を生むことを知り、その実践に努めます。

2019年度主要課題について

1. 法人を取り巻く情勢と課題

(1) 災害における社会福祉法人の役割

2019年度は幸いにも北海道内において甚大な被害をもたらした災害はなかった。ただ、全国に目を向ければ大型台風による豪雨により被害を受けられた方々を私たちはテレビ報道から数多く見てきた。今までとは明らかに災害を受ける地域や規模には違いがあり、決して対岸の出来事ではないように思われる。当法人における災害対策については、最低限のライフラインの確保と情報を発信・集約するためのインフラの整備を順次進めていく必要がある。災害に強い施設づくりに向けて、今後の施設整備計画の中で構築していかなければならない。

(2) 人材不足に対する取り組み

当法人においては、介護職員、看護職員の確保は喫緊の課題である。2019年度人材確保のための具体的な取り組みとして計画した5項目①介護職員等の処遇改善加算の活用、②職員育成を目的とした資格取得支援、③職員の自己啓発を図ることを目的とした資格手当支給、④星槎道都大学と連携、⑤社会福祉の仕事を理解してもらうためのPR活動、については順次実施してきた。特に、社会福祉の仕事を理解してもらうためのPR活動により、福祉の仕事に興味を持ち、就職に至ったケースも現れた。また、新たな取り組みとして、星槎道都大学生のインターシップ制度による外国人留学生の受入れや人材派遣会社を介しての外国人留学生の受入れのためのプログラムをスタートさせた。今後、法人内で外国人を受け入れていくための体制づくりを進めていく。

(3) AI・介護ロボット活用と備え

当法人におけるAI・介護ロボットの導入については「介護ベッド（離床見守りシステム）」、「タブレットを活用したお客様情報管理システム」の活用に限られている。AI・介護ロボットの導入に向けては、人間の腕や腰の動きを補助するマッスルスーツやインターカムなどは職員の負担軽減、人材不足を補うシステムとして補助金を活用した導入が進んできており、法人としても乗り遅れることなく施設改修計画と合わせて導入を進めていかなければならない。

2. 法人事業の課題

(1) 基本理念と倫理綱領に基づくケアの提供

2019年度の研修においては、当法人の歩みから制度との関わりや法人の役割、さらにはこれからの法人の取り組みについて学び（かたる）研修、ハラスメントに関する研修、人材育成に関する研修、介護技術に関する研修などが行われた。職員一人ひとりが研修で得た学びや気づきをそれぞれの現場で活かし、法人全体の力としていかなければならない。

基本理念と倫理綱領に基づくケアについては今後も継続して学び、そして実践し、日々の業務の中で今何が足りていて何が足りないのかを問い続けていかなければならない。

(2) 第2期3ヶ年アクションプランに向けて

障がい者施設は、障がい者施設グランドデザインに基づき2020年度更生部入所支援事業の廃止と療護施設を中心とした施設体系移行に向けた取り組みを行ってきた。更生部の定員削減については減員数が減少しており、2020年度中の廃止に向けて目途が立った状況である。今後は療

護施設と更生部に代わる新規事業による経営安定化に向けシフトしていかなければならない。また、大規模改修に向けてはお客様のプライバシーや生活を重視したサービスの転換を図るための改修や災害や感染症に強い施設づくりに向け取り組んでいく。

高齢者施設は、北広島団地地区の要支援・要介護高齢者数の動向を元に訪問系サービスの新事業として定期巡回型・夜間対応型サービスを新たにスタートさせた。新たな事業は北広島市内の要介護者の在宅生活の継続を支えるものであり、住み慣れた地域で安心した暮らしを継続していくための取組は今後も行政とともに推進していかなければならない。また、高齢者施設についても開設から25年を経過し建物の老朽化課題となっている。大規模改修工事を障がい者施設とともに検討していく。

(3) 連携強化のためのコミュニケーション

お客様の役に立つために、職員一人ひとりが報告・連絡・相談も含め、互いにコミュニケーションを図りお客様のニーズに応えていかなければならない。また、コミュニケーションはお客様、ご家族、職員相互の人間関係を良好に築くために必要不可欠なものであり、業務を遂行する上で欠くことのできないものである。法人の基本理念、倫理綱領に基づき今後もあらゆる機会を通して職員同士の意思疎通等、コミュニケーションを図る場を作りサービスの質向上につなげていく。

3. 2019年度決算状況概要

2019年度決算における収益状況は当法人の主力財源となる介護保険事業収益が前年度から約2.6%の増加となる一方、障害福祉サービス等事業収益が約7.1%、減少したことにより法人全体でのサービス活動収益は前年度を約6.1%下回る実績となっている。後者の障害福祉サービス等収益の減少は主に障がい者支援施設のグランドデザインに基づく取組の過程で生ずる施設利用者現員数の調整に伴う稼働率の低下がその要因である。具体的には3ヵ年の中で段階的に現員数の減少を行い、2拠点ある障がい者支援施設を一元化し、大規模改修による環境面での整備を図ることを目指すものである。この段階的に現員数を減らす調整では介護報酬が一時的に減少することになり、その状況が最大に達する時期が2019年度であるといえる。このことから2019年度決算の特徴は障がい者施設での減収を高齢者施設の増収で補う形で推移したものと考えている。

その他の特徴的な所見としては年度末に発生した新型コロナウイルス感染症による通所系事業での稼働率が大きく低下したことによる減収が挙げられる。同時に感染症の予防と拡大を回避する上での対策費の増大も費用面での予期せぬ状況であるといえる。

費用については収益の減少に対応して人件費や経常経費に係る固定費の減少も実績として決算に反映している状況である。その他の特徴的なところではこれまで賞与引当金を年度末に計上していたが賞与支給額の算定は収支状況によるため、不確定要素が多い理由から2019年度決算からは計上しないことで処理を行っている。最終的な決算として資金収支計算上での当期資金収支差額は△23,294千円ではあるが事業活動計算上の当期活動増減差額は21,472千円計上したことで前期より純資産を△5,790千円の減少に留めた実績となっている。次年度では新型コロナウイルス感染症への対策をさらに強化し、安心して利用できる体制の構築が急務である。また財政面においては障がい者支援施設の療護部を段階的に定員水準に引き上げて、増収を図ることや高齢者施設の利用率がさらに安定した状態で維持できるよう取り組むことにしたい。

法人役員等名簿

【理事・監事】 < 理事:7名、監事:2名 >

2020年3月31日現在

	役職名	氏名	役員初就任年月日	今期(第23期)任期	備考
1	理事長	三瓶 徹	2000.10.18	2019.6.20~※	代表権有 2018.8.30理事長就任
2	常務理事	中川 浩一	2016.10.18	2019.6.20~※	
3	理事	中村 琢哉	2010.10.18	2019.6.20~※	
4	理事	石黒 絵里	2010.10.18	2019.6.20~※	
5	理事	對馬 伸泰	2016.10.18	2019.6.20~※	
6	理事	神部 健史	2016.10.18	2019.6.20~※	
7	理事	長澤 邦彦	2019. 6.20	2019.6.20~※	
1	監事	高島 徹	2017. 4. 1	2019.6.20~※	
2	監事	前田 泰則	2016.10.18	2019.6.20~※	

※選任後2年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員】 < 評議員:8名 >

2020年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第9期)任期	備考
1	安宅 鋭治	2010. 4. 1	2017. 4. 1~※	
2	姉崎 重延	2010.10.18	2017. 4. 1~※	
3	小江 久恵	2008. 4. 1	2017. 4. 1~※	
4	河井 芳樹	2017. 4. 1	2017. 4. 1~※	
5	酒井 喜代司	2008. 4. 1	2017. 4. 1~※	
6	富田 政義	2002. 4. 1	2017. 4. 1~※	
7	野村 幸宏	2017. 4. 1	2017. 4. 1~※	
8	吉田 俊文	2010. 4. 1	2017. 4. 1~※	

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員選任解任委員】 < 委員5名 >

2020年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第1期)任期	備考
1	高島 徹	2017. 4. 1	2017.4. 1~ ※	法人監事
2	前田 泰則	2017. 1.12	2017.1.12~ ※	法人監事
3	市川 茂春	2017. 1.12	2017.1.12~ ※	外部委員
4	三木 千晶	2017. 1.12	2017.1.12~ ※	外部委員
5	齊藤 久男	2017. 1.12	2017.1.12~ ※	法人事務局

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【苦情解決第三者委員】 < 障がい者施設:2名、高齢者施設:2名 >

2020年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第10期)任期	備考
1	桂 靖恵	2010. 4. 1	2018. 4. 1~2020. 3.31	障がい者施設担当
2	浅沼 節子	2014. 4. 1	2018. 4. 1~2020. 3.31	障がい者施設担当
1	島谷 清張	2018. 4. 1	2018. 4. 1~2020. 3.31	高齢者施設担当
2	藤野 紀代子	2018. 4. 1	2018. 4. 1~2020. 3.31	高齢者施設担当

2019年度 理事会・評議員会・法人内部監査開催状況

<理事会開催状況>

【第187回理事会】

日時 2019年6月5日(水) 15:00 ~

場所 北広島リハビリセンター 会議室

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

内容 <決議事項>

1. 経理規程の一部改正について
2. 地域支援の拠点に向けた土地・建物の取得について
3. 2018年度事業実績報告の審議について
4. 2018年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
5. 2018年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
6. 2019年度第56回評議員会(定時評議員会)の招集について

<選任事項>

1. 第23期法人役員候補者の推薦について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 障がい者支援施設のグランドデザインに係る進捗状況について
4. 北海道胆振東部地震の支援活動に対する北海道からの感謝状授与について

<その他>

1. 次回理事会の開催予定について

【第188回理事会】

日時 2019年6月20日(木) 17:30 ~

場所 北広島リハビリセンター 会議室

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事
長澤理事 前田監事 他法人事務局員5名同席

欠席者 高島監事

内容 <報告事項>

1. 2019年度第56回評議員会による新役員の承認について

<選任事項>

1. 理事長及び常務理事の選任について

<その他>

1. 次回理事会の開催予定について

【第189回理事会】

日時 2019年9月10日(火) 15:00 ~

場所 北広島リハビリセンター 会議室

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 神部理事 長澤理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席

欠席者 對馬理事

内容 <決議事項>

1. 定款の一部変更について
2. 2019年度法人会計各拠点区分収支予算の補正について
3. 障がい者利用のグループホーム及び自立生活支援事業の創設について
4. 2019年度第57回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 特定処遇改善加算の申請について
4. 障がい者生活支援センターみらいの実地指導結果について
5. 高齢者施設ご利用者様からの損害賠償請求について

<その他>

1. 次回理事会の開催予定について

【第190回理事会】

日時 2019年12月3日(火) 16:00 ~
場所 京王プラザホテル札幌 2階 ラベンダー
出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事
長澤理事 高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

内容 <決議事項>

1. 介護福祉士資格取得支援制度運用規程の一部改正について
2. 外国人介護留学生の受け入れについて
3. 2019年度第58回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 障がい者利用のグループホーム及び自立生活支援事業について
3. 理事の職務執行状況報告について
4. 障害者総合支援法及び虐待防止法に基づく北広島市による聞き取り調査について
5. 石狩振興局による社会福祉施設に係る指導監査について
6. 人材確保に向けた取り組みについて

<その他>

1. ウィンドウズ7サポート終了に伴うパソコン機器等の更新について
2. 医療法第25条第1項の規定に基づく診療所立入検査の実施について
3. 次回理事会の開催予定について

【第191回理事会】

日時 2020年3月10日(火) 15:00 ~
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 對馬理事 神部理事 長澤理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席

欠席者 石黒理事

内容 <決議事項>

1. 定款の一部変更について
2. 地域密着型通所介護事業の指定申請について
3. 経理規程の一部改正について
4. 2019年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
5. 2020年度事業計画の審議について
6. 2020年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について
7. 地域サポートセンターともとの施設長の選任について
8. 2019年度第59回評議員会の招集について

<選任事項>

1. 第11期苦情解決第三者委員の選任について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 外国人留学生受入に係る経過報告について
4. 石狩振興局による社会福祉施設に係る指導監査結果・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による実地指導の結果について
5. 令和元年度社会福祉法人に係る指導監査結果について
6. 複合型サービスに係る実地指導結果について
7. グループホームに係る実地指導結果について
8. 処遇改善加算の申請について
9. パソコン機器等の更新に伴う経過報告について
10. 2020年度長期勤続職員の表彰について

<その他>

1. 次回理事会の開催予定について

<評議員会開催状況>

【第56回評議員会】

日時 2019年6月20日(木) 15:00 ~
場所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員 吉田評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

内容 <決議事項>

1. 経理規程の一部改正について
2. 地域支援の拠点に向けた土地・建物の取得について
3. 2018年度事業実績報告の審議について
4. 2018年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
5. 2018年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について

<選任事項>

1. 第23期法人役員の選任について

<報告事項>

1. 理事の職務執行状況報告について
2. 障がい者支援施設のグランドデザインに係る進捗状況について
3. 北海道胆振東部地震の支援活動に対する北海道からの感謝状授与について

<その他>

1. 次回評議員会の開催予定について

【第57回評議員会】

日時 2019年9月26日(木) 15:00 ~
場所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 吉田評議員

内容 <決議事項>

1. 定款の一部変更について
2. 2019年度法人会計各拠点区分収支予算の補正について
3. 障がい者利用のグループホーム及び自立生活支援事業の創設について

<報告事項>

1. 理事の職務執行状況報告について
2. 特定処遇改善加算の申請について
3. 障がい者生活支援センターみらいの実地指導結果について
4. 高齢者施設ご利用者様からの損害賠償請求について

<その他>

1. 次回評議員会の開催予定について

【第58回評議員会】

日時 2019年12月19日(木) 15:00 ~
場所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員 吉田評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

内容 <決議事項>

1. 介護福祉士資格取得支援制度運用規程の一部改正について
2. 外国人介護留学生の受け入れについて

<報告事項>

1. 障がい者利用のグループホーム及び自立生活支援事業について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 障害者総合支援法及び虐待防止法に基づく北広島市による聞き取り調査について
4. 石狩振興局による社会福祉施設に係る指導監査について
5. 人材確保に向けた取り組みについて

<その他>

1. ウィンドウズ7サポート終了に伴うパソコン機器等の更新について
2. 医療法第25条第1項の規定に基づく診療所立入検査の実施について
3. 次回評議員会の開催予定について

【第59回評議員会】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による決議の省略(みなし決議)
年月日 2020年3月25日付(全評議員同意及び承認年月日)
同意者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員 吉田評議員
提案者 三瓶理事長
記録 中川常務理事
内容 <決議事項>

1. 定款の一部変更について
2. 地域密着型通所介護事業の指定申請について
3. 経理規程の一部改正について
4. 2019年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
5. 2020年度事業計画の審議について
6. 2020年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について
7. 地域サポートセンターともにの施設長の選任について

<選任事項>

1. 第11期苦情解決第三者委員の選任について

<報告事項>

1. 理事の職務執行状況報告について
2. 外国人留学生受入に係る経過報告について
3. 令和元年度社会福祉法人に係る指導監査結果について
4. 複合型サービスに係る実地指導結果について
5. グループホームに係る実地指導結果について
6. 処遇改善加算の申請について
7. パソコン機器等の更新に伴う経過報告について
8. 2020年度長期勤続職員の表彰について

<その他>

1. 次回評議員会の開催予定について

<法人内部監査開催状況>

【第183回法人内部監査】

日時 2019年5月27日(月) 14:00 ~ 17:10
日時 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内容 ① 第187回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況(2019年1月~3月分)
③ 2018年度事業実績状況
④ 第23期法人役員の選任に係る状況
⑤ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑥ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑦ 2018年度決算状況(計算書類・附属明細書・社会福祉充実残額他)
⑧ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
⑨ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
⑩ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑪ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
⑫ 契約関係全般

【第184回法人内部監査】

日時 2019年9月3日(火) 14:00 ~ 16:50
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内容 ① 第189回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況(2019年4月~6月分)
③ 障がい者施設の新規事業に係る状況(グループホーム等創設)
④ 所轄庁における実地指導の状況
⑤ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑥ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑦ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
⑧ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
⑨ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑩ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
⑪ 契約関係全般

【第185回法人内部監査】

日時 2019年11月26日(火) 14:00 ~ 16:40
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内容 ① 第190回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況(2019年7月~9月分)
③ 障がい者施設の新規事業に係る状況(グループホーム等創設)
④ 所轄庁・実施機関等による指導監査及び調査等の状況
⑤ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑥ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑦ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
⑧ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
⑨ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑩ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
⑪ 契約関係全般

【第186回法人内部監査】

日 時 2020年3月3日(火) 14:00 ~ 17:00
場 所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内 容

- ① 第191回理事会の議案内容確認
- ② 理事・評議員の職務執行状況(2019年10月~12月分)
- ③ 障がい者施設の新規事業に係る状況(地域密着型通所介護事業)
- ④ 所轄庁・実施機関による指導監査及び実地指導結果
- ⑤ 2020年度事業計画案及び当初予算案の確認
- ⑥ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
- ⑦ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
- ⑧ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
- ⑨ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
- ⑩ 各種証憑書類等の精査及び照合他
- ⑪ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
- ⑫ 契約関係全般

経営委員会（経営会議）開催状況 2019年度実績

日 時	議 題
2019年4月24日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 社会福祉法人北海長正会キャリアパス要件一覧について 4. 2019年度前期人材考課システムの実施について 5. サービス検討委員会実施要領(案)について 6. 介護現場におけるハラスメント対策マニュアルについて 7. 各資格団体(協会等)の会費等扱いについて 8. 法人研修の開催予定について 9. 障がい療育キャンプ事業への協力(職員派遣)について 10. 星槎道都大学との連携について <報告事項> 1. 介護福祉士資格取得支援制度運用規程に伴う支給決定について 2. 在籍状況について 3. 3月の実績状況について 4. 各サービス事業所の動向と課題 5. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2019年5月29日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. ヒアリングの実施について 4. 星槎道都大学との連携について 5. マイナビによる「2019年度卒業生向け就職説明会」の実施について <報告事項> 1. 地域支援の拠点に向けた土地・建物の取得について 2. 在籍状況について 3. 4月の実績状況について 4. 各サービス事業所の動向と課題 5. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2019年6月26日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況について 4. 法人職員福利厚生事業について <報告事項> 1. 障がい者グループホーム創設予定地の購入に係る土地建物売買契約について 2. 人事について 3. 第2回夏祭りの実施について 4. 石狩振興局による実地指導の実施について(障がい者施設) 5. 在籍状況について 6. 5月の実績状況について 7. 各サービス事業所の動向と課題 8. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 9. 各種委員会委員長会議(四恩園)の開催について
2019年7月24日(水) 10:30～12:30 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 介護現場におけるハラスメント対策について 4. 障がい者施設“グランドデザイン”夢・未来・感動”プロジェクト進捗状況について <報告事項> 1. 障がい者グループホーム等創設予定地の購入に係る土地建物売買について 2. 第1回障がい者施設サービス検討委員会について 3. 千歳保健所による診療所立入検査の実施について 4. 在籍状況について 5. 6月の実績状況について 6. 各種委員会委員長会議の実施について 7. 人事について 8. 各サービス事業所の動向と課題 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 10. 地域夏祭りへの参加について

日 時	議 題
2019年8月23日(金) 10:30～12:40 出席者 6名 欠席者 1名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 特定処遇改善加算に伴う対応について 4. 障がい者施設「ランドデザイン」夢・未来・感動プロジェクト進捗状況について 5. 「離職介護福祉士等届出制度」PR動画の作成に係る撮影協力について 6. 札幌圏内の法人による合同セミナー「福祉を知るセミナーinテレビ塔」の実施について <報告事項> 1. 人事について 2. 在籍状況について 3. 7月の実績状況について 4. 各サービス事業所の動向と課題 5. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 6. 働く女性のための就職相談会について
2019年9月25日(水) 9:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 外国人介護留学生の受け入れについて 4. 「ランドデザイン」夢・未来・感動プロジェクト委員会進捗状況について 5. 札幌圏内の法人による合同セミナー「福祉を知るセミナーinテレビ塔」の実施について <報告事項> 1. 星槎道都大学との包括的連携について 2. 新規採用職員希望について 3. 在籍状況について 4. 8月の実績状況について 5. 金銭管理体制の見直しについて 6. 人事について 7. 各サービス事業所の動向と課題 8. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 9. 「福祉のお仕事～合同就職相談会」について 10. 特別養護老人ホーム入所者家族からの損害請求について
2019年10月25日(水) 10:30～12:20 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 資格取得支援制度利用者募集期間について 4. 北広島市による聞き取り調査結果について 5. 障がい者施設「ランドデザイン」夢・未来・感動プロジェクト進捗状況について <報告事項> 1. 星槎道都大学との包括的連携について 2. 在籍状況について 3. 9月の実績状況について 4. 人事について 5. 各サービス事業所の動向と課題 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2019年11月27日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 12月賞与の支給について 3. 法人事業委員会の進捗状況について 4. 2020年度法人内研修について 5. Windows7のサポート終了に伴うパソコン機器の更新について 6. 職員交流事業について <報告事項> 1. 石狩振興局による指導監査について 2. 千歳保健所による診療部立入検査について 3. 人事について 4. 在籍状況について 5. 10月の実績状況について 6. 各サービス事業所の動向と課題 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況

日 時	議 題
2019年12月25日(木) 9:30～12:30 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 資格取得支援制度利用者募集期間について 4. 職員交流事業について 5. 医師の勤務変更について <報告事項> 1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト進捗状況について 2. 石狩振興局による指導監査結果について 3. 人事について 4. 在籍状況について 5. 11月の実績状況について 6. 各サービス事業所の動向と課題 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 8. 介護保険制度改正見込みについて
2020年1月29日(水) 11:00～12:30 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 新人事制度構築グランドデザインについて 4. 2020年事業概要の発刊について 5. 2019年度下半期、2020年度新規採用職員研修について 6. 職員交流事業について 7. 3月経営会議、幹部会議、チーフ会議(高齢者施設)日程の変更について <報告事項> 1. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況について 2. 人事について 3. 在籍状況について 4. 12月の実績状況について 5. 各サービス事業所の動向と課題 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2020年2月26日(水) 10:30～12:45 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 新型コロナウイルスの対応について 4. 介護職員資格取得支援制度利用の募集について 5. 各種委員会委員の委嘱について <報告事項> 1. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会の進捗状況について 2. 人事について 3. 在籍状況について 4. 1月の実績状況について 5. 各サービス事業所の動向と課題 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2020年3月31日(火) 10:30～12:30 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 新型コロナウイルスの対応について 4. 介護支援専門員更新研修助成の一部変更について 5. 各種委員会委員規程の見直しと委員の委嘱について 6. 労働基準法施行規則の改正による職員代表の選出について <報告事項> 1. 2020年度社会福祉法人北海長正会事業計画について 2. 長期勤続職員の表彰について 3. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会の進捗状況について 4. 介護職員資格取得支援制度利用の募集について 5. 人事について 6. 在籍状況について 7. 2月の実績状況について 8. 各サービス事業所の動向と課題 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況

運営委員会(幹部会議)開催状況 2019年度実績

日 時	議 題
2019年4月26日(金) 9:30～10:50 出席者 17名 欠席者 0名	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 社会福祉法人北海長正会キャリアパス要件一覧について 4. 2019年度前期人材考課システムの実施について 5. サービス検討委員会実施要領(案)について 6. 介護現場におけるハラスメント対策マニュアルについて 7. 各資格団体(協会等)の会費等扱いについて 8. 法人研修の開催予定について 9. 障がい療育キャンプ事業への協力(職員派遣)について 10. 星槎道都大学との連携について 11. 介護福祉士資格取得支援制度運用規程に伴う支給決定について 12. 各事業の利用状況と動向について
2019年5月31日(金) 9:30～11:00 出席者 16名 欠席者 1名	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. ヒアリングの実施について 4. 星槎道都大学との連携について 5. マイナビによる「2019年度卒業者向け就職説明会」の実施について 6. 地域支援の拠点に向けた土地・建物の取得について 7. 各事業の利用状況と動向について
2019年6月28日(金) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 0名	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. グランドデザイン「夢・未来・感動プロジェクト委員会進捗状況について 4. 法人職員福利厚生事業について 5. 障がい者グループホーム創設予定地の購入に係る土地建物売買契約について 6. 人事について 7. 石狩振興局による実地指導の実施について(障がい者施設) 8. 各事業の利用状況と動向について
2019年7月26日(金) 9:30～11:00 出席者 16名 欠席者 1名	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務等の報告について 2. 6月賞与の支給について 3. 2019年度各事業ヒアリング(中間)の実施について 4. ハラスメント予防研修会の実施について 5. 星槎道都大学との連携について 6. マイナビによる「2019年度卒業者向け就職説明会」の実施について 7. 安全運転講習会の開催について 8. 地域支援の拠点に向けた土地・建物の取得について 9. 人事について 10. 各事業の利用状況と動向について
2019年8月30日(金) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 0名	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務等の報告について 2. グランドデザイン「夢・未来・感動プロジェクト委員会進捗状況について 3. 特定処遇改善加算について 4. 「離職介護福祉士等届出制度」PR動画の作成に係る撮影協力について 5. 札幌圏内の法人による合同セミナー「福祉を知るセミナーinテレビ塔」の実施について 6. 人事について 7. 各事業の利用状況と動向について
2019年9月27日(金) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 0名	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 2019年度事業計画中間ヒアリングの実施について 4. グランドデザイン「夢・未来・感動プロジェクト委員会進捗状況について 5. 札幌圏内の法人による合同セミナー「福祉を知るセミナーinテレビ塔」の実施について 6. 星槎道都大学との包括的連携について 7. 金銭管理体制の見直しについて 8. 各事業の利用状況と動向について 9. 「福祉のお仕事～合同就職相談会」、「第2回福祉職場説明会」について 10. 特別養護老人ホーム入所者家族からの損害請求について

日 時	議 題
2019年10月27日(金) 9:30～11:00 出席者 16名 欠席者 1名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 資格取得支援制度利用者募集期間について 4. 北広島市による聞き取り調査結果について 5. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト進捗状況について 6. 星槎道都大学との包括的連携について 7. 人事について 8. 各事業の利用状況と動向について 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2019年11月29日(金) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 0名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 12月賞与の支給について 3. 法人事業委員会の進捗状況について 4. 2020年度法人内研修について 5. Windows7のサポート終了に伴うパソコン機器の更新について 6. 職員交流事業について 7. 人事について 8. 各事業の利用状況と動向について 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2019年12月26日(木) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 0名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 資格取得支援制度利用者募集期間について 3. 職員交流事業について 4. 医師の勤務変更について 5. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト進捗状況について 6. 石狩振興局による指導監査結果について 7. 人事について 8. 各事業の利用状況と動向について 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について 10. 介護保険制度改正見込みについて
2020年1月31日(金) 9:30～10:45 出席者 16名 欠席者 1名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 2020年事業概要の発刊について 3. 2019年度下半期、2020年度新規採用職員研修について 4. 職員交流事業について 5. 3月経営会議、幹部会議、チーフ会議(高齢者施設)日程の変更について 6. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト進捗状況について 7. 人事について 8. 各事業の利用状況と動向について 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年2月28日(金) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 0名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 新型コロナウイルスの対応について 3. 介護職員資格取得支援制度利用の募集について 4. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト進捗状況について 5. 人事について 6. 各事業の利用状況と動向について 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年3月31日(火) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 0名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 新型コロナウイルスの対応について 3. 労働基準法施行規則の改正による職員代表の選出について 4. 介護支援専門員更新研修助成の一部変更について 5. 各種委員会委員規程の見直しと委員の委嘱について 6. 2020年度社会福祉法人北海長正会事業計画について 7. 長期勤続職員の表彰について 8. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会の進捗状況について 9. 介護職員資格取得支援制度利用の募集について 10. 人事について 11. 各事業の利用状況と動向について 12. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について

サービス検討委員会（障がい者施設） 開催状況 2019年度実績

日 時	議 題
<p>2019年7月31日(水) 13:30～15:30 出席者 16名 欠席者 0名</p>	<p><検討事項> 1. 当委員会の発足目的と委員会の進め方について 2. 障がい者施設グラウンドデザインの概要について 3. 各事業の実績状況について 1) 北広島リハビリセンター更生部 2) 北広島リハビリセンター療護部 3) 北広島リハビリセンター診療部 4) 障がい児通所支援事業所みなみ 5) 障がい福祉サービス事業所みなみ 6) 障がい者生活支援センターみらい 7) 障がい者施設共通事項 4. 次回委員会の開催予定について</p>
<p>2019年10月30日(水) 14:00～15:30 出席者 16名 欠席者 0名</p>	<p><検討事項> 1. 北海道福祉サービス運営適正化委員会 苦情申し立てについて 2. 金銭管理体制の見直しについて 3. 障害者総合支援法及び虐待防止法に基づく北広島市による聞き取り調査について 4. 各事業の実績状況について 1) 北広島リハビリセンター更生部 2) 北広島リハビリセンター療護部 3) 北広島リハビリセンター診療部 4) 障がい児通所支援事業所みなみ 5) 障がい福祉サービス事業所みなみ 6) 障がい者生活支援センターみらい 7) 障がい者施設共通事項 5. 次回委員会の開催予定について</p>
<p>2020年1月29日(水) 14:00～15:30 出席者 14名 欠席者 2名 (三熊委員、浅沼委員)</p>	<p><検討事項> 1. 石狩振興局による社会福祉施設に係る指導監査結果・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による実地指導の結果について 2. 各事業の実績状況について 1) 北広島リハビリセンター更生部 2) 北広島リハビリセンター療護部 3) 北広島リハビリセンター診療部 4) 障がい児通所支援事業所みなみ 5) 障がい福祉サービス事業所みなみ 6) 障がい者生活支援センターみらい 7) 障がい者施設共通事項 3. 次回委員会の開催予定について</p>

サービス検討委員会（高齢者施設）開催状況 2019年度実績

日 時	議 題
<p>第76回サービス検討委員会 2019年4月25日(木) 13:30~15:30 出席者 18名 欠席者 1名</p>	<p><報告事項> 1. 各事業の実施状況と自己、ヒヤリハット報告 2. 外部委員からの意見等 ・他のサ高住入居者の転倒による骨折で訴えられるケースがある。利用者の意向を聴くことはもちろんだができない事、出来ることを明確に説明する事の重要性の助言があった。 ・当法人のサービスを評価し、リーダーシップを発揮してほしいとの評価があった。 3. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</p>
<p>第77回サービス検討委員会 2019年7月24日(木) 13:30~15:00 出席者 17名 欠席者 2名</p>	<p><報告事項> 1. 各事業の実施状況と自己、ヒヤリハット報告 2. 外部委員からの意見等 ・実習生の対話より十種プログラムの充実していることを感じた。 ・地域の夏祭りへ参加される車いすを利用されている方への支援のためのレクチャーに対する要望があった。 3. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</p>
<p>第78回サービス検討委員会 2018年10月24日(木) 13:30~14:30 出席者 16名 欠席者 3名</p>	<p><報告事項> 1. 各事業の実施状況と自己、ヒヤリハット報告 2. 外部委員からの意見等 ・事故等が発生した場合に、連絡が付く職員を必ず配置するなどの工夫が必要との助言がある。 ・市民スタッフとして活動しているが何歳まで続けられるかと自問自答しているが自分より年上の方の参加があるとうれしいと思うと同時に人を集めることのむずかしさを感じるとの意見がある。 3. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</p>
<p>第79回サービス検討委員会 2020年1月23日(木) 13:30~15:30 出席者 19名 欠席者 0名</p>	<p><報告事項> 1. 各事業の実施状況と自己、ヒヤリハット報告 2. 外部委員からの意見等 ・サービス利用者の中には「何でもやってくれる」という意識を持つ人も多い。「四恩園がしているなら自分らもしなければ・・・」と過剰なサービスにつながる場合もあり、どこかで枠組みを決める必要もあるのではないかと助言がある。 ・現場は最悪の状態を考えて行動はしないため、何か起きた時に迅速かつ誠実な対応をしなければ不満はエスカレートしていくとの助言がある。 3. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</p>

2019年度資金収支決算報告書

(自) 2019年4月1日 (至) 2020年3月31日

No.4

(単位) 円

<高齢者施設>

Table with 10 columns: 取支区分及び科目, 拠点区分, 住宅介護支援, 訪問看護, 高齢者支援センター, 少高住おん, 初任者研修, 小計②, 合計, 備考. Rows include detailed financial breakdown for activities like medical support, staff training, and facility management.

1. 運営管理

(1) 2019年度施設行事等実施状況

障がい者支援施設部門

月	日	曜日	行事名	参加人数			計
				利用者	職員	ボランティア	
4	10	水	喫茶わいわい	60	5	3	68
	24	水	セレクトメニュー	80	20		100
	24	水	華道クラブ	2	0	3	5
5	8	水	朗読の会	16	2	2	20
	15	水	外出レク①(AMランチツアー・PMイオン平岡)	10	10		20
	22	水	お花見	70	10		80
	22	水	喫茶わいわい	70	4		74
	29	水	外出レク②(AMランチツアー・PMイオン平岡)	10	10		20
6	5	水	防火総合訓練	110	80		190
	6	木	プチバイキング	80	20		100
	12	水	喫茶わいわい	60	4	3	67
	19	水	外出レク③(円山動物園)	5	5		10
	24	水	外出レク④(AMランチツアー・PMイオン平岡)	10	10		20
	26	水	華道クラブ	2	0	3	5
	27	木	シネマサロン	30	3		33
7	3	水	外出レク⑤(AMランチツアー、PMイオン平岡)	10	10		20
	6	水	シネマサロン	30	3		33
	10	水	ビアガーデン	80	15		95
	27	土	第2回北広島リハビリセンター夏祭り	80	80	22	182
	31	水	外出レク⑥(千歳空港)	5	5		10
8	7	水	盆踊り	60	10	8	78
	14	水	シネマサロン	30	3		33
	28	水	外出レク⑦(新千歳空港)	5	5		10
	28	水	華道クラブ	2	0	3	5
	29	水	セレクトメニュー	80	20		100
9	4	水	外出レク⑧(白い恋人パーク)	5	5		10
	11	水	外出レク⑨(AM/PMイオン)	10	10		20
	18	水	喫茶わいわい	70	4	3	77
	22	日	みなみ祭り	40	20		60
10	2	水	外出レク⑩(マックスパリュ)	5	5		10
	9	水	喫茶わいわい	60	4	3	67
	9	水	みなみ防火総合訓練	30	25		55
	17	水	スペシャルスイーツデイ	80	20		100
	18	木	スペシャルスイーツデイ	80	20		100
	23	水	麻雀の日	8	1	2	11
11	6	水	喫茶わいわい	70	4	3	77
	13	水	防火総合訓練	110	80		190
	13	水	朗読の会	15	2	2	19
	22	金	プチバイキング	80	20		100
	27	水	運動会	80	15		95
12	11	水	年忘れ会食会	80	30	5	115
	25	水	もちつき	80	8		88
1	6	月	新年交礼会・新春カラオケ大会	80	15		95
	16	水	朗読の会	16	2	2	20
	16	水	喫茶わいわい	60	4	3	67
2	25	日	セレクトメニュー	80	20		100
	28	木	ひな祭り	70	10		80

1. 運営管理
 (2) 職員の状況
 ア. 職員配置状況

職員現員 2020年 3月31日現在

項目	北広島リハビリセンター			北広島市介護予防・日常生活支援総合事業		地域サポートセンターみなみ		障がい者生活支援センター	
	更生部	療護部	診療部	いきいきライフ・わくわくフィット	障がい福祉サービス事業所みなみ	障がい児通所支援事業所みなみ	障がい相談支援事業所みなみ	障がい者生活支援センターみらい	
正規職員	19	44	2	[3]	8	2		7	
臨時職員	21	23	3	[1]	16	6		1	
合計	40	67	5	[4]	24	8		8	

職員現員(再掲) 2020年 3月31日現在

職種	職名	更生部			療護部		北広島市介護予防・日常生活支援総合事業		障がい福祉サービス事業所みなみ		障がい児通所支援事業所みなみ		障がい相談支援事業所みなみ	
		機能訓練	生活介護	入所支援	生活介護	入所支援	いきいきライフ	わくわくフィット	機能訓練	生活介護	児童発達支援	放課後等デイサービス		
管理者	施設長(管理者)	1	1	1	1	1	[1]	[1]	1	1	1	1		
サービス管理責任者	生活相談員	1	1	1	2	2			2	2				
児童発達支援管理責任者	生活相談員										1	1		
医師	医師		(2)		(2)				[(1)]	[(1)]	[(1)]	[(1)]		
看護職員医師	看護師	1	(1)(1)	1	1(2)	1				(1)(2)	(1)(1)	(1)(1)		
	准看護師	(1)	(1)											
訓練職員	理学療法士	1	1		[1]		[1]	[1]	1		(1)	(1)		
	作業療法士	1					[1]	[1]		[1]	1	1		
	言語聴覚士				[1]									
	機能訓練		2		2				(1)	(1)(1)				
生活支援員	生活相談員				1	1			1	1				
	介護職員	2	4(5)	6	26(19)(2)	26(2)			2	3(4)(3)				
	保育士										(1)(3)	(1)(3)		
	ケアサポーター		(9)							(7)				
事務職員	事務職員	3	3	1	(1)	3			[1]	[1]				
栄養士	栄養士	1(1)	1(1)	1(1)	1	1								
調理職員	調理師(員)	1(2)	1(2)	1(2)	4(2)	4(2)			1(2)	1(2)				
ボイラー技師	ボイラー技士	1	1	1										
運転技術員	運転技術員				1(1)	1	(1)	(1)			(1)	(1)		
その他	管理当直			(1)		(2)								
	管理日直	(1)	(1)	(1)										
	レントゲン技師		[(1)]		[(1)]									
	【地域支援事業】喫茶管理者								(1)					

() は嘱託・臨職
 [] は診療部兼務

1. 運営管理

(2) 職員の状況

イ. 職員の異動状況

(障 害 者 支 援 施 設)

2020年 3月31日現在

区分	2019. 4. 1付 現在数	2019年度 中途採用	2019年度 退 職	2020. 4. 1付 新規採用	2020. 4. 1付 現在数	備 考
人数	96	2	10 (2月末までの退職数)	6	87	嘱託 3 臨時職員 75

ウ. 職員の異動状況

(障 害 者 支 援 施 設)

2020年 3月31日現在

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
理事長	三 瓶 徹	訓練課長	福 良 貴 博
センター長・更生部施設長	中 川 浩 一	訓練係長	谷 口 勝 也
療護部施設長	齊 藤 久 男	訓練係長	新 井 田 涉
院長 (嘱託医)	對 馬 伸 泰	訓練係主任	濱 元 さ な え
総務課長	山 本 拓 二	介護課長	山 道 祐 子
庶務係長	佐 藤 尚 文	介護一係長	落 合 里 沙
庶務係主任	正 木 美 枝	介護二係長	奈 良 綾 子
係長管理栄養士	木 戸 和 美	介護二係長	佐 藤 宏 美
給食係主任	水 留 直 樹	介護三係長	三 浦 和 紀
会計課長	大 森 浩 昭	介護一係主任	横 井 圭 司
経理係長 (出向)	前 川 忍	介護二係主任	澁 野 有 祐
経理係長	清 水 順 子	介護二係主任	中 出 江 美 子
福祉係長	飯 澤 桃 子	介護三係主任	長 内 隆 二 郎
福祉係長	西 尾 恵 史	障がい地域支援課長	若 狭 聡 美
福祉係主任	今 藤 綾 子	通所支援係長	中 瀬 智 美
看護係長	佐 藤 恵 子	通所支援係長	渡 邊 由 佳
看護係主任	館 山 町 子	通所支援係主任	西 野 正 展
		通所支援係主任	小 俣 東 美 子
		相談支援係長	高 橋 直 子
		相談支援係長	柏 滋

エ. 国家資格取得者

(障 害 者 支 援 施 設)

2020年 3月31日現在

	更生部	療護部	診療部	障がい福祉サービス事業所みなみ	障がい児通所支援事業所みなみ	障がい相談支援事業所みなみ	障害者生活支援センターみらい	計
社会福祉士	1	5		2			7	15
精神保健福祉士							3	3
介護福祉士	4	19		6			1	30
介護支援専門員	1	4		2			2	9
理学療法士	1		1	1	1			4
作業療法士	1				1			2
言語療法士			1					1
柔道整復師	1	1						2
看護師	1	3	1	2	1			8
准看護師	1	1						2
保育士		1			2			3
薬剤師								0
管理栄養士	1	1						2
栄養士	2							2
計	14	35	3	13	5	0	13	83

1. 運営管理

(3) 職員研修実施状況

ア. ① 各種研修会参加の状況（道内）

2019年度

年月日	開催地	研修会名称	参加人数・氏名
2019 4/18	札幌市	働き方改革関連法対応同一労働同一賃金対策	中川・山本拓
5/29	札幌市	集団の個別指導(集団部分)【医科】	對馬・榎又
5/11	札幌市	接触嚙下リハビリテーション北海道地区研修会	濱本
5/22	札幌市	ビジネスマナーセミナー	小笠原・徳永航
6/6～7	札幌市*	介護職員専門研修Ⅰ(1)	中山・宇佐美
6/17～19	札幌市	相談支援従事者研修【現任研修】	沙弥
6/17～19	札幌市	北海道医療的ケア児等コーディネーター養成研修Ⅰ	高橋直
8/19～21	札幌市	北海道医療的ケア児等コーディネーター養成研修Ⅱ	高橋直
6/29～30	札幌市	北海道理学療法士講習会	山本航
7/1	札幌市	障がい支援区分認定調査員研修	吉田和
7/23～25	札幌市	日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害者講師教育課程北海道ブロック	谷口(知)・齋藤恵
8/20	恵庭市	特定給食施設栄養・調理従事者研修会	水留・神
8/27	札幌市	全国身体障害者施設協議会研究大会	齊藤久・佐藤恵・木戸・澤田・中田
9/5	札幌市	安全運転管理者・副安全運転管理者講習	西野
10/21	札幌市	外国人介護人材受け入れ研修事業研修会	山本拓
11/28～29	札幌市*	身体障害者福祉施設職員研修会	齊藤久・正木・高橋奈・澤田
12/5	札幌市	安全運転管理者・副安全運転管理者講習	山下
12/26	札幌市	相談支援従事者研修【専門コース別研修：障害児支援】	高橋直
2020 2/7	札幌市	電気安全講習会	菊池士
2/20～21	札幌市	相談支援従事者研修【児発管向け研修】	小俣
2/21	北広島市	障がい者虐待防止研修会	飯澤・西尾・高橋直・徳永翔
2/27～28	札幌市	児童発達支援管理責任者基礎研修	小俣
			小計 38名(本部1名 更7名 療16名 診2名 みなみ12名)

* 北海道社会福祉協議会研修事業

1. 運営管理

(3) 職員研修実施状況

ア. ② 各種研修会参加の状況（道外）

2019年度

年月日	開催地	研修会名称	参加人数・氏名
2019 4/6～7	仙台市	全国重症児デイサービス・ネットワーク第5回全国大会	齊藤恵
9/30	東京都	福祉事業部スキルアップ研修会	木戸
2020 3/5～6	東京都	経営セミナー	齊藤(久)
			小計 3名(更0名 療2名 診0名 みなみ1名)
			合計 41名(本部1名 更9名 療18名 診2名 みなみ13名)

(3) 職員研修実施状況

イ. 施設内研修実施状況 (課内研修)

2019年度

担 当	実 施 日	研 修 内 容	参 加 人 数
福 祉 課	2019. 5. 23	ケース検討	5 名
	2019. 10. 29	ケース検討	5 名
	2019. 12. 18	福祉課の業務のあり方について	5 名
	2020. 2. 12	福祉課の業務のあり方について	5 名
	2020. 3. 12	福祉課の業務のあり方について	5 名
訓 練 課	2019. 9. 25	「FRRE DAM」介護予防・健康増進プログラム勉強会	8 名
	2020. 2. 5	通所介護事業についての勉強会	8 名
	2020. 3. 25	「panasonicデジタルミラー」操作説明会	10 名
施設職員研修会		【 施設職員研修会 】 グループワーク	
	2019. 8. 15	「事例①ベッド上臥床時の衣服における不適切ケアについて」	20 名
	2019. 8. 29	「事例②食事における不適切ケアについて」	21 名
	2019. 9. 10	「事例③能力に適さない排泄方法の不適切ケア」「事例④挨拶における不適切ケア」	21 名
	2019. 9. 18	「事例⑤車椅子移動介助の不適切ケアについて」	22 名
	2019. 9. 24	「事例⑥整容における不適切ケアについて」	19 名
法人全体研修		法人全体研修	
	2019. 4. 17	今後の障がい者施設の運営体制について (第1回)	70 名
	2019. 4. 25	今後の障がい者施設の運営体制について (第2回)	50 名
	2019. 9. 2～	新規採用職員研修	6 名
	2019. 5. 24	法人全体研修「社会福祉法人という組織で働くこと」	67 名
	2018. 6. 11	法人全体研修「社会福祉法人という組織で働くこと」	28 名
	2019. 6. 15	法人階層別研修 「自分に求められている役割と機能を発揮するために」	32 名
	2019. 7. 23	法人全体研修ハラスメント研修	29 名
	2019. 7. 30	法人全体研修ハラスメント研修	46 名
	2019. 8. 24	法人階層別研修 「自分に求められている役割と機能を発揮するために」	28 名
	2019. 11. 2	法人階層別研修 「自分に求められている役割と機能を発揮するために」	20 名
	2019. 11. 6	法人全体専門研修 カイゴのチカラ向上研修「よりよい職場づくりをめざして」	7 名
	2019. 11. 7	快適送迎検討委員会・感染対策衛生管理委員会合同研修 交通安全講習会	40 名
	2019. 12. 5	法人全体専門研修 カイゴのチカラ向上研修「よりよい職場づくりをめざして」	4 名
2020. 1. 18	法人階層別研修 「自分に求められている役割と機能を発揮するために」	22 名	
2020. 2. 5	幹部職員考課者研修	55 名	

633 名

1. 運営管理

(4) ボランティア受け入れ状況 (ボランティア数)

2019年度

	種目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	種目合計
クラブ	書道	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6(3)
	華道	2(1)		2(1)		2(1)								
定期レク	喫茶	3					3	3	3			3		15
	朗読の会		2				2		2			2		8
	麻雀の日		2					2			2		2	8
全体レク	夏祭り				22									22
	盆踊り							8						8
	年忘れ会食会													
その他	繕い物	4		6	5		6		7			6		34
	車椅子清掃			23				39						62
	月別合計	9(1)	4	31(1)	27	2(1)	11	52	12	0	2	11	2	163(3)

() はクラブ講師ボランティア数

【 定期協力ボランティア団体・個人名 】

- あゆみの会 様 ●アオサギの会 様 ●千歳航空自衛隊第2航空団 様
- 浅沼 節子 様 (華道講師) ●北広島市赤十字奉仕団Vo 様

(5) 面会者状況

2019年度

月別面会者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	204	215	227	199	188	190	172	162	195	208	131	104	2,195
1日平均	6.8	6.9	7.6	6.4	6.1	6.3	5.5	5.4	6.3	6.7	4.5	3.4	6.0

1. 運営管理

(6) 施設見学等受け入れ状況

2019年度

北広島リハビリセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団 体 数	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3
見学者数	0	0	0	0	5	0	22	30	0	0	0	0	57
地域サポートセンターみなみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団 体 数	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	4
見学者数	0	0	0	5	10	0	18	0	0	0			33

(7) 実習生(研修生)受け入れ状況

2019年度

学 校 名	期 間	人 数	配 置 部 署
ハーベスト医療福祉専門学校	2019 5/7 ~ 5/24	1	診療部 訓練課
ハーベスト医療福祉専門学校	8/26 ~ 10/18	1	診療部 訓練課
藤女子短期大学	5/20 ~ 6/1	2	障がい地域支援課
藤女子短期大学	6/3 ~ 6/17	2	障がい地域支援課
藤女子短期大学	9/31 ~ 10/15	1	障がい地域支援課
藤女子短期大学	10/15 ~ 11/2	1	障がい地域支援課
星槎道都大学	9/2 ~ 10/4	1	療護部 福祉課
ハーベスト医療福祉専門学校	2020 2/3 ~ 2/21	1	診療部 訓練課
北海道文教大学	2/17 ~ 2/21	1	診療部 訓練課
札幌医療リハビリ専門学校	3/2 ~ 3/7	1	更生部 訓練課
計		12	

2-1 利用者支援状況

【更生部】

(1) 定員

2020年3月31日現在

	機能訓練	生活介護	入所支援
定員	6	34	40

(2) 日中活動・施設入所支援利用状況

2019年度

月	機能訓練（定員6名）		生活介護（定員54名）		入所支援（定員60名）	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	1.0	23	35.3	23	36.7	30
5月	1.0	24	34.0	24	35.4	31
6月	1.0	23	32.3	23	33.7	30
7月	1.0	24	31.2	24	32.5	31
8月	0.0	24	29.1	24	30.1	31
9月	0.0	23	26.3	23	27.5	30
10月	0.0	24	25.0	24	26.0	31
11月	0.0	23	25.9	23	25.9	30
12月	0.0	23	25.7	23	25.5	31
1月	0.0	23	25.7	23	25.4	31
2月	0.0	22	24.2	22	25.0	29
3月	0.0	24	23.5	24	26.1	29
平均	0.3	23.3	28.2	23.3	29.2	30.3

(3) 入所経路【施設入所支援対象者】

2019年度

		在宅より		病院より		他施設より		合計	
施設入所支援	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護		0		0		0		0
合計		0		0		0		0	

(4) 退所理由【施設入所支援対象者】

2019年度

		施設移行								在宅			医療機関		死亡退所		合計		
		授産施設		療護施設		老人施設		その他											
施設入所支援	機能訓練	2	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	
	生活介護		2		9		0		1		0		0		0		12	12	
合計		2		9		0		1		0		0		0		12		12	

(5)-1 性別年齢別状況

2020年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢		
					機能訓練	生活介護	施設入所
男性	機能訓練	—	—	—	—	64歳 5ヶ月	64歳 2ヶ月
	生活介護	49歳 7ヶ月	79歳 11ヶ月	64歳 3ヶ月			
女性	施設入所	49歳 7ヶ月	79歳 11ヶ月	63歳 10ヶ月	—	64歳 5ヶ月	64歳 2ヶ月
	機能訓練	—	—	—			
女性	生活介護	38歳 10ヶ月	81歳 9ヶ月	64歳 10ヶ月	—	64歳 5ヶ月	64歳 2ヶ月
	施設入所	38歳 10ヶ月	81歳 9ヶ月	64歳 10ヶ月			

(5)-2 性別年齢別状況

【更生部】

2020年3月31日現在

年齢範囲 (歳)		15 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 ～ 64	65 ～ 69	70 ～ 74	75 ～ 79	80 ～ 84	合計
男 性	機能訓練														0
	生活介護	0	0	0	0	0	1	2	3	4	3	5	1	0	19
	施設入所	0	0	0	0	0	1	2	3	4	3	4	1	0	18
女 性	機能訓練														0
	生活介護	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	8
	施設入所	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	8
合 計	機能訓練														0
	生活介護	0	0	0	1	0	1	3	4	5	4	6	2	1	27
	施設入所	0	0	0	1	0	1	3	4	5	4	5	2	1	26

(6)-1 性別在所期間別状況

2020年3月31日現在

	最短在所期間	最長在所期間	平均在所期間	男女平均在所期間
男 性	2年 5ヶ月	21年10ヶ月	10年 8ヶ月	11年 5ヶ月
女 性	3年 3ヶ月	19年 6ヶ月	10年 6ヶ月	

0ヶ月・・・2020年3月入所

(6)-2 性別在所期間別状況

2020年3月31日現在

期間範囲 (年)	0 ～ 0.5	0.5 ～ 1	1 ～ 3	3 ～ 5	5 ～ 10	10 ～ 15	15 ～ 20	20 ～ 30	30 ～ 35	合計
	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満		
男 性	0	0	1	2	5	3	4	3	0	18
女 性	0	0	0	2	2	2	2	0	0	8
合 計	0	0	1	4	7	5	6	3	0	26

(7) 障害状況

2020年3月31日現在

		脳血管障害による 右片麻痺	脳血管障害による 左片麻痺	脳血管障害による その他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	合計
男 性	機能訓練										0
	生活介護	6	7	2	0	2	0	1	1	0	19
	施設入所	6	6	2	0	2	0	1	1	0	18
女 性	機能訓練										0
	生活介護	1	3	0	0	0	1	0	2	1	8
	施設入所	1	3	0	0	0	1	0	2	1	8
合 計	機能訓練										0
	生活介護	7	10	2	0	2	1	1	3	1	27
	施設入所	7	9	2	0	2	1	1	3	1	26

難病内訳 : 進行性筋委縮症 1名 : もやもや病 1名
: 脊髄小脳変性症 1名 :

(8) 障害支援区分

【更生部】

2020年3月31日現在

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	機能訓練								
	生活介護	0	0	0	2	5	9	3	4.7
	施設入所	0	0	0	2	4	9	3	4.7
女性	機能訓練	0	0	0					
	生活介護	0	0	0	0	3	3	2	4.9
	施設入所	0	0	0	0	3	3	2	4.9
合計	機能訓練								
	生活介護	0	0	0	2	5	9	3	4.7
	施設入所	0	0	0	2	4	9	3	4.8

(9) 身障手長等級別

2020年3月31日現在

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
男性	15	3	0	0	0	0
女性	4	4	0	0	0	0
合計	19	7	0	0	0	0

(10) 出身地域別

2020年3月31日現在

			機能訓練			生活介護			施設入所		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
道 央	札幌市	東 区			0	1	0	1	1	0	1
		西 区			0	0	0	0	0	0	0
		南 区			0	2	2	4	2	2	4
		北 区			0	1	1	2	1	1	2
		中 央 区			0	0	0	0	0	0	0
		厚 別 区			0	1	0	1	1	0	1
		白 石 区			0	2	0	2	2	0	2
		手 稲 区			0	2	0	2	2	0	2
		清 田 区			0	2	0	2	2	0	2
		豊 平 区			0	0	1	1	0	1	1
	石 狩 振 興 局	北 広 島 市			0	3	1	4	2	1	3
		江 別 市			0	0	1	1	0	1	1
		千 歳 市			0	1	0	1	1	0	1
		恵 庭 市			0	0	0	0	0	0	0
		石 狩 市			0	0	1	1	0	1	1
		当 別 町			0	0	0	0	0	0	0
		新 篠 津 村			0	0	0	0	0	0	0
空 知 総 合 振 興 局			0	1	0	1	1	0	1		
道 南	後 志 総 合 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
	渡 島 総 合 振 興 局			0	1	0	1	1	0	1	
	檜 山 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
	胆 振 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
	日 高 振 興 局			0	0	1	1	0	1	1	
道 東	十 勝 総 合 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
	釧 路 総 合 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
	根 室 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
	オホーツク総合振興局			0	0	0	0	0	0	0	
道 北	上 川 総 合 振 興 局			0	1	0	1	1	0	1	
	宗 谷 総 合 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
	留 萌 振 興 局			0	0	0	0	0	0	0	
その他の地域					0	1	0	1	1	0	1
合 計			0	0	0	19	8	27	18	8	26

2-2 利用者支援状況

【療護部】

(1) 定員

2020年3月31日現在

	生活介護	入所支援
定員	80	80

(2) 日中活動・施設入所支援利用状況

2019年度

月	生活介護（定員80名）		入所支援（定員80名）	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	58.6	23	59.4	30
5月	58.1	24	58.9	31
6月	58.6	23	59.5	30
7月	60.1	24	61.2	31
8月	60.9	24	60.5	31
9月	63.5	23	63.3	30
10月	66.8	24	66.6	31
11月	67.9	23	67.8	30
12月	67.1	23	67.3	31
1月	67.8	23	67.7	31
2月	68.0	22	68.0	29
3月	66.6	24	71.7	29
平均	63.7	23.3	64.3	30.3

(3) 入所経路 【施設入所支援対象者】

2019年度

	在宅より	病院より	他施設より	合計
施設入所支援	0	0	6	6

(4) 退所理由 【施設入所支援対象者】

2019年度

	施設移行				在宅	医療機関	死亡退所	合計
	授産施設	療護施設	老人施設	その他				
施設入所支援	0	0	0	0	0	0	0	0

(5)-1 性別年齢別状況

2019年度

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					生活介護	施設入所
男性	生活介護	39歳 2ヶ月	81歳 0ヶ月	62歳 0ヶ月	64歳 1ヶ月	64歳 1ヶ月
	施設入所	39歳 2ヶ月	81歳 0ヶ月	62歳 0ヶ月		
女性	生活介護	48歳 9ヶ月	93歳 4ヶ月	67歳11ヶ月		
	施設入所	48歳 9ヶ月	93歳 4ヶ月	67歳11ヶ月		

(5)-2 性別年齢別状況

【療護部】

2020年3月31日現在

年齢範囲 (歳)		18	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79		
男性	生活介護	0	0	0	1	0	4	6	6	9	7	7	2	2	44
	施設入所	0	0	0	1	0	4	6	6	9	7	7	2	2	44
女性	生活介護	0	0	0	0	0	1	3	3	2	4	6	2	3	24
	施設入所	0	0	0	0	0	1	3	3	2	4	6	2	3	24
合計	生活介護	0	0	0	1	0	5	9	9	11	11	13	4	5	68
	施設入所	0	0	0	1	0	5	9	9	11	11	13	4	5	68

(6)-1 性別在所期間別状況

2020年3月31日現在

		最短在所期間	最長在所期間	平均在所期間	男女平均在所期間
男性		6ヶ月	40年 3ヶ月	11年10ヶ月	11年 5ヶ月
女性		3年 8ヶ月	40年 0ヶ月	15年 2ヶ月	

0ヶ月・・・2020年3月入所

(6)-2 性別在所期間別状況

2020年3月31日現在

期間範囲 (年)	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	0.5	1	3	5	10	15	20	30		
		年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	
男性	0	6	1	6	15	7	2	2	5	44
女性	0	0	0	4	6	4	4	2	4	24
合計	0	6	1	10	21	11	6	4	9	68

(7) 障害状況

2020年3月31日現在

		脳血管障害による右片麻痺	脳血管障害による左片麻痺	脳血管障害によるその他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	合計
男性	生活介護	16	5	2	0	4	4	4	2	7	44
	施設入所	16	5	2	0	4	4	4	2	7	44
女性	生活介護	2	8	4	1	1	4	1	1	2	24
	施設入所	2	8	4	1	1	4	1	1	2	24
合計	生活介護	18	13	6	1	5	8	5	3	9	68
	施設入所	18	13	6	1	5	8	5	3	9	68

難病内訳 : 後縦靭帯骨化症 1名 : 脊髄小脳変性症 1名
 : 遠位型ミオパチー 1名 :

(8) 障害支援区分

【療護部】

2020年3月31日現在

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	生活介護	0	0	1	3	5	35	5.7
	施設入所	0	0	1	3	5	35	5.7
女性	生活介護	0	0	0	0	5	19	5.8
	施設入所	0	0	0	0	5	19	5.8
合計	生活介護	0	0	1	3	10	54	5.7
	施設入所	0	0	1	3	10	54	5.7

(9) 身障手長等級別

2020年3月31日現在

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
男性	33	10	1	0	0	0
女性	23	1	0	0	0	0
合計	56	11	1	0	0	0

(10) 出身地域別

【療護部】

2020年3月31日現在

			生活介護			施設入所		
			男	女	計	男	女	計
道 央	札幌市	東 区	3	1	4	3	1	4
		西 区	5	1	6	5	1	6
		南 区	0	1	1	0	1	1
		北 区	4	0	4	4	0	4
		中 央 区	1	0	1	1	0	1
		厚 別 区	1	2	3	1	2	3
		白 石 区	4	1	5	4	1	5
		手 稲 区	2	0	2	2	0	2
		清 田 区	5	1	6	5	1	6
	豊 平 区	3	1	4	3	1	4	
	石 狩 振興局	北 広 島 市	4	5	9	4	5	9
		江 別 市	0	0	0	0	0	0
		千 歳 市	4	2	6	4	2	6
		恵 庭 市	1	3	4	1	3	4
石 狩 市		0	0	0	0	0	0	
当 別 町		0	0	0	0	0	0	
新 篠 津 村		0	0	0	0	0	0	
空 知 総 合 振 興 局	1	1	2	1	1	2		
道 南	後 志 総 合 振 興 局	3	0	3	3	0	3	
	渡 島 総 合 振 興 局	0	1	1	0	1	1	
	檜 山 振 興 局	0	0	0	0	0	0	
	胆 振 振 興 局	1	2	3	1	2	3	
	日 高 振 興 局	1	0	1	1	0	1	
道 東	十 勝 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	
	釧 路 総 合 振 興 局	1	0	1	1	0	1	
	根 室 振 興 局	0	0	0	0	0	0	
	オホーツク総合振興局	0	1	1	0	1	1	
道 北	上 川 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	
	宗 谷 総 合 振 興 局	0	1	1	0	1	1	
	留 萌 振 興 局	0	0	0	0	0	0	
そ の 他 の 地 域			0	0	0	0	0	0
合 計			44	24	68	44	24	68

(11) 福祉課主催レクリエーション実施状況及び利用者参加数

2020年3月31日現在

レクリエーション種目	実施日	回数	参加者数
喫茶わいわい	4月～3月 (5、6、7、8、12、1、3 月除く月一回)	5回	300名
車椅子清掃	6/8、10/19	2回	130台
麻雀の日	5/29、10/23、1/22、3/26	4回	16名
朗読の会	5/8、9/4、11/20、2/12	4回	51名

2-3 短期入所利用者支援状況 【ショートステイ】

2019年度

月	施設別	障害支援区分						施設別 延利用日数	延利用日数	一日平均 利用者数
		1	2	3	4	5	6			
4	更生部	0	0	10	22	0	0	32	69	2.3
	療護部	0	0	3	0	10	24	37		
5	更生部	0	0	4	25	0	0	29	64	2.1
	療護部	0	0	6	0	8	21	35		
6	更生部	0	0	7	17	3	0	27	70	2.3
	療護部	0	0	4	0	10	29	43		
7	更生部	0	0	6	22	0	0	28	63	2.0
	療護部	0	0	0	0	8	27	35		
8	更生部	0	0	3	24	0	0	27	66	2.1
	療護部	0	0	0	0	8	31	39		
9	更生部	0	0	4	24	0	0	28	55	1.8
	療護部	0	0	0	0	8	19	27		
10	更生部	0	0	7	25	0	0	32	75	2.4
	療護部	0	0	3	0	10	30	43		
11	更生部	0	0	7	24	0	0	31	65	2.2
	療護部	0	0	0	0	8	26	34		
12	更生部	0	0	4	25	0	0	29	59	1.9
	療護部	0	0	0	0	8	22	30		
1	更生部	0	0	4	22	0	0	26	55	1.8
	療護部	0	0	3	0	6	20	29		
2	更生部	0	0	4	21	0	0	25	56	1.9
	療護部	0	0	0	0	8	23	31		
3	更生部	0	0	0	24	0	0	24	49	1.6
	療護部	0	0	0	0	8	17	25		
計	更生部	0	0	60	275	3	0	338	746	2.0
	療護部	0	0	19	0	100	289	408		

2-4 ADL 状 況

(1) 更生部（入 所）

2020年3月31日現在

介助度	食 事	着 脱	入 浴	整 容	体位交換	服 薬	洗 濯	移乗動作	平地移動	電動車椅子	排 泄	オムツ
全介助 <small>名</small>	1	6	5	3	6	13	19	4	1	0	4	3
一部介助 <small>名</small>	19	9	18	4	1	13	0	6	3	24	17	5
自 立 <small>名</small>	6	11	3	19	19	0	7	16	22	2	5	18
全介助 <small>%</small>	3.8	23.1	19.2	11.5	23.1	50.0	73.1	15.4	3.8	0.0	15.4	11.5
一部介助 <small>%</small>	73.1	34.6	69.2	15.4	3.8	50.0	0.0	23.1	11.5	92.3	65.4	19.2
自 立 <small>%</small>	23.1	42.3	11.5	73.1	73.1	0.0	26.9	61.5	84.6	7.7	19.2	69.2

* 在籍 26 名

(2) 療護部（入 所）

2020年3月31日現在

介助度	食 事	着 脱	入 浴	整 容	体位交換	服 薬	洗 濯	移乗動作	平地移動	電動車椅子	排 泄	オムツ
全介助 <small>名</small>	23	41	33	23	15	56	66	34	19	8	47	44
一部介助 <small>名</small>	10	16	35	29	0	9	0	23	3	59	15	6
自 立 <small>名</small>	35	11	0	16	53	3	2	11	46	1	6	18
全介助 <small>%</small>	33.8	60.3	48.5	33.8	22.1	82.4	97.1	50.0	27.9	11.8	69.1	64.7
一部介助 <small>%</small>	14.7	23.5	51.5	42.6	0.0	13.2	0.0	33.8	4.4	86.8	22.1	8.8
自 立 <small>%</small>	51.5	16.2	0.0	23.5	77.9	4.4	2.9	16.2	67.6	1.5	8.8	26.5

* 在籍 68名

2-5 食事量形態別食数

2020年3月31日現在

施設別 食種・主食別		更生部				療護部				合計			
		形	態	刻	刻小	ミキサー	計	刻	刻小		ミキサー	計	
一般食	常食	①	7				7	3	1	1		5	12
		②	6				6	7	4			11	17
	全粥食	①					0					0	0
		②					0					0	0
	軟菜食	米飯					0		3			3	3
		全粥	1				1		1	4		5	6
		ミキサー粥					0					0	0
		その他					0		1			1	1
	ミキサー食	全粥					0				1	1	1
		ミキサー粥					0				2	2	2
加算対象食	PC食 (腎疾患食)	米飯	1				1				0	1	
		全粥					0				0	0	
	脂肪コント ロール食	米飯					0					0	0
		全粥					0					0	0
	エネルギー コントロール食①	米飯		1			1	3	2			5	6
		全粥			1		1			2		2	3
	軟	米飯					0		1			1	1
		全粥					0			1	1	2	2
	エネルギー コントロール食① 減塩	米飯	1				1	2	2			4	5
		全粥					0			1		1	1
ミキサー粥						0				1	1	1	
エネルギー コントロール食②	米飯	1				1	3				3	4	
	全粥					0	1				1	1	
	ミキサー粥					0				1	1	1	
エネルギー コントロール食② 減塩	米飯	1	1			2	3				3	5	
	全粥					0					0	0	
エネルギー コントロール食②	米飯					0	3	1	1		5	5	
	全粥					0		1			1	1	
加算 (軟)	米飯	2	1			3	4				4	7	
	全粥					0					0	0	
	全粥			1	1	2					0	2	
経管栄養 (胃ろう)						0				6	6	6	
食事なし						0					0	0	
合計			20	3	2	1	26	29	17	10	12	68	94

2-6 院外受診状況表

(更生部 ・ 療 護 部)

2019年度

月	受診科目	内	脳	整	泌	外	皮	神	産	精	歯	眼	耳	そ	計	合計	付添職員数
		科	外	形	尿	科	膚	経	婦	神	科	科	鼻	の			
4	更生部	5	2	4	3		5			4		1			24	61	48
	療護部	19	3		2	2	3			4		2	2		37		
5	更生部	10			3		7	1		4		2			27	59	37
	療護部	11	3		1	1	7			6		2	1		32		
6	更生部	6	2	3	3		5			3		1			23	62	39
	療護部	15	4		1	3	10			3		1	2		39		
7	更生部	10		1			7			7		2			27	61	41
	療護部	12	2	2	2	4	2			9			1		34		
8	更生部	11	1	2		1	4	2		3		1	1		26	78	58
	療護部	15	6	2	2	5	17			3		1	1		52		
9	更生部	14	2	2	3		6	1		2		1			31	84	55
	療護部	13	3	2	3	7	13			8			3	1	53		
10	更生部	4	3	2			6	1		1		1			18	78	57
	療護部	21	4	3	6	4	12			4		2	1	3	60		
11	更生部	8	1	1			4			3					17	56	35
	療護部	7	3	6	4	3	8			6				2	39		
12	更生部	5		8	2		3	1		2		1			22	61	42
	療護部	12	2	1	3	2	12			5		2			39		
1	更生部	8		4			3			3		2			20	62	42
	療護部	14	1	2	2	1	12			6			4		42		
2	更生部	5	1	2			2			2		1			13	43	29
	療護部	1	2	2	3	3	11			3		1	4		30		
3	更生部	6					1			3					10	22	29
	療護部	3	1		3	2	2			1					12		
計	更生部	92	12	29	14	1	53	6	0	37	0	13	1	0	258	727	512
	療護部	143	34	20	32	37	109	0	0	58	0	11	19	6	469		
合計		235	46	49	46	38	162	6	0	95	0	24	20	6	727	512	

2-7 理学療法実施状況

(1) 更生部機能訓練

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	20	20	18	20	20	19	20	19.5	19	19.5	19.5	20.5	235	0.4
延人数	22	21	21	22	0	0	0	0	0	0	0	0	86	

(2) 更生部生活介護

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	20	20	18	20	20	19	20	19.5	19	19.5	19.5	20.5	235	11.2
延人数	270	295	283	292	281	226	212	168	166	152	126	157	2,628	

(3) 療護部生活介護

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	20	20	18	20	20	19	20	19.5	19	19.5	19.5	20.5	235	23.6
延人数	478	427	433	466	471	431	516	494	452	449	411	518	5,546	

(4) 日中活動Ⅰ(ハッスルウェンズデイ；スポーツ・ゲーム・作業活動 毎週水曜日午後)

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	2	3	4	4	2	3	5	2	1	4	2	3	35	19.7
延人数	32	52	64	63	48	57	112	48	20	84	45	63	688	

(5) 日中活動Ⅱ(チャレンジサタデイ；カラオケ 土曜日午後)

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	2	3	3	1	2	4	3	3	3	3	4	2	33	22.0
延人数	37	53	60	25	51	87	68	75	76	67	82	45	726	

(6) 診療部外来

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	8	7	6	4	5	5	8	8	11	6	6	8	82	1.0
延人数	8	7	6	4	5	5	8	8	11	6	6	8	82	

※ 物理療法実施状況

診療部外来

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	17	17	15	18.5	16.5	16.5	16	17.5	15.5	16	15	15	200	27.8
延人数	520	496	427	559	412	470	473	453	434	415	407	490	5,556	

※2/17(PM)～2/20までの期間、感染蔓延防止の為、診療休診

※ 補助用具修理(車椅子・装具等)・意見書・診断書資料

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
補助用具修理	21	14	18	17	7	11	21	17	13	20	14	0	173
意見書・診断書	2	0	1	3	3	3	2	5	0	2	2	2	17

2-8 作業療法実施状況

(1) 更生部機能訓練

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	20	20	18	20	20	19	20	19.5	19	19.5	19.5	20.5	235	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 更生部生活介護

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	20	20	18	20	20	19	20	19.5	19	19.5	19.5	20.5	235	8.3
延人数	225	183	196	208	213	151	161	142	141	123	107	102	1,952	

(3) 療護部生活介護

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	20	20	18	20	20	19	20	19.5	19	19.5	19.5	20.5	235	7.1
延人数	115	113	102	105	142	147	154	150	148	166	150	180	1,672	

2-9 言語療法実施状況

(1) 更生部機能訓練

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	17	17	18	14.5	17	17.5	17.5	16	16	15.5	18	202	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 更生部生活介護

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	17	17	18	14.5	17	17.5	17.5	16	16	15.5	18	202	0.0
延人数	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	

(3) 療護部生活介護

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	17	17	18	14.5	17	17.5	17.5	16	16	15.5	18	202	1.7
延人数	28	27	32	20	24	23	26	34	39	26	33	33	345	

(4) 診療部外来

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	17	17	18	14.5	17	17.5	17.5	16	16	15.5	18	202	10.1
延人数	188	180	167	189	150	175	172	173	155	154	157	184	2,044	

2-10 自助具制作状況

2019年度

	更生部	更生部通所	療護部	療護部通所	外来	ショート	計
制作数	0	0	0	0	0	0	0

2-11 外来患者月別実績表

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年度1日平均
診療日数	17	17	14	18	16	14	16	17	12	16	14	17	188	64.4
社保患者数	279	285	234	314	249	239	267	262	201	237	217	231	3,015	
国保患者数	871	790	723	833	716	680	801	767	687	809	676	735	9,088	
延患者数	1,150	1,075	957	1,147	965	919	1,068	1,029	888	1,046	893	966	12,103	
月1日平均	67.6	63.2	68.4	63.7	60.3	65.6	66.8	60.5	74.0	65.4	63.8	56.8		

3. 在宅福祉サービス事業実績状況

(1) 北広島市日常生活支援総合事業(通所型サービスA)

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	17	16	16	17	17	15	16	16	16	15	14	17	192	13.6
延人数	193	205	210	240	221	203	216	220	244	243	210	206	2,611	

北広島市日常生活支援総合事業(通所型サービスC)

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	4	5	0	5	3	4	4	4	3	3	3	2	40	1.5
延人数	4	5	0	5	6	8	8	8	6	3	3	2	58	

4-1 利用者支援状況

【障がい福祉サービス】

(1) 定員（及び登録者数）

2020年3月31日現在

	機能訓練（ ）内は登録数		生活介護（ ）内は登録数		共生通所
定員	6	(3)	34	(69)	(8)

(2) 利用実績状況

月	機能訓練（定員6名）		生活介護（定員34名）		日中活動合計（定員40名）	
	実利用数(1日平均)	実支援日数	実利用数(1日平均)	実支援日数	実利用数(1日平均)	実支援日数
4月	0.2	23	28.4	23	28.0	23
5月	0.8	24	28.9	24	30.7	24
6月	1.0	23	27.2	23	30.3	23
7月	0.9	24	28.2	24	30.5	24
8月	0.8	24	26.7	24	29.6	24
9月	1.0	23	28.0	23	30.6	23
10月	0.8	24	28.0	24	30.4	24
11月	0.8	23	27.0	23	29.2	23
12月	0.7	23	27.0	23	30.2	23
1月	0.8	23	27.0	23	30.4	23
2月	0.3	22	26.6	22	29.2	22
3月	0.3	24	23.1	24	25.7	24
平均	0.7	23.3	27.2	23.3	29.6	23.3

(3)-1 性別年齢別状況

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					機能訓練	生活介護
男性	機能訓練	49.7	60	55.1		
	生活介護	20.2	81.9	52.7		
女性	機能訓練	61.11	61.11	61.11		
	生活介護	18.8	77.1	49.5	57.4	51.4

(3)-2 性別年齢別状況

年齢範囲（歳）		15	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
男性	機能訓練	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	生活介護	4	0	3	2	4	5	7	3	5	1	5	1	1	41
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	生活介護	4	1	4	1	3	1	1	3	3	1	3	3	0	28
合計	機能訓練	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
	生活介護	8	1	7	3	7	6	8	6	8	2	8	4	1	69

(4) 性別在籍期間別状況 【障がい福祉サービス】

期間範囲 (年)	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	0.5	1	3	5	10	15	20	30		
	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	年未満	
男性	1	1	10	29	0	0	0	0	0	41
女性	1	1	3	23	0	0	0	0	0	28
合計	2	2	13	52	0	0	0	0	0	69

(5) 障害状況

		脳血管障害による右片麻痺	脳血管障害による左片麻痺	脳血管障害によるその他	脊椎損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	身障手帳なし(精神)	合計
		男性	機能訓練	0	1	0	0	0	0	0	0	
	生活介護	7	8	1	2	2	6	5	4	5	1	41
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	生活介護	1	7	0	0	1	6	1	3	7	2	28
合計	機能訓練	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3
	生活介護	8	15	1	2	3	12	6	7	12	3	69

難病内訳：遠位型ミオパチー 多発性硬化症 筋緊張性ジストロフィー
 進行性筋萎縮症 多系統萎縮症 全身性強皮症、シェーグレン症候群
 先天性代謝異常症

(6) 障害支援区分

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
		男性	機能訓練	0	0	1	0	1	0
	生活介護		0	2	13	8	6	12	
女性	機能訓練	1	0	0	0	0	0	0	
	生活介護		0	4	6	1	3	14	
合計	機能訓練	0	0	1	0	1	0	0	
	生活介護		0	6	19	9	9	26	

* 機能訓練については障害区分認定が無いため、一次判定(コンピューター判定)結果を記載

(7) レクリエーション実施状況

レクリエーション種目	実施月	回数	内容
外出レク	5~9	12	石屋製菓、ボーリング、江別蕨谷、円山動物園、小樽、キリンビール、大通り、マオイの丘、平岡イオン
焼肉	8	1	屋内にてホットプレートで焼き、利用者様へ配膳
盆踊り	8	1	櫓(太鼓踊り)、ゲームコーナー、抽選会、デザートタイム
セレクトメニュー	6, 8, 11, 1,	6	お祝い御膳、バイキング、鍋、デザートバイキング
年忘れ会食会	12	1	アコギ、手品、食事会、カラオケ大会、ビンゴ大会

(8) 地域生活支援事業 ~ 日中一時支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用回数	125	127	117	144	139	131	141	112	124	118	110	95	1483
実利用人数	21	21	20	22	24	20	23	19	21	24	19	19	253

4-2 利用者支援状況

【障がい児通所支援】

(1) 定員（及び登録者数）

2020年3月31日現在

	児童発達支援登録数	放課後等デイサービス登録数
定員（5名）	0	21

(2) 利用実績状況

2020年3月31日現在

月	児童発達	放課後デイ	利用合計（定員5名）	
	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実支援日数
4月	0.2	4.7	5.0	24
5月	0.2	4.2	4.5	24
6月	0.4	4.0	4.5	23
7月	0.2	4.1	4.4	26
8月	0.2	4.2	4.5	25
9月	0.4	4.2	4.2	24
10月	0.2	4.1	4.3	24
11月	0.0	4.5	4.5	22
12月	0.0	4.5	4.1	22
1月	0.0	3.5	3.6	21
2月	0.0	3.5	3.6	22
3月	0.0	0.0	0.0	0
平均	0.2	3.8	3.9	21.4

(3) 性別年齢別状況

2020年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					児童発達	放課後デイ
男児	児童発達					
	放課後デイ	8歳6ヶ月	18歳0ヶ月	14歳10ヶ月		14歳1ヶ月
女児	児童発達					
	放課後デイ	10歳9ヶ月	16歳7ヶ月	14歳4ヶ月		14歳1ヶ月

(4) 医療的ケア

2020年3月31日現在

ケア内容		胃ろう	経鼻	SC	てんかん	酸素	呼吸器
人数	児童発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放課後デイ	9	1	5	12	1	2	0	0	0	30

※一人の利用者で複数のケア実施あり

(5) 障害種目

2020年3月31日現在

		脳障がい	遺伝性疾患	てんかん	先天性	脊髄疾患	代謝疾患	側弯症	染色体異常
人数	児童発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放課後デイ	11	1	3	2	2	1	1	1	0	22

※重複障害あり

(6) 出身地域別

2020年3月31日現在

		北広島市	札幌市	恵庭市	江別市	由仁町	安平町	…	…	…	…
人 数	児童発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放課後デイ	13	1	3	2	1	1	0	0	0	21

(7) レクリエーション実施状況

2020年3月31日現在

レクリエーション種目	実 施 月	回 数	2020年3月31日現在
季節の製作	4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 2, 3	10	こいのぼり、うきわ作り、七夕、コスモス作り、ハロウィン、ハリネズミ、クリスマス、節分、春、ひなまつり
季節の行事	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12,	11	こどもの日お祝い週間、七夕、スポーツの秋、ハロウィン、豆まき クリスマス、お正月遊び、雛祭、水遊び、落ち葉遊び、雪遊び
畑	5, 6, 9	3	畑おこし、苗植え、収穫
外出レク	7, 8	4	新千歳空港、コココーラ工場見学、青少年科学館、白い恋人工場見学
調理レク	8, 9, 12	7	クレープ、いもち、スイートパンプキン、焼き芋、フルーツパフェ 栗ご飯、栗のムース

4-3 利用者支援状況

【障がい相談支援】

(1) 計画相談件数（サービス等利用計画作成数）※H27.4～指定

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
計画相談支援	新規	16	3	23	21	20	58	27	19	17	19	27	25	275	575
	継続	11	4	11	36	35	36	29	17	18	24	15	64	300	
障害児相談支援	新規	3	5	44	5	2	2	0	3	5	1	0	21	91	153
	継続	1	1	2	2	0	8	9	4	22	7	2	4	62	
地域移行支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域定着支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規月別	小計	19	8	67	26	22	60	27	22	22	20	27	46	366	/
継続月別	小計	12	5	13	38	35	44	38	21	40	31	17	68	362	
月別	合計	31	13	80	64	57	104	65	43	62	51	44	114	728	

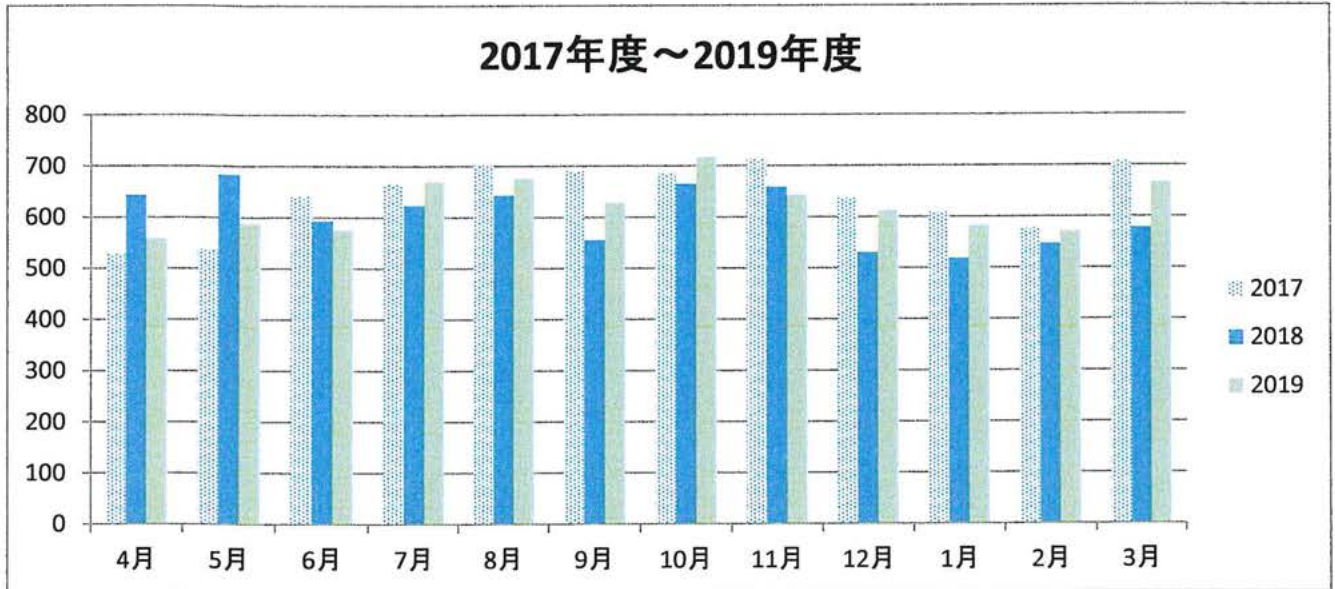
5. 障がい者生活支援センターみらい事業実績状況

(1) 月別相談件数

2019年度

*同一利用者に関わる相談は一日1件で集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	558	588	575	670	676	629	718	643	612	582	571	667	7,489

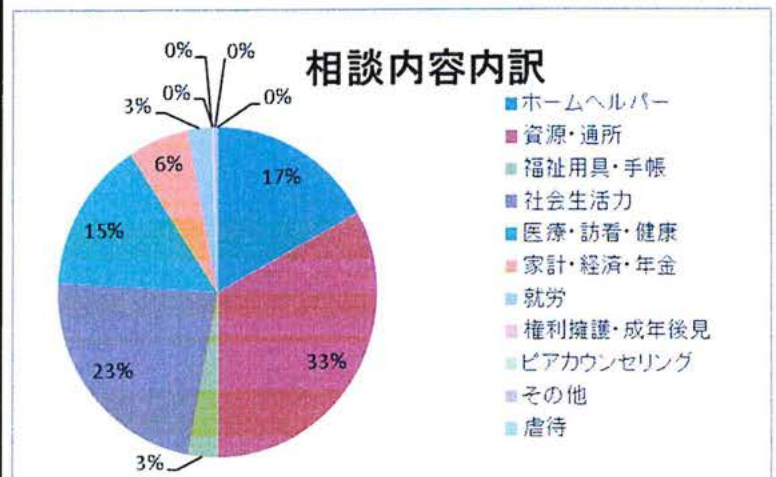


(2) 内容別・形態別・障害別・地域別相談件数(2019年度)

*受けた回数をそのまま集計している。(内容が重複している相談は除く)

① 相談内容内訳

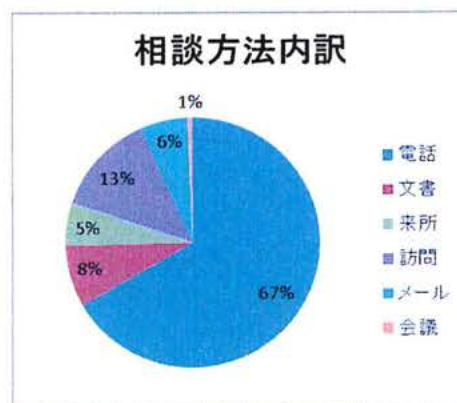
相談内容内訳	()内は前年度人数
ホームヘルパー	1,637 (1,550)
資源・通所	3,159 (2,965)
福祉用具・手帳	292 (382)
社会生活力	2,236 (2,004)
医療・訪看・健康	1,427 (1,244)
家計・経済・年金	592 (609)
就労	232 (285)
権利擁護・成年後見	5 (12)
ピアカウンセリング	15 (13)
その他	32 (6)
虐待	8 (13)
合計	9,635 (9,083)



昨年とほぼ同比率。「資源・通所」が昨年より100件程多い。通所事業所や児童デイ通所の事業所数が増えており、利用にあたり複数ヶ所の見学・併用利用の希望が多く聞かれている。「社会生活力」は200件程増え、知的障がいや精神障がいの方から複数回に渡り、繰り返しの相談が来ている。

② 相談方法内訳

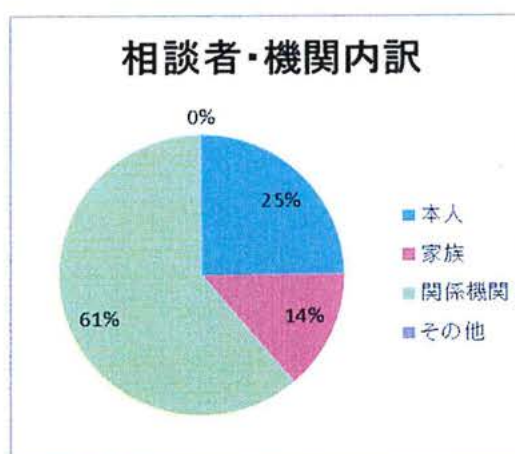
相談方法内訳		()内は前年度人数
電話	7,524	(7,226)
文書	902	(771)
来所	626	(623)
訪問	1,482	(1,381)
メール	690	(622)
会議	63	(59)
合計	11,287	(10,682)



昨年とほぼ同比率。電話対応が7割弱を占め、次いで訪問となっている。訪問の目的として当事者との面談だけでなく、支援現場に赴いての状況把握や関係者との顔の見える関係づくり、また新しい事業所に向向いての資源開拓・情報収集も行っている。

③相談者・機関内訳

相談者・機関内訳		()内は前年度人数
本人	2,943	(2,905)
家族	1,621	(1,539)
関係機関	7,133	(6,732)
その他	10	(9)
合計	11,707	(11,185)



昨年とほぼ同比率。関係機関件数が増えている。複数事業所を利用している方の調整や障がい分野だけでなく児童福祉・生活困窮・高齢者等、他分野に渡り家族支援を必要としている利用者が増えているためと考えられる。

(3)-1 相談数・相談実人数・新規相談数の比較

2019年度

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
相談件数	6,833	6,557	6,643	7,690	7,237	7,503
相談実人数	370	393	377	405	429	439
新規相談件数	108	81	73	78	65	44

新規相談件数は例年に比べ落ちていたが相談数・相談実人数は増。継続相談者からの相談数が増えていることがわかる。

(3)-2 相談実人数詳細

2019年度

	身体	重心	知的	精神	発達	その他	実人数
障がい者 (2018年度)	81 (78)	8 (6)	110 (91)	97 (99)	14 (17)	12 (12)	322 (303)
障がい児 (2018年度)	10 (12)	8 (7)	38 (48)	0 (0)	61 (59)	0 (0)	117 (126)
計	91 (90)	16 (13)	148 (139)	97 (99)	75 (76)	12 (12)	439 (429)

知的児童が18歳になり者に変更になっている数が多い。高校卒業後の進路のため就労アセスメントで関わる相談も多くきており、学校との連携もあった。

(4)-1 ピアカウンセラー活動内容

2019年度

日 (曜日)	講和内容	学校名 (参加人数)
6月18日(火)	肢体障がいについて	北広島市立双葉小学校4年(51名)
7月2日(火)	"	北広島市立北の台小学校5年(55名)
8月12日(火)	"	北広島市立大曲東小学校5年(85名)
5月16日(木)	聴覚障がい・手話体験	北広島市立大曲東小学校4年(85名)
7月22日(月)	"	北広島市立双葉小学校4年(51名)
8月28日(水)	"	北広島市立双葉小学校4年(選択学習10~15名)
9月4日(水)	"	北広島市立大曲小学校4年(89名)
9月27日(金)	"	北広島市立西部小学校5年(59名)
11月5日(火)	"	北広島市立西の里小学校5年(83名)
11月7日(木)	"	北広島市立西の里小学校5年(83名)

(4)-2 こころの交流会実施状況 単位:人

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	7	12	12	11	9	6	6	4	2	6	8	中止	83

3月はコロナウイルスの影響により中止になっているにも関わらず、延べ参加人数が昨年より12人増えている。今年度は新企画に挑戦し、MHCでの通常開催以外に、5月お花見ウォークは生活困窮者支援ぼるととの共催。8月は訪問美容Alohaとコラボし保護者同伴での児童向け企画。2月の鍋パーティはいこーよ調理室にて開催し、多くの参加を頂いている。今まで引きこもり状態だった方が交流会参加をきっかけにMHCに登録し、利用を開始している(5名)。

(4)-3 発達障がい者当事者会 BONDS 単位:人

2019年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	2	2	3	2	3	4	1	2	当事者のみで実施	2	2	中止	23

登録メンバーは昨年から3名のままで推移。昨年の延べ人数21人より多くなっているが、メンバーの体調により会の運営自体が不安定な面は度々みられ、みらいが引き続きサポートしていく必要性を感じている。今年度初めての試みとしては2月こころの交流会にBONDSとして参加し、発達障がい以外の参加者との交流を楽しんだ。

(5) 計画相談件数 (サービス等利用計画作成数)

2019年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
計画相談支援	新規	23	23	17	23	11	56	33	10	14	17	16	32	275	600
	継続	20	27	21	20	16	23	21	29	37	28	31	52	325	
障害児相談支援	新規	14	19	23	14	4	5	1	10	5	6	5	24	130	245
	継続	3	8	1	3	10	11	22	13	18	10	8	8	115	
地域移行支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	継続	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
地域定着支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規月別	小計	37	42	40	37	15	61	34	20	19	23	21	56	405	/
継続月別	小計	23	35	22	23	26	34	43	42	55	38	39	60	440	
月別	合計	60	77	62	60	41	95	77	62	74	61	60	116	845	

※2019年6月～相談支援事業所みなみ休止⇒障がい者生活支援センターみらいに統合

6-1. リスクマネジメント報告（更生部・療護部）

～ 事故・ニアミス報告より ～

(1) リスク報告件数

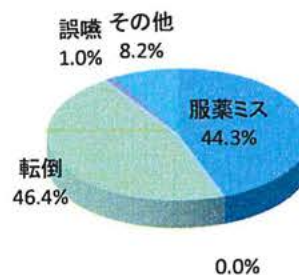
更生部	44 件	45.4%
療護部	53 件	54.6%
計	97 件	100.0%

2019年度



(2) リスク内容

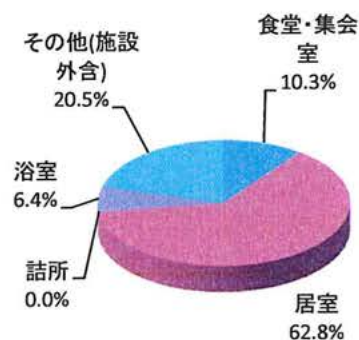
服薬ミス	43 件	44.3%
転倒	45 件	46.4%
誤嚥	1 件	1.0%
その他	8 件	8.2%
計	97 件	100.0%



(3) 発生場所

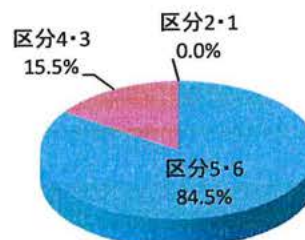
食堂・集会室	8 件	8.2%
居室	49 件	50.5%
詰所	19 件	19.6%
浴室	5 件	5.2%
その他(施設外含)	16 件	16.5%
計	97 件	100.0%

その他に発生場所不明2件を含む



(4) 対象者障害区分

区分 5・6	82 件	84.5%
区分 3・4	15 件	15.5%
区分 1・2	0 件	0.0%
計	97 件	100.0%



(5) 発生時間帯

日勤帯	44 件	45.8%
夜勤帯	52 件	54.2%
計	96 件	100.0%

時間帯不明1名



6-2 リスクマネジメント報告（障がい福祉サービス・障がい児通所）

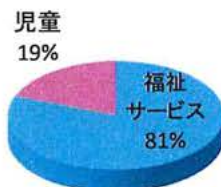
～ 事故・ニアミス報告より ～

(1) リスク報告件数

福祉サービス	17 件	81.0%
児 童	4 件	19.0%
計	21 件	100.0%

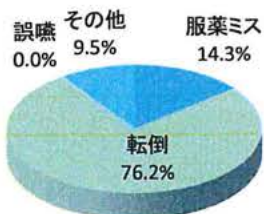
※ 更生部・療護部とも通所を含む

2019年度



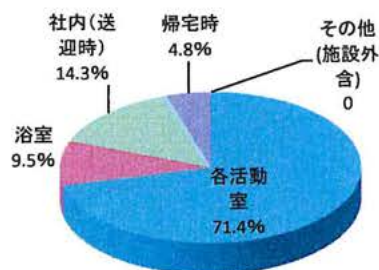
(2) リスク内容

服薬ミス	3 件	14.3%
転 倒	16 件	76.2%
誤 嚥	0 件	0.0%
そ の 他	2 件	9.5%
計	21 件	100.0%



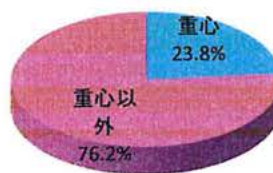
(3) 発生場所

各活動室	15 件	71.4%
浴 室	2 件	9.5%
車内（送迎時）	3 件	14.3%
帰 宅 時	1 件	4.8%
その他	0 件	0.0%
計	21 件	100.0%



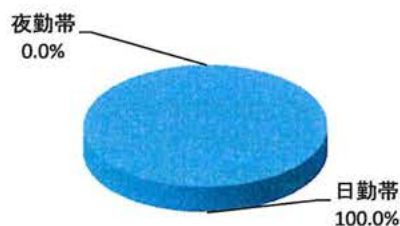
(4) 対象者障害区分

重度心身障害児	5 件	23.8%
重 心 以 外	16 件	76.2%
計	21 件	100.0%



(5) 発生時間帯

日 勤 帯	21 件	100.0%
夜 勤 帯	0 件	0.0%
計	21 件	100.0%



2019年度 更生部 事業総括

主管 管理者

事業方針	重点項目
<p>更生部は、当法人の職かい者施設第1期3ヶ年アクションプランに基づき、施設体系の見直しを図ることを目的に利用定員数の削減を行ってきた。2016年度以降、家庭復帰、自立生活、他施設移行等により定員数は減少し、当初想定していた目標より早く早く利用定員数を40名とすることができた。2020年度更生部入所支援事業の廃止を目標に、2019年度は、更生部利用定員数を20名とすることを次の目標に置き、お客様・ご家族と今後の生活についての意思疎通を引き続き行い、適切な時期を見定め移行を進めていく。施設生活においては、お客様が生きていく喜びを感じ、この先目標とする生活に近づくことができるよう専門的な視点に基づく生活・健康・訓練サービスを提供していく。</p> <p>更生部入所支援事業廃止に向けた取り組みと併せて向事業廃止後の新たな収入源となる事業の検討に入らなければならない。新規事業の創設に向けた取り組みを見定め、必要とされる事業をスタートさせるための準備に入る。</p>	<p>1) 「サービスの質の向上」への取り組み お客様一人ひとりの個別性を理解し、毎日の生活において「生きる喜び」や「大切にされている」と感じられるサービスを提供する。サービスの標準化を図るための取り組みとして、ケアガイドラインの活用と第三者（若狭解決委員、北広島市、北広島市社会福祉協議会、弁護士等）によるサービス検討委員会を開催する。</p> <p>2) グランドデザインへの取り組み 更生部利用定員数については今年度中に20名に変更する。お客様、ご家族の意思確認に基づき他施設移行（当法人療養部含む）を段階的に進める。2021年度の施設全体改修に向けて、ハード・ソフト面の見直しを行い、お客様、ご家族、職員にとって魅力あふれる施設づくりを目指す。</p> <p>3) 新規事業の創設に向けた検討 新規事業の検討にあたっては、国の職かい者、高齢者施策の動向や北広島市を中心とした地域の実情に沿った事業を考えなければならない。市役所、地域、当事者から情報収集を行い、新たな発想と当法人が持つ資源を活用し得る事業を見いだしていく。</p>
【総合評価】	
<p>「サービスの質の向上」への取り組みについては、サービスの標準化のためにケアガイドラインを活用することを目標としたが周知を含め十分な成果は得られなかった。引き続き取り組んでいく。</p> <p>「グランドデザインへの取り組み」については、更生部の現在の定員数40名を20名に変更することを目標として掲げたが、他施設移行を予定していた利用者様の受け入れ先となる施設の状態などから計画通りには進まず目標を達成することができなかった。次年度において、引き続き当法人療養部との連携や他法人施設の待機状況を注視しながら働きかけを継続して行っていく。</p> <p>「新規事業の創設」については、現在、当法人が持つリハビリテーションの機能を最大限に生かせる事業として地域密着型通所介護を新年度から開始する。北広島市内においては、介護予防事業（日常生活支援総合事業）に加え比較的介護度の低い高齢者のリハビリに対するニーズも高いことから、リハビリに特化した短時間通所介護に新たに取り組むこととした。当法人の高齢者部門と連携を図りながら北広島市内の要介護高齢者のサービスの充実に応えていきたい。</p>	

2019年度 療養部 事業総括

主管 管理者

事業方針	重点項目
<p>当法人の基本理念・倫理綱領に基づき、療養部については2021年度までの3ヶ年アクションプランに基づき、①現行の施設の運営体制の見直し、②サービスの質の向上に向けた取り組み、③今後の施設全体改修、以上3つを柱とする「グランドデザイン」を確実に実践できるよう、職員が一丸となって取り組んでいくことを当該施設の基本方針とする。</p> <p>この基本方針を基に、利用者一人一人が心豊かで快適な生活が出来るように、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者の課題と意向を把握した上で個別支援計画を作成し、サービスを提供する。また、利用者及びその家族等からの施設サービスに関することやグランドデザインに関することなど、いかなる相談・苦情についても誠意を持って対応し解決を図ることを事業方針とする。</p>	<p>1) 「生活の質の向上」に向けての取り組み 個々の利用者の障がい程度や特性に個別支援計画を策定し、社会参加やレクリエーション、リハビリ的活動などの日中活動についても計画的に実施し、内容の充実を図る。また、サービスの標準化を図るための取り組みとして、ケアガイドラインの活用と第三者（若狭解決委員、北広島市、北広島市社会福祉協議会、弁護士等）によるサービス検討委員会を開催する。</p> <p>2) 権利擁護の推進及び差別解消への取り組み 虐待の予防と早期発見及び養護者への支援を講じるための法律にない、施設内虐待の未然防止をめざして設けた、「虐待防止に関する規程」を遵守し、利用者一人一人の人格を重んじ受け止め、全職員が利用者への虐待、体罰、いじめ、差別などの人権侵害行為を防止し、行わないことを心から誓い、支援を展開する。</p> <p>3) 安定した施設運営に向けての対策 「障がい者施設第2期3ヶ年アクションプラン」に基づき、2018年度の報酬改定と2019年度の消費税増入に伴う報酬改定による影響を検証し、財政の安定化に努める。</p> <p>4) グランドデザインへの取り組み 更生部と連携し、目標稼働率95%の早期達成を図る。また、2021年度の施設全体改修をめざし、より詳細な改修計画を作成するとともに、ハード面だけでなく、ソフト面の事業の確立を目指し、利用者が生活に喜びを感じ、また、職員の働く意欲が湧いてくるような施設環境整備を進める。</p>
【総合評価】	
<p>「生活の質の向上」と「サービスの標準化を図る」ことを目標に、新たにサービス検討委員会を設け、計画に基づき実施している。また、全利用者及び家族を対象としたアンケート調査を実施するなど、当初計画は実践できている。しかし、その反面、苦情の申し入れや運営指導により、今一度、権利擁護の視点で適正な支援の在り方やサービスの向上についての見直しを求められる結果となった。このため、各部署が連携し、支援体制の改善に向け協議を重ねており、今後も継続的に取り組んでいきたい。</p>	
<p>「グランドデザイン」に基づく稼働率の目標値には達していないが、計画した体制整備に徐々に移行している。しかしながら、特に介護職員の補充が十分に進んでいないため、更生部と連携を取りながら計画を進めていきたい。</p>	
<p>また、2019年度は新たな委員会体制をスタートさせたが、それぞれの委員会がしっかりと役割を自覚し、前向きに取り組んでいる。</p>	

2019年度 診療部 事業総括

主管 管理者

事業方針	重点事項	総合評価
<p>診療部は、この10年、更生・療養部施設利用者数の減少、地域サポートセンターのみなみ施設による外来者数の減少、診療報酬・薬価改定等によって診療報酬収入が減少し、収支差額はマイナスであった。2017年度、北広島市介護予防日常生活支援総合事業を開始し、2018年度においては診療体制の見直しと薬劑管理の外部化によって収支バランスの適正化を図ってきたが、更生部は入所支援廃止に向けて動いていることから施設診療報酬は今後も減収となることが予想される。2019年度は、現診療体制のもと引き続き療がい、高齢者、高齢者施設利用者の健康管理に努めていく。</p> <p>北広島市介護予防日常生活支援総合事業は、障がい者施設における介護保険制度事業への取り組みであったが、介護予防に対するニーズは高く、当法人が提供する機能訓練の専門性と相まって通所型サービスA事業は利用者数を着実に増やしてきた。在宅で生活されている要支援高齢者が、自らが要介護状態になることを防ぎ、地域において自立した日常生活を送れることができるよう支援していく。</p>	<p>重点項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康管理への取り組み <p>施設で生活されるお客様の健康管理（予防・早期発見・治療）は、健康な生活を継続する上で重要な関わりである。障がいの多様化・重症化、高齢化から医師的な処置を必要とするお客様は多く、他医療機関への受診や入院はお客様にとっての負担（不安）を強いたり、施設にとっても経営上大きな影響を及ぼすものである。お客様が安心して施設生活を送れるよう健康管理に向けた診療体制の確保に取り組みしていく。</p> 2) 北広島市介護予防日常生活支援総合事業への取り組み <p>2017年度から開始した同事業の登録者は60名を超える事業となった。在宅で生活されている要支援高齢者は、「いつまでも健康でありたい」「要介護状態になることを防ぎたい」という思いをもって通ってくる。同事業が地域の方々の生活を支え、無くてはならない資源となるよう機能訓練の専門性を活かしたサービスを提供していく。同事業については地域からの高いニーズもあることから、事業拡大に向けて課題（人材の確保と送迎車両の確保等）を整理し検討していく。</p> 	<p>【総合評価】</p> <p>健康管理への取り組みについては、お客様が安心して施設生活を送れるよう診療体制の安定に取り組んできた。医師、特に看護職員の人員確保は近年の課題であった。施設に住まわれるお客様の障がいの多様化・重症化、高齢化から医師的な処置を必要としておられる方は多く、お客様の負担（不安）を取り除くためにも人員の確保に向けた活動は次年度においても優先的に継続していく。</p> <p>北広島市介護予防日常生活支援総合事業への取り組みについては、2017年度から開始した同事業の登録者も70名を超えた。お客様のアンケート調査結果から、①リハビリに対する要望、②広い訓練スペースや多様な機器設備、③お客様とマンツーマンの対応、④お茶会などが好評であった。また、北広島市地域に限らず、施設からは遠方となる隣の旭地区からも通ってきていただいているお客様も多いことから同事業は北広島市内で徐々に浸透してきていくことが向える。次年度以降もリハビリの専門性を活かかし、北広島市の介護予防事業に貢献していきたい。</p>

2019年度 総務課庶務係事業総括

主管 総務課庶務係

事業方針	重点事項	総合評価
<p>近年、職員のライフスタイルも変化し、それぞれ多様化した条件に応じたワークスタイルで働く状況が見受けられる。それに付随するように制度も柔軟化する中、2019年4月から国の政策である「働き方改革」の一部がスタートする。</p> <p>業務内容も幅広く正確さを要する職務のため、各々変動する情報や制度について知識力を高め、職員の生活に不利益が生じないよう、また、5月からは新年号に変わることを踏まえ、パソコン等を含むシステムが正常に運用できるよう取り組んでいく。</p>	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 庶務係は施設の入り口として一番最初に接する顔となるため、挨拶、言葉遣いに気を配り、礼儀正しく、笑顔で誠意ある態度で接していく。 2) 庶務係は利用者、職員、外部のお客様の立場にたち、生活を含めた全般をサポートする役割を担っているため、信頼される、安心して職務に遂行できる環境を整える。 3) 庶務係は特定のあらゆる個人情報が集約する部署であり、その情報管理は厳重に行わなければならない。また外部からの各種通知、依頼等も多々あるため、必要な内容をきちんと精査し適切に精査することが求められる。 	<p>年間通して重点項目は計画通り実施することはできた。今年度、通常業務は、一人一人が良く考え多角的に物事を捉えることができた年であった。</p> <p>ただ年度末後半、新型コロナウイルスの関係で、新たな業務や働き方についても検討する事が多々あり、色々と考えさせられる年であった。この対応は次年度も続くと思われ、施設の方針に差異が対応できるような環境を整えてきたい。また次年度は大規模改修に向けた準備期間である。それに向けた準備に何が必要か見極め、バックアップできる体制を作り取り組んでいきたい。</p>

2019年度 総務課施設業務係(業務)事業総括

主管 総務課 (施設業務係)

事業方針	
お客様がスムーズに診療を受けられる様に関係部署との連携を図り、情報収集に努める。	
重点事業項目	
1) 窓口業務	
2) 医療関係書類の管理、整理	
3) 診療報酬の作成	
4) 医師、各課、係との連携	
5) 総合支援事業の請求業務	
総合評価	
事業項目は全体的に問題なく行いましたが、医療関係書類の管理・整理については今年度後半時間を取る事ができず、未整理に終わりました。	

2019年度 総務課施設業務係(施設)事業総括

主管 総務課 (施設業務係)

事業方針	
施設敷地内外の建物、設備、車両の維持管理にあたっては、既存の機能を低下させること無く安全性、効率性、快適性に留意し利用者の処遇と職員の業務効率の向上に努める	
重点事業項目	
1) 建物の維持	
2) 設備の管理	
3) 車両の管理及び運転	
4) 光熱水費及び燃料費	
5) 除雪・排雪	
総合評価	
<p>1) 建物の経過年数等による損耗、破損箇所等はあるが、省費依頼等については迅速に対応している。清潔な環境を維持する事が出来ている。</p> <p>2) 各業者との連携をとり法的点検、保守点検の実施が出来ている。</p> <p>3) 車両の経過年数等により故障等が増えてきているが、最良の状態で使用できるよう車両定期検査、自主検査をやっている。</p> <p>4) 暖房の送水、設定温度や各系統の循環ポンプ運転は、天候や気温に応じ微調整している。車両にあたっては、無駄なアイドリングを避け、無理のない運転をして燃費を伸ばし、燃料(ガソリン、軽油)の節約をしている。</p> <p>5) 例年より雪が少なくトラックによる排雪は無かったが宿直者との連携を取り事故無く除雪出来た。</p>	

2019年度 総務課給食係事業総括

主管 総務課 (給食係)

事業方針	重点事業項目	総合評価
『食』を通して利用者の心身自立への援助や食を通して楽しみ・喜びが持てるような「生活の質」充実への援助、また国が示す「21世紀における国民健康づくり運動」に則った食事提供に努める。調理工夫と資質向上に努めながら各課・委員会と連携し利用者に満足してもらえる食事提供を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日常給食や行事食を通して喜ばれる食事の提供 2) 適切で安全な食事提供 	<p>上半期に続き、給食係職員各々の長所を 活かした食事サービスが提供できた。</p> <p>また年間を通して作業改善に取り組み始めた事から、良くてきたと評価したい。</p>

2019年度 会計課事業総括

主管 会計課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>2019年度は前年度の業務内容及び財務状況を振り返りながら、特長に向けた課題を整理しそれを解決していく第一歩として取り組んでいきたい。2017年度の新社会福祉法の全面施行に伴い、財務規律が強化され、今後ますます会計課が持つ役割は極めて重要であると考えている。時代の流れと共に年々、目まぐるしく変わる制度の動きや地域における諸事情、事業者の競合、人材不足など様々な要因により当法人の一部の事業所では財政面での苦戦が強い状況もみられている。また今年度の法人が目指すグランドデザインに沿った取り組みでは一層個別に財務状況が大きく変動することになる。当課としても将来を見据えての体制構築を模索させつつ、財務状況が継続かつ安定するよう種々の対策を模索し、それを提案しながら取り組んでいくこととする。</p> <p>また限られた人口の中で20にも及ぶ事業拠点の会計業務を行う上では更に職員一人一人がレベルアップし、業務の効率化を担うていくことが急務であるといえる。効率化により時間的余裕を創り上げることによって更なる業務に着手し、会計課業務の新たな飛躍が期待できるものと考えている。法人の基本理念並びに御明解願に基づき、職員として資質を更に向上させて、その役割が最大限発揮できるような努めていきたい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 決算業務に係る明確な目標設定を行い、短期間で業務が過度にならないよう取り組む。 2) 会計課業務の合理化・省力化を図り、より効率的かつ正確な会計処理に努める。 3) 年度内での収支状況に応じて、その傾向を分析しながら、経常経費の節減や見直しを提案する。 4) 将来に備えて、会計課職員それぞれ業務を理解し、熟せるための取り組みを行う。 5) 寺田税理士事務所による月次巡回監査への対応と勉強会への積極的な参加。 6) 経営会議、幹部会、チーフ会議等の収支報告への対応。 7) 法人の基本理念及び倫理綱領に基づき、職員として相応しい行動を常に心がけて、評価されるよう努める。 	<p>2019年度の当会計課における業務を振り返ると日常の会計処理等はTIC財務会計システムの導入により月次での処理を確実に行うことでこれまで以上に迅速かつ効率よく対応できたものと考えている。課題としては日常の業務と併行していかにか先を見据えた分析による情報提供が逸早くできるかにある。このことは財務状況の安定や改善を目指す上では必要不可欠であり、それを早期にかつ、確実に実現していくことで財務の健全性もさらに高まるものといえる。今般、障がい者支援施設ではグランドデザインに向けての取り組みもさきから収益の低下は想定内のことではあるがそれを円滑に進めるための情報提供は当課の重要な役割であると認識している。今後も更なる効率化を目指しながら、時間的余裕を遊り出すことで様々な観点からの財務分析ができるよう取り組んでいきたい。</p>

2019年度 福祉課事業総括

主管 福祉課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 入所施設利用者は長期利用・高齢化にともないADLや活動性の低下が進んでいる。生活のマンネリ化によるストレス、活動意欲の低下や精神疾患によるサポートが必要な利用者も多く、各専門職員の連携は欠かせない要素である。個別支援計画書に基づき、安心感のある生活の中で意欲的に生活出来る支援の提供が求められている。また、利用者の金銭の扱いやより地域生活に近いサービスの提供など信頼感のある業務に努め、不安なく生活して頂く様にしていきたい。 ◇ 更生部ではグラントデザイン(アクションプラン)に基づいた利用定員の整理に向け、利用者個々の状況を考えつつ、療養部および他施設・地域移行への調整を図って行く事が急務となっている。 ◇ 療養部では医療ケア(医療ケアの必要性)の高い利用者が増えてきている現状から、安定した医療ケアが必要であり、医療ケア体制を維持し必要なケアの提供に努めて行かなければならない。 ◇ 多様化する利用者、家族ニーズや社会資源の増加など施設外にとどまらず、地域、他支援機関とのネットワークや当施設が地域資源の一つであるとの意識を芽ち、意識的な行動が必要と考えている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 相談員としての資質(利用者ニーズや施設課題への対処、調整能力)の向上を目指す。 2) 個別支援計画の作成・モニタリングの徹底 サービス利用計画書作成に伴う他事業所との連携。 3) 他職種・関係機関との連携によりサービスの充実を図り、利用者の可能性を広げる支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 季節にあわせた物づくりなど活動の場を提供し、一部の利用者の意欲喚起は図れたが、対象者の拡大に向け支援内容や提供方法の工夫が必要。スタッフ個々の業務量が増えている中で迅速に整理し業務を遂行することが困難であった。このため業務見直しへの取り組みが必要。次年度より事業所として金銭の取り扱いの一部変更予定があり、管理上の安全性は高くなるが、引き続き適正な管理に向け徹底して行く。 ◇ 更生部はグラントデザインに基づき定員変更(削減)をすすめている。引き続き、計画に沿った変更調整に向け、関係部署と協議しすすめて行く。 ◇ 療養部では、都度利用者さんの状態把握・各課との連携を基に、ケアの見直しを行っているが、年齢や生活状態からみて、生活リズムを検討していく必要がある方も多くなっている。グラントデザインにも関わってくる内容であり、次年度予算にアセスメントしていきたい。 また、ご家族がご高齢・遠方・疎遠等の理由から苦勞の作成・管理も多くなり、繁殖になってきているため、相談員各々が責任を持って十分注意しながら行っていきたい。 ◇ ショートステイは施設の体制による受け入れ判断を求められることもあるため他事業所の事情や社会資源の情報収集を踏まえ利用者のニーズに沿えるよう努める必要がある。このため制度の活用や変更などについても部署内外で活発に意見交換するなど意識を持って業務に取り組んでいく。

2019年度 訓練課事業総括

主管 訓練課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<ol style="list-style-type: none"> 1) 障がい者施設で掲げる3ヵ年アクションプランも2期目に入り、昨年12月より更生部の定員が60名から40名へと削減となった。今後については更生部は定員削減に向かって行くことになる。訓練課としてもアクションプランに沿って、その動向を見据えながら施設の変化に対応出来るようサービス提供をして行かなくてはならない。今年度の訓練課の事業展開として、入所利用者様に対するリハビリテーション及び日中活動の充実を図り、身体機能の維持・向上とQOLの向上を目指して行きたい。利用者様が「自己実現」を図り、主体的に施設を利用して頂けるようリハビリテーションを通じてサービスを提供して行きたい。 2) 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスについては、安定した運営を継続して行っている状況にあるが、昨年より通所事業の定員数を越えるサービス希望が多く、希望者の方々には待機及びお断りしている中、今後に向けて事業の変更も視野に入れて行く必要がある。 ご利用者数は現状で定員に達しており、地域にも認識され来ており、今年度も一層のリハビリの充実を図り、地域に求められる資源としての専門性の高いリハビリテーションを実施し、地域に根ざしたサービスを提供して行きたい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 更生部機能訓練利用者様に対して、ご本人が希望する在宅及び社会復帰へ向け、心身機能及びADL能力の向上、地域・社会生活に適応できるよう支援する。また、生活介護利用者様に対して、施設生活の中で「生活のしづかさ」を解消し、その人らしい生活が送れるよう、リハビリテーションやレクリエーションを通じて、心身機能のサポート支援をする。 2) 療養部入所利用者様に対し、心身機能や介護予防を図り、安心して施設生活を営んで頂けるようリハビリテーションを実施する。また、楽しみや生きがいを持って生活して頂けるよう、充実した日中活動やレクリエーションを実施する。 3) 地域に求められる資源としての専門性ある良質なリハビリテーションを提供し、個人の活動と生活機能の向上及び健康増進を支援し、地域に根ざしたサービスを提供して行きたい。また、障がい福祉と地域の高齢者とが共に支え合いながら交流出来るような「共生型サービス」を目指し、お客様に対し地域の資源の活用とつながりの拠点であるサービスを提供して行きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間を通して更生部・療養部において、アクションプランに沿って継続した対応(リハビリや利用者様の療養部移行への情報提供など)を実施する事が出来た。 ・総合事業では、いきいきライフにおいて10月から車庫や担当職員の勤務体制などを調整し、待機されていた利用者様を受け入れる事が出来た。しかし、2020年2月頃より、新型コロナウイルスの影響で利用者様の通所控えもあり、2・3月は抑返とはならなかった。 ・全体を通して、訓練課として、各種委員会や施設行事、レクリエーション・趣味活動など、多岐に渡り活動し、他部門との連携を図っている。

2019年度 訓練課更生部事業総括

主管 訓練課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>機能訓練事業は、現在、利用者数が1名様のご利用のみとなっているが、ご本人とご家族が希望する在宅及び社会復帰へ向け、心身機能及びADL能力の向上、地域・社会生活に適應できるよう支援して行きたい。</p> <p>生活介護事業は、施設生活の中での「生活のしづらさ」を解消し、その人らしい生活が送れるよう、リハビリテーションやレクリエーションを通じて、心身機能のサポート支援をして行きたい。</p> <p>利用者様が「自己実現」を図り、主体的に施設を利用して頂けるようリハビリテーションを通じてサービスを提供して行きたい。また、施設で掲げるアクションプランの動向を見据えながら施設の変化に対応出来る事業を実施したい。</p>	<p>1) リハビリテーション実施計画書を作成し、アセスメントに沿って利用者様本位のリハビリテーションを実施致します。</p> <p>2) 機能訓練利用者様が希望する自立生活・社会復帰の実現に向けたリハビリテーションを実施致します。</p> <p>3) 生活介護利用者様の施設内外での「生活・活動のしづらさ」を取り除けるよう、心身機能・ADL・QOL向上を図れるよう、リハビリテーション・レクリエーションを実施致します。</p>	<p>・1年間を通して、リハ実施計画書を作成し、定期的に継続したリハを実施する事が出来ており、利用者様の心身機能の維持に繋がられている。</p> <p>・ 療護部との合同のレクリエーション活動を実施する事で、利用者様同士の交流の場になっている。また、更生部から救護部へ移行する利用者様の為にも、交流の場を増やし、安心して移行できるような支援して行きたい。</p>

2019年度 訓練課療護部事業総括

主管 訓練課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>年々、高齢化、機能の重度化進んで来ている療護部入所利用者様に対し、心身機能や介護予防を図り、安心して施設生活を営んで頂けるようリハビリテーションを実施致します。また、楽しみや生きがいを持って生活して頂けるよう、充実した日中活動やレクリエーションを実施致します。</p>	<p>1) 生活介護利用者様が、末長く安心して施設で生活して頂けるよう、心身機能及び機能増進を支援し、QOL向上を図れるよう、リハビリテーションを実施致します。</p> <p>2) 口腔ケアを実施し、口内環境の改善・誤嚥性肺炎の予防を図ります。</p> <p>3) 日中活動・レクリエーションを実施し活動性の向上及び精神安定を図り、共に喜びや楽しみを共有出来る様なサービスを提供致します。</p>	<p>・1年間を通して、定期的(1~2回/週)なリハの継続実施を行う事ができ、心身機能の維持や介護予防にも取り組む事が出来ている。</p> <p>・レクリエーション・趣味活動では、9月から実施している映画上映が好評を得ており、療護部・更生部の利用者様の参加人数も増え、利用者様の新しい習慣として定着している。</p> <p>・口腔ケアについては、継続的に実施出来ており1年間を通して、誤嚥性肺炎の予防が出来ており、再発予防が出来ている。</p>

2019年度 訓練課診療部事業総括

主管 訓練課

事業方針	重点事業項目	総合評価
地域に求められる資源としての専門性ある良質なリハビリテーションを提供し、個人の活動と生活機能の向上及び健康増進を支援し、地域に根ざしたサービスを提供して行きたい。また、障がい福祉と地域の高齢者と共に支え合いながら交流出来るような「共生型サービス」を目指し、お客様に対し地域の資源の活用とつながりの拠点であるサービスを提供して行きたい。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 外来リハビリテーション：医療的リハビリテーションを提供し、心身機能の維持・改善を目指し、日常生活活動の向上が図られるよう支援致します。 2) 総合事業 通所型サービスA：介護予防ならびに健康増進の促進を目指し、家庭や社会参加を促し、生きがいや自己実現の達成が図られよう支援致します。 3) 総合事業 通所型サービスC：生活課題を含めた生活機能の向上を目指し、自立した地域生活を送る事ができるよう支援致します。 	<p>・外来リハではSTと物療は入所利用者様を対象に1年間を通して継続して実施出来ており、心身機能の維持・改善を図れている。</p> <p>・通所型サービスAは、10月より併用利用者解消し、地域に根ざした求められる資源としての役割を果たす事が出来ている。また、利用者様も当サービス以外の社会参加活動（いきいき百歳体操や地域のラジオ体操、ボランティア活動への参加等）をされている利用者様も増えている。</p> <p>・通所型サービスCは、年間を通して4名と若干名ではあるが、利用者様が目標とする生活機能の改善が図れ、利用者様が希望する自立した地域生活を送る事ができている。</p>

2019年度 介護課更生部事業総括

主管 介護課更生部

事業方針	重点事業項目	総合評価
北広島リハビリセンターの基本理念に基づき、ご利用者様の基本的な人権を尊重・擁護し、心豊かで安心・安全な生活が送れるよう、ご利用者様の視点に立ったサービスを提供する。またご利用者様本位の立場から、自己決定を最大限に尊重し、自立支援の視点を持って日常生活や訓練への働きかけを行っていく。今後のグラントデザイン・アクションプランの施行にあたり、事業の縮小に合った業務改善を行う。また、他課との綿密な連携を図る事でスムーズな体系移行を実現する。介護職員の人件不足により職員にかかる負担と、リスクの軽減のため心身ともにゆとりを持って働ける環境を整える。日々多岐な業務の中にあっても、ご利用者様との信頼関係を深め、地域に求められる資源・選ばれた役割となるため、障害者虐待防止法をはじめとする関係法令の遵守に努める。	<ol style="list-style-type: none"> 1) ご利用者様の基本的な人権を尊重・擁護する 2) 専門職として自己研鑽に努め、ご利用者様の多種多様なニーズに応えられるよう介護の知識と技術を向上させる 3) グラントデザイン・アクションプランに基づいた体系移行がスムーズに出来るよう環境を整える 4) 転倒・誤薬・誤嚥等の介護事故を防止する 5) 職員が心身ともにゆとりをもって働ける環境を整える 	<p>1年を通してグラントデザインによる事業の見直しや利用者様の移行等に併い、度重なる業務の見直しや勤務体制の変更を行った。職員への負担増となる場面もみられたが、少ない人数の中でも無理なく安全に業務に努める事が出来るよう様々なアイデアを出しながら取り組む事が出来た。ご利用者様の生活変化は最小限になるよう工夫し、ご負担を掛けざるを得ない場面では事前にきちんとした説明を行った。介護職員の自己研鑽という面においては、研修等も含めてこれからの課題も多岐にわたるが、介護福祉士に取得に向けて実務者講習や研修受講に向けて、支援体制を整えて行きたい。</p> <p>ご利用者様の生活環境や種々な身だしなみなど、隙間時間を用いて今まで以上に気に掛ける職員が全体で行った。上半期に重点的に見直しを心がけたコミュニケーションと共に、普段の何気ない会話や対応一つ一つを丁寧に行い、ご利用者様の生活をより豊かにしていきたい。</p>

2019年度 介護課療護部事業総括

主管 介護課療護部

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>私たちは北広島リハビリセンターの『基本理念』『施設の信条』『施設綱領』を根幹とし、ご利用者様の尊厳が保たれ健やかな生活が送れるように支援する。</p> <p>そのためには人材確保が困難な状況に悲観することなく、早期に抜本的な変革を推進しなければならぬ。既存部署の編成見直しや人員配置の再考、ハード面の有効利用等、フロントデスクの実現へ向け現場の職員が自信をもって働くことが出来る環境を整備し、変化に柔軟に対応していく心構えと行動力を培う。ご利用者様のより良い生活と『生きる喜び』につながるサービスの提供をモットーとして、ご利用者様への専攻の気持ちを入切にし、誠実な対応をすると共に、障害者虐待防止法をはじめとする関係法令を遵守し、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様との信頼関係を築いていく。また、地域において信頼される施設となれるよう邁進していく。</p>	<p>1) ご利用者様に寄り添い、基本的な権利を守る</p> <p>2) 専門職として自己役割に努め、ご利用者様の多種多様なニーズに応えられるよう介護の知識と技術を向上させる</p> <p>3) 転倒・誤嚥・感寒等の介護事故を防止する</p> <p>4) 職員が心身ともにゆとりをもって働ける環境を整える</p>	<p>1月から道内においてもコロナウイルスの感染が確認され、手探り状態の中で迅速に感染対策を実施してきた。ご利用者様の安心と安全を守ることを第一とし他課との連携を図り、厳しい労働環境の中で職員全員が一丸となり対応に当たってきたが、ご利用者様も職員もこれまでとは大きく異なる環境での生活をしいられ、ストレスは計り知れないものになっている実態がある。いま私たちは大きく体制が変化する過渡期にあり、それも心算に少なからず影響を与えていることは否めない。次年度においてもその状況は変わらず、ご利用者様と職員には心のケアが一段重要視されるべきであり、些細な変化を見逃すことなくサービスの提供ははもちろん、職員のケアも重要視していくことが必要である。</p>

2019年度 看護課事業総括

主管 看護課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>入所利用者の高齢化、重症化等により医療的ケアも多くなり、又、在宅生活を送っているショートステイ利用者にも医療的ケアを必要とする方が増え、携えてきている。このため、施設看護師としての役割が大きくなってきている。</p> <p>施設看護師の基本的役割である利用者の健康管理を充分に行なうと共に、入所利用者様の高齢化により重症化しやすいという特徴を踏まえ、介護職への指導等を行なっていく事も必要となってくる。又、入所利用者様の病状の悪化など、異常の早期発見、緊急時の対応も重要な役割である。北広島リハビリセンターの基本理念に基づいて、診療部の役割を適切に発揮し業務遂行の事を、基本方針とする。</p>	<p>1) 継続した看護が出来るような体制づくりと、業務の見直しを行なう。</p> <p>2) ケアチームの一員として専門性を発揮する。安全・確実・効果的なケアの提供をする。看護の質の向上を図る。</p> <p>3) 利用者の高齢化、重症化に対し介護職員、他課職員と協力し異常の早期発見と事故防止に努める。</p> <p>4) 他課と連携し、緊急時の対応がスムーズに行なえる。</p> <p>5) 利用者様、施設職員の健康を維持。</p>	<p>1) 継続した看護が出来るように、お互いに申し送りや密に行なう様、スタッフ間に伝えている。必要時、業務終了前にミーティングを行なっている。</p> <p>2) 安全・確実・効果的なケアの提供が出来る様、常に意識して業務に徹している。</p> <p>3) 単月の抑病とDierの診察で、病歴を診察につなげ、入院者数も少なかった。</p> <p>4) 他職種と情報を共有し、緊急時の対応を行なっている。</p> <p>5) 定期的な利用者様と職員の健診、インフルエンザワクチン接種を行なった。</p>

2019年度 障がい福祉サービス事業所みなみ事業総括

主管 障がい地域支援課通所支援係

事業方針	重点項目	総合評価
<p>基本理念に基づき地域で暮らすような障がいの方にも、その人らしく生き生きとした生活を営んで頂くよう個々の障がいや特性に配慮した個別支援計画書の作成を基に、みなみで過ごすご時間を利用者様に喜んで頂き、毎日でも行きたいと思ってもらえる環境を作り、多様な日中活動を提案する。</p> <p>目頃からの情報共有とチームワークを大切に、チーム力を高め、質の高いケアの提供、各職種の特長を生かし、一体的な支援を行う。</p> <p>地域住民にみなみを利用して頂く機会(行事等)や場を作り、地域資源の一つとしての存在を確立する。</p>	<p>1) 利用者個々の状況に合った、日中活動の充実</p> <p>2) 支援力の向上、チームで一体感を持った支援体制作り</p> <p>3) 地域や周囲の社会資源との協働関係作り</p> <p>4) 共生型通所介護による一体的なサービス提供</p>	<p>昨年度よりもチームで一体感を持ちサービス提供のあり方や日中活動内容について検討し、サービスを提供することが出来た。通所開設以来、初めて利用者様、ご家族様へ満足度アンケートを実施したが具体的な改善点や温かいお言葉、評価を頂き職員も自信にも繋がっている。今後も進められる施設として、日中活動、リハビリ提供の工夫、勉強会や他施設の見学などを実施しサービスの質の向上に努める。</p> <p>移動料は年間を通して概ね76%前後を維持していたが、収入面では減収となっていた状況。要因としては、重症利用者の死去や在宅生活困難な為の施設入所、また生活介護から共生通所への移行があったことと考える。また2月からは、新型コロナウイルスの影響もあり、稼働率は60%台まで低下している。この様な状況下の中で積極的な通所利用への呼びかけは出来ず、適宜電話にて体調確認やサービス調整を行い繋がりを維持し続ける事に努めた。引き続き、感染対策を実施しながら利用者様、ご家族様が安心して通所利用できるように体制を取っていく。</p> <p>新規受け入れに際しては、他市町村からのニーズが多いがそれぞれ職員が可能な限り前向きに検討し、新規利用や利用日増への要望に対応してきた。今後も利用者増に向けて、丁寧、迅速な対応を心がけ利用者様、関係機関との信頼関係を大切に、また終了等で空きが出た際は利用日増の要望に応えるなど柔軟な調整を行い稼働率の維持に努める。</p> <p>10代から80代までの幅広い年齢層や障がい種別も様々であり、日中活動やサービス提供のあり方に苦慮することもあるが、次年度も職員一人一人が責任や自覚を持ち意見を出し合いながら質の高いケアの提供に努める。</p>

2019年度 障がい地域支援課事業総括

主管 障がい地域支援課通所支援係
児童発達支援・放課後等デイサービス

事業方針	重点項目	総合評価
<p>基本理念に基づき、児童の障がいの特性や生活の実態に応じて専門職に依りて専門職による質の高いリハビリや療育の提供を行い、日中活動の充実を図っていく。</p> <p>急な体調不良や入院等による利用実績への影響が大きいが、スムーズな利用調整や、あらかじめ欠席を見越した利用の調整を行い、安定した利用実績の確保を行っていく。</p> <p>医療的ケアを必要とする児童が多く、緊急的な対応(御機嫌作時や医療面等)を想定し、日頃からご家族との連絡を密にし、児童の体調変化等、迅速に気づき対応できる体制を作る。併せて医療的機関、学校、他支援機関との連携、情報交換に努める。</p>	<p>1) 専門職による質の高いリハビリや療育、日中活動の提供</p> <p>2) さめ細やかな医療的ケアの実施</p> <p>3) ご家族に対する支援</p>	<p>上半期の反省を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた活動や教育プログラムの充実、安心安全でできぬ細やかな医療的ケアの実施、ご家族の介護負担、心理的負担の軽減に努める事を実施目標として下半期も取り組みを行った。 しかしながら、上半期後半から下半期も職員の退職が続き、補充が出来なかったことから入浴や食事、排せつ等の介助に追われる状況があった。その中においても、季節を意識したレクレーションや創作活動、リハビリの継続等、出来るだけこれまでの支援の維持に努めた。ただし、職員がそれぞれの業務、時間に関わり、利用児童に優しい印象を与えてしまっただけではいかと感じている。 利用時の様子やご家庭、学校での様子についても細かくやり取りしながら体調の管理、希望される医療的ケアの実施に努めた。専任看護師以外には関わる機会が少ないため、他看護師が対応に戸惑う事もあり、その際はミスが無い様、他職種の職員も含め、複数での確認作業を行った。看護師含め中心職員の退職に伴い、新たな職員への引継ぎ期間がほとんど取れず、長期お休み中の児童に関しては引継ぎが出来ない状況となった事で新年度再開時の不安を残している。 ご家族との連絡調整は管理者(サビ管)に集中していたため、負担が大きかったと思われる。当事業所へのご家族からの信頼は高かったが、結果として管理者や複数職員の退職によりご家族の不安を招いた。新年度より体制一新し、上記反省を基に活動の提供方法、ご家族との連絡調整方法、職員間の連携体制の見直しを図り、新年度は改めて利用者、ご家族との信頼関係を築き直すと共に、安心して利用頂ける児童デイサービスを目指したい。

2019年度 障がい者生活支援センターみらい事業総括

主管 障がい者生活支援センターみらい

事業方針

委託相談の対象は、0歳～高齢者まで幅広く、相談員には障がいや難病、刑罰に関する広い知識はもちろぬこと、表出されたい潜在的な思いを聴きとる力が求められるとともに、その思いにに対し、幅広いサービスや社会資源の活用（フォローアップ・インフォームド・チョイス）を把握し、それを必要に応じて提供し、往々にして、同居家族等に対する支援も並行して必要となる場合も多いため、相談員にかかるとともに、相談員と連携する力が欠かせないものになっている。法人基本理念に基づき、より良い実践を行うため、「聴く力」「提供する力」「連携する力」の三つの力に注力し、相談支援力の向上を図っていく。

又、助けを必要としないもの、どこにもつながりを持たずに孤立している方や、社会資源とのつながりはあるものの、非常に限定的な状況の中でしか社会との接点を持つことができている方々に対し、ICT（情報通信技術）等を用い、市民の皆様とみらいの存在を知ってもらう事で相談しやすい仕組みを整えていくとともに、自分に合った居心地の良い場所や、やりたいことを見つけていくことができるよう、自然な形で当事者とのつながりをつくっていくことのできるコミュニティを当事者とともに創っていく。

重点項目

- 1) 相談支援力の向上
 - ・ 連携する力の向上（課内・他機関）
 - ・ 働く力の向上
 - ・ 提供する力の向上
- 2) イージーアクセス事業
 - ・ 時代のニーズに合った情報発信やコミュニケーションツール等、テクノロジーの活用
- 3) コミュニティエイジト事業
 - ・ 社会的孤立感の緩和のための交流プログラムの展開

総合評価

少人数のグループ（語面相談と児童支援センターのAチーム、成人・一般相談中心のBチーム）に振り分けし、チーム単位で情報の共有をしながら支援方法を検討、方針決定を迅速に行い円滑な業務遂行が出来たと思われる。関連する業務（利用者向けの企画や会議の参加等）の担当分けも明確になり、意見交換しやすくなった。

タブレット端末の導入により情報管理方法に慣熟しながら、広く支援センターの活動を発信する事が出来た。各種企画や相談場面においても画像・動画等の利用や情報管理の面で活用出来ているが、活用方法によってはさらに可能性が広がると感じている。特に年度末の2月より発生したコロナウィルス感染症に関しては利用者交流会（こころの交流会、当事者会）を始め、会議等の延期が相次ぎ、社会的孤立感緩和の為の事業の見直しに迫られた事になった。タブレットを活用し、オンラインでの交流会の企画などは次年度への課題とした。

各事業の取り組みの進捗状況を、最低毎月1回確認・検討の場を持ち、その都度優先順位を考えながら取り組むことが出来た。今年度の重点項目については上記内容を踏まえ、次年度以降も継続して取り組む。

2019年度 広報 兼 個人情報委員会 事業総括

ねらい

○ 相互のコミュニケーションを促進し、さらに情報交換による職員同士のスキルアップを目的に、また、日々変化化する社会情勢や活動の状況、情報等を提供することで選ばれる施設作りを実現していくために、利用者様と利用者様のニーズを把握し、個人情報を提供することによって広報活動を展開する。

○ 個人情報管理規定に基づき、個人情報保護の取組が職員に徹底して行われるよう周知し、利用者様・職員の情報流出を防ぐため、委員会から周知徹底を図っていく。コンピュータシステムの取扱での変更活動として、新しい情報委員会の個人・施設全体の情報を管理する手段を模索していく。世の中の情勢・情報・情報・情報に目を向け、迅速に対応が求められているようにしていく。

月	事業内容	評価	実績	
			評価	評価内容
4	委員会開催 役員会、次月の広報誌掲載内容について検討	4	委員会としての事項に対して確認が出来た。	
5	法人合同打ち合わせ内容の確認、家族への情報発信を厚くしていく。情報発信作成や管理など確認	3	家族向け情報発信内容や作成方法や内容を確認、再検討が要。	
6	委員会開催 進行状況の確認、家族向け情報発信内容およびホームページの掲載内容の確認	3	ホームページ掲載の進捗を確認、進捗確認の進捗を写真で確認し、掲載時期の整理が要。	
7	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況の確認	4	ホームページの管理方法を確立できた。	
8	委員会開催 進行状況の確認	3	家族向け情報発信の方法の決定に至らず、再検討が要。	
9	委員会開催 情報紙および広報誌制作について確認	4	家族向け情報発信の方法を決定。作成予定表を作成。若手研修生10月より開始編集作業し発行する。	
10	委員会開催 次号広報誌の構成など掲載内容の確認、原稿締切日直前の確認	4	家族向け情報発信の方法を整理できた。	
11	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況の確認	3	家族向け情報発信結果に時間差を認め、発行が遅れた。各職員からコメント提出の締切が要。	
12	委員会開催 次号広報誌の進行状況、住所録の確認、次年度事業計画、予算案等の作成	3	広報誌の各委員担当ページの作成が遅れた状況。	
1	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況、次年度事業計画の確認	3	広報誌発行事業所などの拡大検討、名簿の整理が要。	
2	委員会開催 広報誌『さくらの丘』No.2発行、印刷会社	2	広報誌の発行が遅れた状況	
3	委員会開催 委員会報告書の分析、評価	3	広報誌『さくらの丘』発行	

備考

- 評価基準：
 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた）
 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった）
 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

2019年度 防火対策委員会 事業総括(障がい者施設)

目 (ねらい)	1. 現行の消防法に沿った内容で整備されている施設であっても防火対策は重要な課題である。また、昨年、北海道では台風被害が発生した翌日には胆振東部地域が発生し、フラックアウトによる停電を経験し火事のみならず地震や台風等の自然災害対策にも重点を置く必要がある。 2. 年2回の防火総合訓練を機に自主防衛組織や事故の役割、任務の理解と防火・防災に対する知識の修得等、自主防衛組織としての防火管理体制の確立を目指す。 3. 北広島市の福祉避難所としての役割を担えるように、施設のハード面の整備や備品や非常用食料品の整備と管理に取り組む。		
	担当職員	山本 拓二 菊池 士 柏 滋 小山 俊之	
項目	事業内容	実績	
	評価	評価内容	
計 画	1 防火対策委員会の定例開催 (毎月1回)	4	概わ月1回開催できた。
	2 避難訓練、夜間想定訓練、夜間緊急訓練センター(6月 11月) みなみ(6月 10月)	4	消防署と連携し行えた。
	3 防災機器の取扱い理解	4	訓練員等に周知を行なった。厳冬期に暖房機器発煙機の作動確認。
	4 防火総合訓練の立案と消防署への届け出	4	滞りなく行えた。
	5 防火対象物定期点検実施と消防署への届け出	4	滞りなく行えた。
	6 非常用食料品・物品の確認、備蓄調査	4	
	7 非常時の職員駆けつけや非常時職員通報等の検討	3	連絡、駆けつけ方法等件考が必要。
	8 停電時等の対応の検討	3	自家発電機等の点検、ポータル監視機の点検
	9 非常用備品の管理とメンテナンス	4	滞りなく行えた。
	10 非常時の備蓄燃料の確保	4	灯油、ガソリン共に用意できる範囲で用意できた。
備考			

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2019年度 カイゴみらい委員会 事業総括

事業項目	○若年層への社会福祉・介護福祉の啓蒙活動及び人材確保の方法を若手職員中心に検討。 ○中高生や福祉専門職養成機関に限らず、社会福祉・介護福祉の魅力を伝えるための企画立案、 ○事業紹介・就職相談会への参加 ○小学生・中学生・高校生・専門学校生・大学生への啓蒙活動。 ○広報活動に関する企画立案(広報委員会と協働)		
	委員	[委員長] 佐藤美美 [委員] 今綾 中田花菜美 中山美時 金子杏奈 徳永翔平 岡田茂美	
具体的な取り組み	事業内容	実績	
	評価	評価内容	
	1 委員会の開催 毎月第3火曜日	4	毎月開催。終了し翌日研修の履上り、その期間研修を共有し参加員で活用していることが確認。
	2 マイナビの企画・運用	3	法人職員が企画している。若くは若い職員が企画している。また、若手職員が少ないため、アビリティ研修が重要。
	3 就職相談会への参加 (9月福祉就職説明会)	4	1〜2名ずつ参加するが参加員も増えた。また、資料も増え出席者も増えた。
	4 法人紹介用のパンフレット等の見直し及び動画作成	4	施設等の資料や動画を検証し、更新の資料や動画を制作し、見直しを行った。
	5 ジョブフェア北海道 単独企業説明会の開催	2	単独で説明会が企画された。いろいろな職種や企業がある。また、若手職員が積極的に参加している。
	6 学校説明 (専門学校・大学) (8月大学2校 9月専門学校3校)	4	学校説明として学生の参加も増え、学校スタッフとの関係もよくなった。また、説明会に参加した。参加員は説明会に参加した。参加員は説明会に参加した。
	7 “福祉”を知るセミナー開催 (11月)	4	外部に講師を招き、セミナーを開催した。
	8 高齢との合同委員会の開催	4	高齢者の参加も増え、高齢者との関係もよくなった。また、説明会に参加した。参加員は説明会に参加した。
	9 広報活動の企画立案 (広報委員会と協働)	2	マイナビや就職説明会等のイベントを企画し、参加員も増えた。また、説明会に参加した。参加員は説明会に参加した。
	10		
11			
12			
備考	*説明会や相談会などでPCが使えない場所ではタブレットを使用できるようにしたい。		

評価基準: 6. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2019年度レクリエーション委員会事業総括

主管 レクリエーション委員会

重点項目	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
具体的な取り組み	4月	外出レクリエーション		
	5月	お花見	5	天候が良く、外での活動ができた。利用者さんにも喜んでいただけた
	6月			
	7月	ビアガーデン	3	当初 外での放棄を検討していたが、天候や場所の問題が残り施設内での実施となった
	8月	盆踊り	4	ボランティアの協力も得ながら実施できた
	9月			
	10月			
	11月	運動会	5	職員も親御に参加し、利用者さんにも喜んでいただけた
	12月	忘年会 餅つき大会	5	委員会では喜んでいただけ
	1月			
	2月	豆まき大会	1	口利難しく未実施
	3月	ひな祭り	4	ひな祭りにもなんぼひなオウチや和フアイアスリ酒の振盃をし喜んでいただけた
	備考	外出レクに関しては時間が短い、長い等、個々の要望があり、次年度も利用者さんへアンケートを実施し、要望に応えられるよう検討していく必要あり。		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上)の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2019年度快適送迎検討委員会事業総括

(むら)	担当職員	月	事業内容	実績	
				評価	評価内容
目的	谷口 勝也、西野 正康、山下 誠一郎、河西 恵美子	4	交通事故防止啓発活動	4	計画通り実施出来た。
		5	車輦算定評価実施	4	計画通り実施出来た。
		6	法人合同委員会の開催	4	当初の計画通り実施し、皆参加出来た
		7	交通安全週間 (交通安全旗の設置)	4	計画通り実施出来た。
		8		3	
		9		3	
		10	車輦算定評価実施	4	計画通り実施出来た。
計画		11	法人合同研修会 (安全運転講習) 交通安全週間 (交通安全旗の設置)	4	当初の計画通り実施出来た。
		12		3	
		1		3	
備考		2		3	
		3	法人合同委員会の開催	3	新型コロナウイルス感染症拡大予防の為中止。

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上)の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2019年度 研修委員会 事業総括

主管 研修委員会

<p>私達は「基本理念」と「倫理綱領」をもとに以下二つの重点項目に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>①お客様・利用者様への「サービスの質の向上」に重点をおき、職員の資質向上と充実、また多様化したニーズに対応できるよう専門職としての知識向上やスキルアップ、スキルチェンジに向けて取り組んでいきたい。</p> <p>②職員・他職種との連携を図り、チームワークの構築に向けて取り組んでいきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="406 1176 494 1512">項目</th> <th data-bbox="406 1512 494 1971">事業内容</th> <th data-bbox="406 1971 494 2132">要 績</th> </tr> <tr> <th data-bbox="494 1176 494 1512"></th> <th data-bbox="494 1512 494 1971"></th> <th data-bbox="494 1971 494 2132">評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="494 1176 662 1512">1</td> <td data-bbox="494 1512 662 1971"> <p>施設職員研修会の実施（虐待防止対策研修）</p> <p>【目的】不適切ケアについて、法人基本理念に基づき、その解決方法をグループ討議し、施設全体で取り組みを具現化する事。また他課・他職種とのコミュニケーションを図りチームワーク・チームケアの結束を図る事。</p> <p>【内容】2016年度の施設職員研修会「不適切ケアに関する事件」のグループワークで出された内容で、かつ現状まだ解決に至っていない内容について、原因や解決方法についてPDCAサイクルを用いてグループワーク実施。</p> </td> <td data-bbox="494 1971 662 2132"> <ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ作成やグループワーク模造紙併用等に時間を要し、委員の負担が大きかった。PCに直接入力カスタータイルにし、発表はプロジェクトで使用するとよい。 ・検討内容が濃く、1回の研修で2項目は難しく1項目へ変更した。（それぞれも時間が足りなかった） ・急遽欠席者にも対応出来た。 ・グループワークで他職種参加し多角的な意見が出て良かった。 ・グループワークの形式は、他の部署の職員との交流、意見交換の場になり、また、いろんな気づきが見られる場になり、研修としては有意義であった。（他部署の現状、大変さを知る機会、ケアについて他職員の意見から自分の考えを上げたり改められる機会） ・振り返りでは、施設全体で不適切ケアに取り組むためにも人手不足に対して他課他職種におけるチームケアが必要という問題提起的な内容が多く出た。 ・各委員分担し、グループワークの内容を作成し、今後の取り組み提案を委員でまとめ、サービス向上検討チームにスムーズに申し送りができた。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="662 1176 742 1512">2</td> <td data-bbox="662 1512 742 1971"> <p>職員研修会の実施（3月24日）</p> <p>①グラウンドデザイン ②次年度事業計画</p> </td> <td data-bbox="662 1971 742 2132"> <p>新築コロナウイルス感染拡大予防のため延期</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="742 1176 821 1512">3</td> <td data-bbox="742 1512 821 1971"> <p>定期委員会（毎月第4火曜）16:30～（第2会議室）</p> </td> <td data-bbox="742 1971 821 2132"> <p>全11回定期開催</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="821 1176 901 1512">4</td> <td data-bbox="821 1512 901 1971"> <p>昨年度施設職員研修会アンガーマネジメント啓発、ミニクイズの実施と内容の振り返りにて注意喚起</p> </td> <td data-bbox="821 1971 901 2132"> <p>2月全職員配布、ミニクイズと内容振り返りで注意喚起がされた。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	項目	事業内容	要 績			評価内容	1	<p>施設職員研修会の実施（虐待防止対策研修）</p> <p>【目的】不適切ケアについて、法人基本理念に基づき、その解決方法をグループ討議し、施設全体で取り組みを具現化する事。また他課・他職種とのコミュニケーションを図りチームワーク・チームケアの結束を図る事。</p> <p>【内容】2016年度の施設職員研修会「不適切ケアに関する事件」のグループワークで出された内容で、かつ現状まだ解決に至っていない内容について、原因や解決方法についてPDCAサイクルを用いてグループワーク実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ作成やグループワーク模造紙併用等に時間を要し、委員の負担が大きかった。PCに直接入力カスタータイルにし、発表はプロジェクトで使用するとよい。 ・検討内容が濃く、1回の研修で2項目は難しく1項目へ変更した。（それぞれも時間が足りなかった） ・急遽欠席者にも対応出来た。 ・グループワークで他職種参加し多角的な意見が出て良かった。 ・グループワークの形式は、他の部署の職員との交流、意見交換の場になり、また、いろんな気づきが見られる場になり、研修としては有意義であった。（他部署の現状、大変さを知る機会、ケアについて他職員の意見から自分の考えを上げたり改められる機会） ・振り返りでは、施設全体で不適切ケアに取り組むためにも人手不足に対して他課他職種におけるチームケアが必要という問題提起的な内容が多く出た。 ・各委員分担し、グループワークの内容を作成し、今後の取り組み提案を委員でまとめ、サービス向上検討チームにスムーズに申し送りができた。 	2	<p>職員研修会の実施（3月24日）</p> <p>①グラウンドデザイン ②次年度事業計画</p>	<p>新築コロナウイルス感染拡大予防のため延期</p>	3	<p>定期委員会（毎月第4火曜）16:30～（第2会議室）</p>	<p>全11回定期開催</p>	4	<p>昨年度施設職員研修会アンガーマネジメント啓発、ミニクイズの実施と内容の振り返りにて注意喚起</p>	<p>2月全職員配布、ミニクイズと内容振り返りで注意喚起がされた。</p>
項目	事業内容	要 績																	
		評価内容																	
1	<p>施設職員研修会の実施（虐待防止対策研修）</p> <p>【目的】不適切ケアについて、法人基本理念に基づき、その解決方法をグループ討議し、施設全体で取り組みを具現化する事。また他課・他職種とのコミュニケーションを図りチームワーク・チームケアの結束を図る事。</p> <p>【内容】2016年度の施設職員研修会「不適切ケアに関する事件」のグループワークで出された内容で、かつ現状まだ解決に至っていない内容について、原因や解決方法についてPDCAサイクルを用いてグループワーク実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ作成やグループワーク模造紙併用等に時間を要し、委員の負担が大きかった。PCに直接入力カスタータイルにし、発表はプロジェクトで使用するとよい。 ・検討内容が濃く、1回の研修で2項目は難しく1項目へ変更した。（それぞれも時間が足りなかった） ・急遽欠席者にも対応出来た。 ・グループワークで他職種参加し多角的な意見が出て良かった。 ・グループワークの形式は、他の部署の職員との交流、意見交換の場になり、また、いろんな気づきが見られる場になり、研修としては有意義であった。（他部署の現状、大変さを知る機会、ケアについて他職員の意見から自分の考えを上げたり改められる機会） ・振り返りでは、施設全体で不適切ケアに取り組むためにも人手不足に対して他課他職種におけるチームケアが必要という問題提起的な内容が多く出た。 ・各委員分担し、グループワークの内容を作成し、今後の取り組み提案を委員でまとめ、サービス向上検討チームにスムーズに申し送りができた。 																	
2	<p>職員研修会の実施（3月24日）</p> <p>①グラウンドデザイン ②次年度事業計画</p>	<p>新築コロナウイルス感染拡大予防のため延期</p>																	
3	<p>定期委員会（毎月第4火曜）16:30～（第2会議室）</p>	<p>全11回定期開催</p>																	
4	<p>昨年度施設職員研修会アンガーマネジメント啓発、ミニクイズの実施と内容の振り返りにて注意喚起</p>	<p>2月全職員配布、ミニクイズと内容振り返りで注意喚起がされた。</p>																	

評価基準： 6. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 2. できていない（見直しが必要）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 1. 全くできていない

2019年度 食事検討委員会 事業総括

<p>（ねらい）</p> <p>日々の食事は「生きる喜び」につながるサービスの一つである事から、食事の楽しみや味あう喜びを感じていただけたらという、食事のあり方を検討する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="375 100 494 280">担当職員</th> <th data-bbox="375 280 494 1030">事業内容</th> <th data-bbox="494 100 494 280">要 績</th> </tr> <tr> <th data-bbox="494 100 494 280"></th> <th data-bbox="494 280 494 1030"></th> <th data-bbox="494 100 494 280">評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="494 100 574 280">木戸和美 濱本さなえ 水留直樹 中瀬智子 西田健徳 館山剛子</td> <td data-bbox="494 280 574 1030"> <p>1 個々の身体状況に合わせた食事提供に係る事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬する際に適した食媒体や方法の見直し ・とろみ食に関し“とろみ剤”や“固さ”などが現状適しているのか再検討を行う。 </td> <td data-bbox="494 100 574 280">5 実施した</td> </tr> <tr> <td data-bbox="574 100 654 280">計 画</td> <td data-bbox="574 280 654 1030"> <p>2 献立内容に適した温度帯での食事提供</p> </td> <td data-bbox="574 100 654 280">3 概ね実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="654 100 1300 280">備 考</td> <td data-bbox="654 280 1300 1030"></td> <td data-bbox="654 100 1300 280"></td> </tr> </tbody> </table>	担当職員	事業内容	要 績			評価内容	木戸和美 濱本さなえ 水留直樹 中瀬智子 西田健徳 館山剛子	<p>1 個々の身体状況に合わせた食事提供に係る事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬する際に適した食媒体や方法の見直し ・とろみ食に関し“とろみ剤”や“固さ”などが現状適しているのか再検討を行う。 	5 実施した	計 画	<p>2 献立内容に適した温度帯での食事提供</p>	3 概ね実施	備 考		
担当職員	事業内容	要 績														
		評価内容														
木戸和美 濱本さなえ 水留直樹 中瀬智子 西田健徳 館山剛子	<p>1 個々の身体状況に合わせた食事提供に係る事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬する際に適した食媒体や方法の見直し ・とろみ食に関し“とろみ剤”や“固さ”などが現状適しているのか再検討を行う。 	5 実施した														
計 画	<p>2 献立内容に適した温度帯での食事提供</p>	3 概ね実施														
備 考																

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 2. できていない（見直しが必要）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 1. 全くできていない

1. 運営管理 (1) 職員の状況

ア. 職員の配置状況

2020年3月31日現在

	特別養護老人ホーム四恩園	デイサービス四恩園	デイホームさとみ	デイホームかたる	みなみ高齢者支援センター	居宅介護支援事業所四恩園	グループホーム四恩園	複合型サービス四恩園	ホームヘルプサービスステーション四恩園	訪問看護ステーション四恩園	サービス付き高齢者向け住宅しおん	北広島地域交流ホームふれて	
正規職員	18	10	0	7	7	8	6	7	4	3	3	0	73
臨時職員	27	17	10	9	1	0	24	20	27	0	11	2	148
合計	45	27	10	16	8	8	30	27	31	3	14	2	221

イ. 役付職員の状況

2020年3月31日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	三瓶 徹	会計課 経理係長	前川 忍
常務理事	中川 浩一	施設サービス課 係長	横尾 真素枝
四恩園 施設長	神部 健史	給食サービス課 係長	土池 康介
管理課 係長 高齢者地域支援課 係長	向山 篤	高齢者地域支援課 係長	奥山 智直
複合型サービス課 係長	平野 佐緒利	高齢者地域支援課 係長	林 晃市
訪問看護課 係長	町田 丸美	通所介護課 係長(かたる)	吉田 匡貴
通所介護課 係長	玉邑 亜矢	グループホーム課 主任	恩田 不美代
グループホーム課 係長	皆木 有子	施設サービス課 主任	鈴木 優子
居宅介護支援課 係長	新沼 右文	複合型サービス課 主任	佐藤 吉朗
訪問介護課 係長	吉永 美香	居宅介護支援課 主任	秋田 梢
施設サービス課 係長	清水 孝修	会計課 経理係 主任	田村 啓之
給食サービス課 係長	長谷川 倫子		
管理課 係長	大日向 伸也		
施設サービス課 係長	長谷川 智彦		

ウ. 職員の異動状況

区 分	*2019. 4. 1	2019年度 (4.2~3.31)	2019年度 (4.2~3.31)	2020. 3. 31
	現 在 数	中途採用	退 職	年度末数
正規職員	75	7	8	74
臨時職員	140	24	16	148
計	215	30	22	222

* () 4. 1付採用

エ. 国家資格等取得者

2020年3月31日現在

※ (重複有り)

	管 理 課	サ ー ビ ス 課 食	サ ー ビ ス 課 設	デ イ サ ー ビ ス	さ デ イ と ホ ー ム	か デ イ た ホ ー ム	ス ヘ ル パ ー シ ョ ン	居 宅 介 護 支 援	高 齢 者 地 域 支 援	訪 問 看 護	複 合 型	ホ グ ル ー ム プ	高 齢 者 住 宅	サ ー ビ ス 付 き	計
社会福祉士	2	0	3	2	1	3	0	2	8	2	1	0	0	0	22
精神保健福祉士	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	5
介護福祉士	1	0	19	8	6	4	26	8	4	0	8	14	2	2	100
介護支援専門員	2	0	4	2	1	3	6	8	5	3	5	3	1	1	43
保 健 師	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
看 護 師	0	0	1	2	1	2	1	0	1	3	6	0	0	0	18
准 看 護 師	0	0	1	4	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	9
作業療法士	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
栄 養 士	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
調 理 師	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
実務者研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
ヘルパー1・2級 初任者研修	8	1	9	4	4	1	28	4	1	0	1	9	2	2	72

(2) 職員研修状況

ア. 外部研修実施状況

2019年度

地区	月	日	開催地	研修会名称	参加者名
道外	6	22～23	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾①	三瓶徹 向山篤
	7	26	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾②	向山篤
	8	23	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾③	
	9	20～21	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾④	
	10	18～19	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾⑤	
	11	15	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾⑥	
	12	6	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾⑦	
	1	10	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾⑧	
	2	22	大阪市	次世代介護経営者経営幹部養成塾⑨	中川浩一 向山篤
道外	4	18	札幌市	働き方改革関連法対応の最難関、経営者が考えるべき「同一労働同一賃金」	向山篤
	5	11	鷹栖町	第7回全国地域包括ケア研究大会 in 北海道	神部健史 清水孝修
		15～16	札幌市	新任介護職員研修	金子裕太 阿部春花
	6	14	札幌市	令和元年度石狩管内老人福祉施設職員研修会・総会	神部健史 向山篤 清水孝修 大日向伸也
		20	札幌市	ソウエルクラブ接遇講習会	山口由美子 小倉美砂保
	7	3～4	札幌市	全道老人福祉施設研究発表大会	神部健史 向山篤 清水孝修 長谷川智彦 石田あゆみ 林晃市
		16～19	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修（実務未経験）	深田育子
		16～19	札幌市	北海道介護支援専門員再研修	及川諺二
		18～19	札幌市	多職種協働による自立支援と重度化対応第1回	清水孝修 柳原祐美
		25	札幌市	YM-G 経営クラブ月例セミナー	三瓶徹 神部健史

	29	札幌市	札幌市、石狩管内老人福祉施設職員合同研修会	神部健史 新沼右文
8	7～8	札幌市	新任相談絵所研修	阿部春花
	20	恵庭市	令和元年度特定給食施設栄養・調理従事者研修会	長谷川倫子
	19～22	札幌市	2019年介護支援専門員再研修	齊藤眞喜子
	23	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修（前期1）	加藤洋美 吉田誠
	23	札幌市	2019年北海道介護支援専門員専門研修Ⅰ（1）	松沢恵 伊東賢志郎
	25	夕張市	地域協働夏季セミナーIN夕張	向山篤 毛利秀景 新沼右文
	30～31	札幌市	令和元年年北海道主任介護支援専門員更新研修1～2)	早川彩子
9	5	札幌市	安全運転管理者・副管理者講習	向山篤 大日向伸也 神原英明 奥山智直 坂井雄治
	5～7	札幌市	令和元年年北海道主任介護支援専門員更新研修1～3)	早川彩子
	17	札幌市	令和元年北海道高齢者虐待防止推進研修会（施設編）	横内あゆみ 曾山美奈子
	17	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修（前期1）	皆木有子
	17～20	札幌市	2019年北海道介護支援専門員再研修	神部健史 吉永美香
	24	札幌市	令元年度介護保険施設等及び有料老人ホームに対する集団指導	清水孝信 玉邑亜矢 吉永美香
	25～26	札幌市	新任介護職員研修	熊谷泉穂
	29	札幌市	フクシのお仕事合同就職相談会 in チカホ	神部健史 向山篤 秋田梢 中尾真紀 渡辺苑美 石田あゆみ 阿部春花 高谷里奈 岩崎真衣
30	札幌市	令和元年第1回石狩管内地域包括支援センター連絡会議	林晃市 毛利秀景	

				中尾真紀
	9.30～ 10.2	札幌市	令和元年年北海道主任介護支援専門員更新研修(3～5)	早川彩子
	2～3	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修(前期1)	加藤洋美 吉田誠
	2～3	札幌市	2019年北海道介護支援専門員専門研修Ⅰ(2～3)	松沢恵 伊東賢志郎
	7～8	札幌市	多職種協働による自立支援と重度化対応第2回	清水孝修 柳原祐美
10	9	札幌市	シニアワーキングさっぽろ2019 60代からの体験付仕事説明会	神部健史 向山篤 秋田梢 中尾真紀 高谷里奈
	10～11	札幌市	相談援助職員専門研修	川原規仁
	10～12	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修(後期1～3)	新沼右文
	17～18	札幌市	令和元年北海道カントリーミーティング	神部健史
	24～25	札幌市	令和元年北海道主任介護支援専門員更新研修(6～7)	早川彩子
	29～30	札幌市	2019年度北海道介護支援専門員更新研修(前期2～3)	皆木有子
11	1	札幌市	介護分野における特定技能制度説明会	中川浩一 向山篤
	5～6	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修(前期4～5)	加藤洋美 吉田誠
	5～6	札幌市	2019年北海道介護支援専門員専門研修Ⅰ(4～5)	松沢恵 伊東賢志郎
	7	札幌枝	令和元年第2回石狩振興局管内地域包括支援センター連絡会議	林晃市 中尾真紀 毛利秀景
	11～12	札幌市	令和元年北海道主任介護支援専門員更新研修(1～2)	新沼右文 清水孝修
	20	千歳市	令和元年北海道介護保険施設等集団指導	町田丸美
12	3～4	札幌市	2019年度北海道介護支援専門員更新研修(前期4～5)	皆木有子
	10～12	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修(前期1～3)	秋田梢
	16～18	札幌市	2019年北海道介護支援専門員更新研修(前期1～3)	泉正人 加藤洋美 吉田誠
	16～18	札幌市	令和元年北海道主任介護支援専門員更新研修(3～5)	新沼右文 清水孝修
	16～18	札幌枝	2019年北海道介護支援専門員専門研修Ⅱ(1～3)	松沢恵

1	14～15	札幌市	多職種協働による自立支援と重度化対応第3回	清水孝修 柳原祐美
	15～16	札幌市	令和元年北海道主任介護支援専門員更新研修(6～7)	新沼右文 清水孝修
	21～23	札幌市	2019年度北海道介護支援専門員更新研修(後期1～3)	皆木有子
	31	札幌市	令和元年老人福祉施設長研究セミナー	神部 健史
2	20	札幌市	サービス付き高齢者向け住宅整備事業及びセーフティネット住宅改修事業に関する説明会	菊地新子 小野雅彦

延べ119名

2. 事業実施状況

(1) 特養部

1) 施設サービス利用者状況

ア. 在籍者人数調

2020年3月31日現在

項目	男	女	合計
人数	6	42	48

イ. 年齢別

2020年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳～69歳	0	1	1
70歳～79歳	0	7	7
80歳～89歳	6	12	18
90歳～99歳	0	21	21
100歳以上	0	1	1
計	6	42	48
平均年齢	83.5	86.4	85.5

※最高100歳

ウ. 障害現症別(身体障害者手帳保持者のみ)

2020年3月31日現在

障害名	男	女	計
脳血管障害(右麻痺)	0	2	2
脳血管障害(左麻痺)	0	0	0
脳血管障害(その他)	0	1	1
頸髄損傷	0	0	0
脳性麻痺	0	0	0
神経難病	0	0	0
知的障害	0	0	0
その他	0	0	0
計	0	3	3

エ. 障害等級別

2020年3月31日現在

等級 \ 区分	男	女	計
1 級	0	3	3
2 級	0	0	0
3 級	0	0	0
4 級	0	0	0
5 級	0	0	0
6 級	0	0	0
計	0	3	3

オ. 利用経路

2020年3月31日現在

居宅より	病院より	介護保険施設より	その他	計
5	7	0	1	13

カ. 退所理由

2020年3月31日現在

居宅へ	病院へ	看取り	その他	計
0	9	1	0	10

キ. 在所期間

2020年3月31日現在

年数 \ 区分	男	女	計
1 年 未 満	2	10	12
3 年 未 満	4	18	22
5 年 未 満	0	8	8
5 年 以 上	0	6	6
計	6	42	48
平 均	1年6ヵ月	2年9ヵ月	2年4ヵ月

ク. 保険者別

2020年3月31日現在

実施機関名	男	女	計
北 広 島 市	6	40	46
赤 平 市	0	1	1
紋 別 市	0	1	1
計	6	42	48

ケ. 診療別施設外受診状況表

2020年3月31日現在

受診先 症状	北 広 島 市	恵 庭 市	札幌市									長 沼 町	そ の 他	合 計	
			清 田 区	豊 平 区	白 石 区	厚 別 区	中 央 区	東 区	南 区	北 区	西 区				
一 般 内 科	76		6		14	3	1					2	1		103
呼 吸 器 科															
循 環 器 科	12					1									13
消 化 器 科	165														165
外 科		2		8	2	1									13
整 形 外 科	38		1	1		2									42
脳 神 経 外 科	43	13	3	8		3									70
神 経 内 科															
精 神 科	13	1	24												38
泌 尿 器 科				22	7										29
婦 人 科															
耳 鼻 科	1														2
眼 科	12														12
皮 膚 科	249														249
歯 科	43			3											43
そ の 他			15		2	1									18
計	642	16	49	31	31	11	2	1				2	1		786
上 記 中 の 定 期 受 診 者	338	9	41	22	21	4						1	1		436

※ 入退院含む

コ. 月別施設受診状況表(施設外受診)

2020年3月31日現在

	入 所 者				ショート利用者		往 診(ショート)			計 (ショート)
	協力医 療機関 受診	他病院 受診	入 院	退 院	受 診	入 院	輪厚三愛 (看取り)	やまと 皮膚科	他	
4月	12	30	0	0	3	0		10		58(3)
5月	16	27	0	0	7	0		20		63(7)
6月	10	33	3	3	2	0		17		66(2)
7月	19	30	5	1	4	2		20(1)		75(7)
8月	19	36	4	2	0	1		16		77(1)
9月	18	33	0	1	2	0		26		78(2)
10月	14	22	2	1	4	0		20		59(4)
11月	12	20	3	2	2	1		14		51(4)
12月	18	27	4	3	4	1		21		73(6)
1月	17	25	2	1	2	1	1	19		65(3)
2月	12	22	4	1	4	0		21		60(4)
3月	12	29	3	3	1	0		14		61(1)
計	179	340	30	18	42	4	1			786(44)

※()数字は、受診・往診者の数中のショートステイ利用者数状況

		障害自立度					認知症自立度					
		自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし
介護1	2		1	1			1	1				
介護2	5			5					4	1		
介護3	15			2	13			4	7	4		
介護4	20				20		1	1	15	3		
介護5	6				6				2	4		
合計	48		1	8	39		2	6	28	12		
%	100		2.1	16.7	81.2		8.3	12.5	58.2	25.0		
合計	48	48名					48名					

<参考>

障害自立度	J	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	認知症自立度	I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない		II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても誰かが注意していれば自立できる
	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要す		IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする
				M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

2) 施設サービス行事等実施状況

行事实績一覧

2020年3月31日現在

月	日	曜日	行事名	参加人数				計
				利用者	職員	ボランティア	家族	
5	26	日	春のお花見会	57	14	5	7	83
6	12	火	あおぞら保育園交流会	54	2	0	0	56
7	2	火	札幌ドーム野球観戦	2	2	0	0	4
	7	日	第3住区ふくしま祭り	2	3	0	0	5
	17	水	すずらん保育園交流会	52	2	0	1	55
	25	木	居酒屋しおん(夏祭り)	54	8	3	11	66
8	6	水	札幌ドーム野球観戦	2	2	0	0	4
9	15	日	敬老祝賀会	54	13	6	34	107
11	18	月	広島幼稚園防火訪問	57	4	0	0	61
12	5	木	もちつき大会	53	12	11	4	80
	25	水	クリスマス忘年会	56	12	0	1	69
1	1	月	新年交礼会	51	9	1	0	61
計				494	83	26	58	661

※誕生日のお祝いは個別に企画

3) ボランティア受入状況

ア) 定期ボランティア

2020年3月31日現在

月 日	内 容	団 体 名
月1回第4曜日	華道クラブ	藤原 晴美氏、三浦 田鶴子氏、永島 博子氏
月1回	書道クラブ	休止中
月1回不定期日曜日	音楽クラブ	鈴木誠次氏 天谷美和氏 合田みどり氏
毎月1回	車椅子、加湿器清掃、花壇整備	家族ボランティア他

イ) 月別ボランティア内容

2020年3月31日現在

月	内 容	人 数	団 体 名 等
4	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
5	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
	春のお花見会	3	個人ボランティア
6	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
7	華道クラブ	2	社会福祉協議会
8	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	夏祭り	1	ふくろう
9	敬老祝賀会	2	実習終了学生
	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
10	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
11	車椅子清掃	6	家族ボランティア
12	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	もちつき	1	ふくろう
		5	個人ボランティア
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
	すずらん保育園訪問	2	個人ボランティア
	クリスマス忘年会	2	個人ボランティア
1	新年交礼会	1	家族ボランティア
2	華道クラブ	2	社会福祉協議会
3	華道クラブ(中止)		
	加湿器清掃(中止)		
計		59	

4) 四恩園面会者数

2020年3月31日現在

項目	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
人 数	126	169	126	132	156	145	152	126	148	141	94	81	1,596人
1日平均(人)	4.2	5.5	4.2	4.4	5.0	4.8	4.9	4.2	4.8	4.5	3.4	2.6	4.4人

5) 家族ボランティア報告

2020年3月31日現在

月	日	事 業	家族等参加者数
4	25	加湿器清掃・収納	8名
5	23	花壇整備	10名
6	27	花壇整備	7名
7	25	花壇整備	6名
8	29	花壇整備	8名
9	26	館内テーブル・椅子清掃	5名
10	24	館内テーブル・椅子清掃	6名
11	28	加湿器清掃・納入	8名
12	26	加湿器清掃	7名
1	30	加湿器清掃	10名
2	20	加湿器清掃	7名

・特別養護老人ホーム 要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	要 介 護 度					計	入院	外泊	一日平均利用者数
		1	2	3	4	5				
4月	実人数	3	3	19	23	1	48	37	0	46.8
	延利用者数	60	90	555	668	30	1,403			
5月	実人数	2	3	20	21	1	47	0	0	46.8
	延利用者数	62	93	613	651	31	1,450			
6月	実人数	2	3	20	21	2	48	23	0	47.2
	延利用者数	60	90	577	630	60	1,417			
7月	実人数	2	3	18	22	5	50	43	0	48.6
	延利用者数	62	93	544	682	126	1,507			
8月	実人数	2	4	21	20	3	50	59	1	47.9
	延利用者数	62	124	621	590	89	1,486			
9月	実人数	2	4	19	21	3	49	9	0	48.7
	延利用者数	60	120	570	621	90	1,461			
10月	実人数	2	6	18	20	3	1,519	36	0	47.8
	延利用者数	62	175	533	620	93	1,483			
11月	実人数	2	6	17	21	4	1,461	64	0	46.6
	延利用者数	60	180	437	600	120	1,397			
12月	実人数	2	6	18	20	4	50	50	0	47.9
	延利用者数	62	174	515	610	124	1,485			
1月	実人数	2	6	15	21	5	49	23	1	47.4
	延利用者数	62	155	465	634	154	1,470			
2月	実人数	2	5	16	21	6	50	48	3	48.2
	延利用者数	58	145	456	566	174	1,399			
3月	実人数	2	5	16	21	6	50	81	0	46.8
	延利用者数	62	155	456	591	186	1,450			
計	実人数	25	54	217	252	43	3,471	473	5	47.6
	延利用者数	732	1,594	6,342	7,463	1,277	17,408			

＜総評＞昨季からの空床時の取り組み、入院者の増加、新規入所調整の鈍化など改善課題が明確になっていた事から法人理念にある「お客様に喜んでもらえるように」を「お客様に四恩園のベッドを使って頂くこと」として相談調整を実施。日頃からの入院予防、入院時の家族及び病院調整、長期入院者の空床対策に取り組んだ。長寿の方の看取りの実施や退所後のお客様へも定期的に職員が訪問しご本人ご家族への信頼継続に努めた。安定稼働に向け課として取り組めた1年であった。

3. 在宅福祉サービス事業実施状況

・短期入所生活介護要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要介護度					計	一日平均利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	0	0	4	10	7	1	4	26	10.3
	延利用者数	0	0	14	132	63	8	51	268	
5月	実人数	0	0	2	7	7	1	4	21	11.8
	延利用者数	0	0	6	133	56	8	40	243	
6月	実人数	0	0	1	10	6	1	3	21	10.7
	延利用者数	0	0	2	158	42	8	14	224	
7月	実人数	0	0	2	8	7	2	2	21	11.0
	延利用者数	0	0	4	139	41	33	15	232	
8月	実人数	0	0	2	8	6	1	1	18	11.2
	延利用者数	0	0	4	149	37	8	3	201	
9月	実人数	0	0	6	9	5	0	1	21	9.1
	延利用者数	0	0	14	143	30	0	4	191	
10月	実人数	0	0	7	8	3	2	1	21	12.9
	延利用者数	0	0	44	172	35	18	3	272	
11月	実人数	0	0	5	8	6	2	0	21	11.9
	延利用者数	0	0	28	131	70	21	0	250	
12月	実人数	0	0	6	7	4	1	0	18	12.8
	延利用者数	0	0	54	125	43	8	0	230	
1月	実人数	0	0	8	6	5	1	3	23	10.7
	延利用者数	0	0	61	98	49	8	29	245	
2月	実人数	0	0	4	7	5	2	2	20	12.6
	延利用者数	0	0	46	136	37	21	11	251	
3月	実人数	0	0	6	6	6	2	1	21	11.4
	延利用者数	0	0	63	109	46	19	2	239	
計	実人数	0	0	53	94	67	16	22	252	11.4
	延利用者数	0	0	340	1,625	549	160	172	2,846	

<総評>隔週定期、入所待機、日帰り短期等多様な形態の要望に応えられ在宅限界を高める一役を担えた。新規受け入れの中でも退院後受入については医療相談担当者、地域拠点ケアマネとの連携も調整してきたがサービス担当者会議の出席や短期入所利用中のお客様の個別支援への関わりには相談職の活動できる範囲へ制限があった。継続的に短期利用提供できる調整及び利用中の個別支援に応じていける相談体制整備必要。

・デイサービスセンター要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	6	11	30	19	11	4	6	87	28.6
	延利用者数	27	78	224	220	146	24	52	771	
5月	実人数	7	10	31	19	10	4	6	87	30.2
	延利用者数	33	66	237	233	161	27	59	816	
6月	実人数	5	10	29	19	11	4	6	84	29.4
	延利用者数	20	69	207	212	152	23	52	735	
7月	実人数	5	11	28	17	9	4	6	80	26.6
	延利用者数	23	74	198	210	130	25	57	717	
8月	実人数	4	10	28	18	9	4	5	78	25.4
	延利用者数	16	68	191	216	118	25	52	686	
9月	実人数	5	10	26	18	9	3	5	76	25.4
	延利用者数	23	66	178	188	116	14	49	634	
10月	実人数	4	10	28	18	9	4	5	78	26.3
	延利用者数	19	71	215	211	116	26	52	710	
11月	実人数	5	8	27	19	8	5	5	77	25.5
	延利用者数	24	53	200	212	93	29	52	663	
12月	実人数	4	10	26	19	6	5	5	75	25.5
	延利用者数	17	65	196	198	101	35	50	662	
1月	実人数	3	10	24	19	6	5	6	73	24.2
	延利用者数	13	72	181	209	66	41	72	654	
2月	実人数	4	10	23	18	6	6	6	73	24.4
	延利用者数	15	58	176	188	66	41	67	611	
3月	実人数	3	6	19	17	6	5	7	63	20.7
	延利用者数	11	37	156	158	68	43	66	539	
計	実人数	55	116	319	220	100	53	68	931	26.0
	延利用者数	241	777	2,359	2,455	1,333	353	680	8,198	

＜総評＞年度当初は月間延べ750名という目標値を超えるお客様にご利用いただいていたが、6月末以降、お客様の入所・入院・転居が続き、最終的には目標値に届かなかった。定員を多く設定している利点を生かした相談援助は今後も継続すべきであることがわかった1年となった。「要介護3、週3回以上利用」のお客様の入所・入院による利用減が顕著であることから、対症療法的な取り組みだけでなく予防的な視点での取り組みと家族支援の重要性も痛感した1年であった。

・デイホームかたる要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	18	14	43	12	7	1	0	95	25.2
	延利用者数	67	100	334	82	51	22	0	656	
5月	実人数	18	13	44	13	8	1	0	97	25.9
	延利用者数	78	100	345	93	62	21	0	699	
6月	実人数	17	14	42	13	8	1	0	95	25.1
	延利用者数	63	98	291	87	67	22	0	628	
7月	実人数	16	13	44	12	9	1	0	95	25.8
	延利用者数	65	101	332	100	76	22	0	696	
8月	実人数	15	13	42	12	9	1	0	92	24.9
	延利用者数	43	101	319	93	78	13	0	647	
9月	実人数	14	13	42	13	9	1	0	92	25.9
	延利用者数	48	94	325	106	79	21	0	673	
10月	実人数	18	12	41	12	8	1	0	92	25.1
	延利用者数	68	94	338	88	70	21	0	679	
11月	実人数	15	11	42	11	8	1	0	88	24.9
	延利用者数	55	80	317	87	63	21	0	623	
12月	実人数	14	10	39	12	8	1	0	84	23.8
	延利用者数	52	69	320	110	69	23	0	643	
1月	実人数	16	10	41	11	8	1	0	87	23.1
	延利用者数	60	63	329	94	59	19	0	624	
2月	実人数	13	10	40	11	6	1	0	81	23.9
	延利用者数	46	68	294	97	49	19	0	573	
3月	実人数	7	9	39	12	6	1	0	74	23.2
	延利用者数	29	64	325	106	57	23	0	604	
計	実人数	181	142	499	144	94	12	0	1,072	24.7
	延利用者数	674	1,032	3,869	1,143	780	247	0	7,745	

<総評>

延べ利用者数700に乗せて維持していくことを目指していたが、達成できなかった。新規数が20件、サービス終了者が20件と新規も終了も多い年となった。終了者は逝去、住み替えによる終了が多かった。増回の希望も多く受け入れ、3月は新型コロナウイルス予防の観点から外出を控えるお客様が10名程度だったが、年間通して前年よりも収支差は出せている。重度化によりデイホームさとしへ移行した方が1名。今後も、状況によって本人様、家族様、ケアマネと連携し進めていきたい。

・デイホームさとみ要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	0	0	5	1	1	1	1	9	3.2
	延利用者数	0	0	45	10	22	8	1	86	
5月	実人数	0	0	5	1	1	1	1	9	2.9
	延利用者数	0	0	44	1	22	10	1	78	
6月	実人数	0	0	4	1	1	0	2	8	2.8
	延利用者数	0	0	31	8	21	0	9	69	
7月	実人数	0	0	4	1	1	0	2	8	2.9
	延利用者数	0	0	38	7	23	0	10	78	
8月	実人数	0	0	4	1	1	0	2	8	2.6
	延利用者数	0	0	32	9	20	0	10	71	
9月	実人数	0	0	4	1	1	0	2	8	2.8
	延利用者数	0	0	32	9	21	0	9	71	
10月	実人数	0	0	5	1	1	0	2	9	2.7
	延利用者数	0	0	32	8	22	0	10	72	
11月	実人数	0	0	6	1	1	0	2	10	3.3
	延利用者数	0	0	40	13	22	0	10	85	
12月	実人数	0	0	7	1	3	0	1	12	4.3
	延利用者数	0	0	57	13	23	0	11	104	
1月	実人数	0	0	6	1	3	0	2	12	4.0
	延利用者数	0	0	35	11	40	0	9	95	
2月	実人数	0	0	6	2	3	0	1	12	3.8
	延利用者数	0	0	36	8	42	0	8	94	
3月	実人数	0	0	5	2	3	0	1	11	4.9
	延利用者数	0	0	40	33	46	0	8	127	
計	実人数	0	0	61	14	20	3	19	117	3.4
	延利用者数	0	0	462	130	324	18	96	1,030	

(総評)

毎月の利用者が増える状況が見られず、通所介護課会議でさとみの特徴を出していくようにアドバイスがある。さとみの個別対応が適切なケースの移行も検討した。下半期も明らかな利用者増には至らず。今後も、さとみの特徴である認知症の個別対応が適切なケースの受け入れを継続する。

・ホームヘルプサービスステーション定期巡回訪問介護・看護要介護度別利用状況(介護保険制度利用)

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要介護度					計	一日平均利用者数(件)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	0	0	2	1	2	0	1	6	4.2
	延訪問回数	0	0	34	30	52	0	11	127	
5月	実人数	0	0	2	1	2	0	1	6	6.0
	延訪問回数	0	0	62	30	62	0	31	185	
6月	実人数	0	0	2	1	3	0	2	8	7.8
	延訪問回数	0	0	60	30	84	0	59	233	
7月	実人数	0	0	3	1	2	0	2	8	7.1
	延訪問回数	0	0	74	31	56	0	58	219	
8月	実人数	0	0	2	1	2	0	2	7	4.6
	延訪問回数	0	0	22	31	49	0	40	142	
9月	実人数	0	0	1	1	2	0	1	5	4.8
	延訪問回数	0	0	30	30	53	0	30	143	
10月	実人数	0	0	1	2	2	0	2	7	6.2
	延訪問回数	0	0	31	48	52	0	60	191	
11月	実人数	0	0	1	2	2	0	1	6	6.0
	延訪問回数	0	0	30	60	60	0	30	180	
12月	実人数	0	0	1	1	2	0	1	5	4.7
	延訪問回数	0	0	31	31	52	0	31	145	
1月	実人数	0	0	1	2	1	0	1	5	4.4
	延訪問回数	0	0	29	62	16	0	28	135	
2月	実人数	0	0	4	2	1	0	2	9	6.4
	延訪問回数	0	0	71	58	3	0	53	185	
3月	実人数	0	0	3	3	0	0	2	8	7.1
	延訪問回数	0	0	93	79	0	0	47	219	
計	実人数	0	0	23	18	21	0	18	80	5.8
	延訪問回数	0	0	567	520	539	0	478	2,104	

<総評>

4月から新規事業で開始した。サービスの理解が徐々にケアマネへケースを通して知っていただけた。長期利用のケースは6件、そのほかは退院直後で生活パターンができるまでの短期ケース4件、入院入居等で在宅終了ケースは3件だった。登録数14(年度末)巡回パターンや手順等の整理は今後に向けての課題があり、件数増加できるようにしていく必要がある。

・ホームヘルプサービスステーション要介護度別利用状況(介護保険制度利用)

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均利用者数(件)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	29	16	51	18	7	1	5	127	29.0
	延訪問回数	129	88	361	117	110	2	63	870	
5月	実人数	29	15	48	18	6	1	3	120	24.9
	延訪問回数	135	109	318	104	64	2	40	772	
6月	実人数	29	14	42	13	8	1	0	107	22.3
	延訪問回数	123	80	291	87	67	22	0	670	
7月	実人数	27	13	46	17	5	2	2	112	23.5
	延訪問回数	145	80	307	92	54	9	40	727	
8月	実人数	27	15	47	16	8	2	5	120	27.2
	延訪問回数	108	99	318	122	104	12	80	843	
9月	実人数	26	17	43	17	9	2	3	117	26.1
	延訪問回数	103	106	275	108	111	12	65	780	
10月	実人数	24	15	42	15	7	2	2	107	21.2
	延訪問回数	113	96	277	79	60	10	23	658	
11月	実人数	21	13	50	16	8	2	3	113	27.9
	延訪問回数	112	102	332	124	89	10	68	837	
12月	実人数	25	13	47	16	7	2	3	113	26.3
	延訪問回数	112	84	327	121	97	6	68	815	
1月	実人数	25	11	46	16	9	1	2	110	25.5
	延訪問回数	107	74	298	129	124	2	55	789	
2月	実人数	27	14	46	16	8	1	4	116	26.9
	延訪問回数	102	84	315	121	69	8	80	779	
3月	実人数	27	11	43	16	7	1	3	108	27.5
	延訪問回数	125	83	356	138	67	8	76	853	
計	実人数	316	167	551	194	89	18	35	1,370	25.7
	延訪問回数	1,414	1,085	3,775	1,342	1,016	103	658	9,393	

<総評>

定期巡回に移行したケースもあり全体的に利用数は減少している。軽介護度の方が入居・転居や長年利用されていたケースが死去されて一時的に訪問件数が減少したが、新規利用も多く2月までには件数戻っていたがコロナ感染関連により3月利用休むケースも4件あり、数値には反映されていなかった。

・ホームヘルプサービスステーションサービス類型別利用状況 自立支援法利用状況

2019年度

月	人数	居 宅 介 護				重 度 訪 問 介 護	一日平均 利用数 (人)
		身体介護	通院介護 (身体伴う)	家事援助	通院介護 (身体なし)		
4月	実人数	31	4	11	0	34	15.2
	延利用数	431	8	142	0	457	
5月	実人数	31	3	12	0	33	14.3
	延利用数	417	7	126	0	443	
6月	実人数	31	2	15	0	34	15.3
	延利用数	428	4	150	0	458	
7月	実人数	36	4	12	0	37	14.9
	延利用数	438	4	146	0	463	
8月	実人数	35	2	12	0	34	12.9
	延利用数	405	3	139	0	400	
9月	実人数	35	3	13	0	35	14.3
	延利用数	430	5	151	0	430	
10月	実人数	30	3	12	0	30	13.6
	延利用数	421	8	148	0	421	
11月	実人数	34	3	12	0	35	15.1
	延利用数	411	5	147	0	453	
12月	実人数	31	3	13	0	34	15.9
	延利用数	448	6	163	0	492	
1月	実人数	30	3	13	0	33	16.1
	延利用数	435	4	155	0	473	
2月	実人数	30	3	12	0	33	14.8
	延利用数	388	4	137	0	430	
3月	実人数	25	3	13	0	33	14.5
	延利用数	390	5	156	0	450	
計	実人数	379	36	150	0	405	14.7
	延利用数	5,042	63	1,760	0	5,370	

<総評>

障がいの利用数は少しずつ増加していた。複数回利用の方が多くなっていたが、体調の変化で訪問休みやキャンセルが続くため、明確な増加はみられていなかった。2月以降はコロナ関連のため休校と外出制限のため移動支援すべて休止となった。若年精神疾患の方の新規が多かった。

・居宅介護支援事業所要介護度別利用状況

2019年度

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	155	63	27	12	14	271
5月	151	68	24	11	16	270
6月	158	70	22	11	14	275
7月	160	67	22	12	15	276
8月	145	72	23	10	14	264
9月	150	71	22	9	12	264
10月	156	72	21	9	12	270
11月	162	71	21	12	12	278
12月	159	68	21	13	12	273
1月	157	68	23	14	13	275
2月	153	68	20	16	13	270
3月	144	69	19	15	13	260
計	1,850	827	265	144	160	3,246
割合	56.9(53.6)	25.4(27.0)	8.1(9.6)	4.4(4.5)	4.9(5.3)	100

()内2018年度

<総評>

7月に1名退職して8名体制での営業となった。欠員した職員の担当するお客様は職員が分担して担当し、件数を落とさず実績を残すことができた。新規のご依頼は高齢者支援センターのほか、札幌の医療機関からもいただいている。

・訪問看護ステーション要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要介護度					計	医療	計	平均 利用数 (件)
				1	2	3	4	5				
4月	実人数	5	1	14	9	2	1	1	33	11	44	11.2
	延利用回数	17	2	66	51	22	5	4	167	69	236	
5月	実人数	4	2	13	10	2	1	1	33	11	44	9.4
	延利用回数	12	6	64	48	13	4	4	151	69	220	
6月	実人数	5	1	12	9	2	1	1	31	11	42	9.6
	延利用回数	13	2	53	36	16	2	4	126	57	183	
7月	実人数	4	1	11	7	2	1	2	28	13	41	9.9
	延利用回数	12	2	55	37	19	4	26	155	82	237	
8月	実人数	3	1	10	9	2	0	3	28	11	39	9.2
	延利用回数	9	2	48	41	17	0	27	144	67	211	
9月	実人数	2	2	10	9	2	0	2	27	12	39	9.9
	延利用回数	10	3	52	42	17	0	16	140	62	202	
10月	実人数	2	3	10	9	2	0	2	28	12	40	8.2
	延利用回数	8	4	47	48	11	0	20	138	58	196	
11月	実人数	2	4	10	7	3	0	2	28	12	40	10.5
	延利用回数	8	11	50	35	17	0	6	127	58	185	
12月	実人数	3	4	11	6	2	0	1	27	13	40	9.8
	延利用回数	11	12	56	35	13	0	4	131	65	196	
1月	実人数	3	4	11	6	1	0	3	28	11	39	9.5
	延利用回数	9	12	47	35	5	0	18	126	54	180	
2月	実人数	3	4	9	7	2	1	3	29	12	41	9.0
	延利用回数	9	11	36	23	6	4	22	111	51	162	
3月	実人数	3	4	8	6	2	1	3	27	12	39	9.4
	延利用回数	11	12	42	33	6	7	22	133	64	197	
計	実人数	39	31	129	94	24	6	24	347	141	488	9.6
	延利用回数	129	79	616	464	162	26	173	1,649	756	2,405	

<総評>

今年度市内訪問看護ステーション1箇所閉鎖したが2箇所増え、結果6箇所となった。新規ケース、特に看取り関連は相談はほぼない現状である。通信や工法を作成し各関係機関に配布しているが、市外病院やケアマネからの相談は増えた。業務分担や簡略化、効率化、役割の明確化等の検討が今後必要である。感染予防対策の他、利用者や家族、スタッフの健康管理や疾病予防、免疫力向上への対策が急務である。

・複合型サービス要介護度別利用者の状況

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介					計	一日平均利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	0	0	4	4	6	3	4	21	15.8
	延利用者数	0	0	76	96	150	59	92	473	
5月	実人数	0	0	2	6	6	3	3	20	15.5
	延利用者数	0	0	57	131	148	65	80	481	
6月	実人数	0	0	3	6	5	2	4	20	16
	延利用者数	0	0	57	131	148	65	80	481	
7月	実人数	0	0	3	6	4	3	4	20	16.2
	延利用者数	0	0	84	136	106	76	99	501	
8月	実人数	0	0	2	6	4	3	4	19	15.9
	延利用者数	0	0	62	142	105	71	112	492	
9月	実人数	0	0	2	6	6	3	4	21	17
	延利用者数	0	0	59	145	128	68	109	509	
10月	実人数	0	0	1	7	6	3	4	21	16.1
	延利用者数	0	0	31	180	146	49	92	498	
11月	実人数	0	0	1	7	7	2	3	20	15.6
	延利用者数	0	0	30	169	154	40	76	469	
12月	実人数	0	0	1	6	7	2	4	20	14.9
	延利用者数	0	0	31	161	157	38	74	461	
1月	実人数	0	0	1	6	7	2	5	21	15.1
	延利用者数	0	0	31	154	153	39	92	469	
2月	実人数	0	0	1	6	7	1	6	21	17.1
	延利用者数	0	0	29	155	162	19	131	496	
3月	実人数	0	0	2	6	7	1	6	22	18.8
	延利用者数	0	0	62	163	188	22	149	584	
計	実人数	0	0	23	72	72	28	51	246	16.2
	延利用者数	0	0	609	1,763	1,745	611	1,186	5,914	

<総評>

2019年度は上半期、利用人数の減少を見たが、下半期は重度者の新規利用や適切な介護度の見直しなどにより収支は改善傾向。お客様の体調管理はしっかりと行っており、終末期の長期入院による終了ケースを除き、入院したとしても短期間で在宅に戻る事ができている。臨機応変な対応による在宅介護期間の延伸。施設入所の前段階として、心身機能を整える役割も果たしており、法人内でのシームレスな支援も実現している。

・グループホーム要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	入院	ひと月平均利用者(%)
				1	2	3	4	5			
4月	実人数	0	0	1	5	6	4	2	18	1	95.2
	延利用者数	0	0	30	150	180	120	60	514	26	
5月	実人数	0	0	1	5	6	4	2	18	1	96.8
	延利用者数	0	0	31	155	168	124	62	540	6	
6月	実人数	0	0	0	4	8	4	2	18	1	95.5
	延利用者数	0	0	0	120	232	120	60	532	8	
7月	実人数	0	0	0	4	8	4	2	18	2	92.7
	延利用者数	0	0	0	124	207	124	62	517	41	
8月	実人数	0	0	0	3	6	7	2	18	0	100.0
	延利用者数	0	0	0	93	186	217	62	558	0	
9月	実人数	0	0	0	3	9	4	2	18	0	100.0
	延利用者数	0	0	0	90	270	120	60	540	0	
10月	実人数	0	0	0	3	9	4	2	18	0	100.0
	延利用者数	0	0	0	93	279	124	62	558	0	
11月	実人数	0	0	1	3	9	4	2	19	0	97.2
	延利用者数	0	0	14	90	241	120	60	525	0	
12月	実人数	0	0	1	3	7	5	2	18	2	96.6
	延利用者数	0	0	31	87	217	142	62	539	19	
1月	実人数	0	0	1	3	7	5	2	18	1	99.5
	延利用者数	0	0	29	92	217	155	62	555	1	
2月	実人数	0	0	1	3	7	5	2	18	1	98.3
	延利用者数	0	0	29	78	203	145	58	513	9	
3月	実人数	0	0	1	3	7	5	2	18	0	100.0
	延利用者数	0	0	31	93	217	155	62	558	0	
計	実人数	0	0	7	42	89	55	24	217	3	97.7
	延利用者数	0	0	195	1,265	2,617	1,666	732	6,475	34	

<総評>

今年度は、体調不良で短期間ではあったが春と冬季に入退院者が見られた。解説の時から利用されていた方も半数は入れ替わっており、平均要介護度2.3から3.2へ。平均年齢も90.1歳、認知症の進行も見られ専門的知識がより望まれる場面が増えてきている。体調管理に担当医、訪問看護、ご家族とも連携し、医療的な視点でのかわりも重要。次年度も100%を目標に気づきの力をチームで深め早期対応に努めていきたい。待機者も状態変化が見られる方が多くなってきているため、こまめに確認しケアマネや病院相談員とも連携していきたい。

・サービス付き高齢者向け住宅要介護度別利用状況

2019年度

月	人数	自立	要支援1	要支援2	要介護度					計	入院	ひと月平均利用者(%)
					1	2	3	4	5			
4月	実人数	1	2	9	9	7	6	0	0	34	2	96.7
	延利用者数	30	60	270	253	193	180	0	0	986	34	
5月	実人数	1	2	10	9	6	6	0	0	34	2	95.1
	延利用者数	31	62	279	279	186	165	0	0	1,002	52	
6月	実人数	1	2	10	9	6	6	0	0	34	4	95.8
	延利用者数	30	60	270	265	178	174	0	0	977	43	
7月	実人数	1	2	9	9	6	5	1	1	34	2	94.1
	延利用者数	31	62	279	248	186	155	31	0	992	38	
8月	実人数	1	2	9	10	6	5	1	0	34	2	96.0
	延利用者数	31	62	279	279	176	155	31	0	1,013	41	
9月	実人数	1	2	7	13	6	5	0	1	34	3	93.6
	延利用者数	30	60	210	340	165	150	0	0	955	65	
10月	実人数	1	2	7	12	6	5	0	1	34	3	94.9
	延利用者数	30	62	217	349	186	155	0	0	999	54	
11月	実人数	1	2	6	12	6	5	0	1	33	4	90.6
	延利用者数	30	60	180	320	180	127	0	0	897	93	
12月	実人数	1	2	7	14	5	4	0	1	34	3	91.2
	延利用者数	31	62	217	403	155	93	0	0	961	93	
1月	実人数	1	2	7	14	5	5	0	0	34	3	95.2
	延利用者数	31	52	217	419	134	150	0	0	1,003	51	
2月	実人数	1	3	5	14	7	3	0	1	34	1	98.0
	延利用者数	29	84	145	406	186	87	0	29	966	20	
3月	実人数	1	3	5	14	7	3	0	1	34	1	97.0
	延利用者数	31	62	155	434	211	93	0	31	1,017	32	
計	実人数	12	26	91	139	73	58	2	7	410	30	94.9
	延利用者数	365	748	2,718	3,995	2,136	1,684	62	60	11,768	616	

<総評>

今年度12名のお客様の入退院があり、入院期間が長かったり、入院を繰り返すたびにサ高住での暮らしが厳しくなり、5名（1名は死去）のお客様が転院、転居された。その都度新しいお客様を迎え入れたので、長い期間部屋を空けることはなく、ほぼ100%の稼働率を保った。新たに入居されるお客様の年齢や、介護度によって年間の状況は変わってくるがそれほど大きな変化はない。ただ新たに入居するお客様のほとんどに多少の認知症状がみられる。

4-1. 北広島市みなみ高齢者支援センター

2019年度相談実施報告①

月	相談状況														相談者内訳																									
	相談件数				利用方法別相談状況(件)						年齢区分				性別		要介護認定状況																							
	件数	家族数	新規人数	訪問	場所	電話	神業	文書	その他	時間外対応	初期高齢者	後期高齢者	その他	不明	男性	女性	不明	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当	その他	本人	家族	知人	民生委員	医療機関	介護保険				福祉機関	社会福祉協議会	その他		
																																福祉サービス	福祉サービス	福祉サービス	福祉サービス					
4	551	264	14	187	45	277	12	19	11	7	59	488	4	0	159	392	0	207	121	31	3	0	14	3	0	172	276	97	1	6	38	59	3	7	33	18	1	2	3	7
5	546	246	26	180	47	265	2	18	16	7	80	466	0	0	191	355	0	221	100	31	11	0	2	0	1	180	284	72	5	5	38	46	6	6	44	22	0	0	1	7
6	544	243	26	184	39	300	3	10	17	8	82	457	5	0	191	353	0	219	125	45	5	2	2	1	0	145	272	120	0	11	32	45	4	3	25	20	1	2	0	9
7	638	303	27	191	51	331	43	16	8	6	117	607	14	8	178	462	0	234	95	58	2	4	3	0	1	241	337	124	3	3	26	48	2	11	44	19	0	2	2	17
8	657	331	42	164	50	382	55	11	15	47	160	552	5	0	265	391	0	246	77	45	13	6	9	1	3	257	315	140	2	8	24	41	8	9	50	24	0	6	4	26
9	590	289	28	196	29	334	13	8	10	13	78	508	3	0	217	373	0	245	82	42	11	8	4	0	3	185	317	128	1	2	30	25	6	8	43	15	0	1	2	12
10	513	283	19	178	37	277	1	13	7	6	65	447	1	0	169	344	0	246	84	35	2	9	2	0	1	134	284	103	0	3	13	31	8	8	35	13	1	3	2	9
11	601	325	20	198	37	344	5	7	10	5	61	533	7	0	201	400	0	275	104	85	2	5	0	0	0	150	352	114	3	2	18	30	6	10	40	14	1	0	0	10
12	532	302	17	175	36	298	5	5	12	4	54	472	6	0	139	393	0	263	88	40	2	2	1	1	1	132	340	70	1	1	19	32	1	10	39	8	0	2	2	7
1	607	318	28	178	37	348	11	20	17	3	77	527	3	0	177	430	0	256	95	33	4	1	1	1	0	216	353	101	3	8	21	61	2	1	35	15	1	1	0	7
2	498	303	30	124	25	314	12	17	6	8	78	417	3	0	158	340	0	208	66	28	8	3	1	2	0	160	296	80	0	3	16	38	2	4	31	12	0	1	5	10
3	557	284	12	134	27	375	0	14	7	11	70	484	3	0	161	396	0	238	93	33	5	0	3	0	0	185	318	83	5	8	24	57	6	6	27	10	0	2	2	4
計	6834	3493	289	2068	451	3643	162	156	134	135	932	5658	54	0	2205	4839	0	2858	1132	486	68	40	42	9	12	2187	3754	1212	24	58	300	513	83	446	190	5	22	23	125	

4-2. 北広島市みなみ高齢者支援センター 2019年度相談実施報告②

月	相談内容内訳																																																					
	介護保険(総合相談)				介護保険(予防)				ケアマネジャー支援				介護予防事業				低価格サービス				住まい				家族支援				健康関係				権利保護				その他																	
	ケアマネジャー	在宅サービス	地域密着サービス	任意型・福祉用具	特定施設	施設入所	声	その他	新規アセスメント	更新アセスメント	担当者会議	モニタリング	計画	その他	相談	同伴訪問	巡回委員会	情報提供	その他	二次予防事業	一次予防事業	公的福祉サービス	民間サービス	医療サービス	障がい者サービス	苦情	その他	サービス利用促進等向けセミナー	サービス以外の共同施設向けセミナー	公営住宅	住み替え	その他	介護方法	介護生活相談	その他	介護相談	入院	退院	通院	適切なリハビリ	認知症	精神疾患	その他	成年後見	日常生活支援事業	居住環境	虐待	その他	年金・保険	生計	人問題	楽しみ・生きがい	ボランティア	その他
4	68	26	65	0	84	1	10	0	28	5	3	36	133	11	14	23	3	2	1	5	0	12	1	0	0	2	3	1	2	0	6	0	5	3	1	7	40	10	6	2	19	18	15	1	0	3	0	0	0	5	17	5	19	
5	79	28	80	0	45	0	13	4	19	12	6	28	138	5	27	35	2	4	8	0	0	5	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	5	7	1	13	25	20	13	0	11	16	12	0	0	0	7	0	1	5	2	0	27	
6	83	30	116	0	52	2	12	3	18	12	7	31	101	5	27	17	4	0	0	1	4	1	4	1	0	3	0	0	2	1	0	3	1	13	2	5	14	20	25	21	5	18	12	10	1	0	1	1	5	0	15			
7	80	28	110	0	66	0	13	1	21	7	2	28	110	0	32	31	4	2	1	2	45	0	8	1	0	3	0	1	1	2	1	0	5	5	9	32	25	16	3	9	23	13	4	5	0	2	1	0	9	0	6	30		
8	93	38	109	0	65	2	10	0	31	4	5	22	85	1	18	46	3	1	0	1	55	0	10	5	0	1	0	1	0	3	0	2	4	4	11	28	13	16	3	13	21	19	0	0	2	0	1	0	14	2	6	29		
9	79	37	98	0	80	2	9	0	21	11	5	24	108	3	19	22	0	4	2	3	9	0	2	4	0	2	0	0	6	0	1	0	2	14	39	30	11	1	31	13	12	0	0	0	0	0	5	0	2	22				
10	76	22	89	0	69	0	10	1	13	5	1	27	98	1	26	27	5	4	0	3	0	3	5	0	1	2	0	0	1	0	3	0	0	7	19	18	8	0	15	16	5	0	1	0	1	0	0	2	0	5	5			
11	60	32	75	0	69	1	10	0	18	10	1	32	208	1	28	28	8	0	4	2	4	1	14	3	1	7	0	2	1	1	0	1	0	3	1	11	25	4	10	2	16	14	15	0	1	0	2	0	1	0	5	0	12	
12	51	19	65	0	42	1	3	0	11	6	3	26	228	4	27	31	2	3	1	4	5	0	12	2	1	1	0	1	0	3	0	1	0	2	8	19	11	3	0	14	5	8	0	0	0	0	1	2	0	11				
1	77	18	88	0	45	4	8	0	25	12	2	23	221	0	22	24	3	3	1	8	5	6	8	0	0	2	1	1	1	0	1	0	3	14	33	3	8	1	19	15	19	1	0	0	0	0	6	0	0	12				
2	52	23	79	0	42	0	0	5	8	1	23	179	1	8	24	4	3	1	2	18	1	13	3	1	0	0	1	1	1	0	1	1	6	10	20	15	9	0	7	6	9	1	0	0	2	0	2	0	1	15				
3	57	12	69	0	48	0	3	0	8	7	1	34	212	7	18	16	4	6	10	4	0	4	2	2	0	2	0	0	0	0	0	1	3	19	31	10	8	0	7	15	14	0	0	1	0	2	2	2	37					
計	835	311	1043	0	669	13	101	9	218	99	37	334	1821	39	264	323	42	32	27	26	148	20	88	35	5	18	6	13	7	23	2	18	5	38	32	137	331	184	133	17	179	186	151	8	7	4	17	2	4	2	57	30	22	234

5. 2019年度地域交流ホームふれてイベント等報告

年	月	日	イベント種類	来場数	イベント内容
2019	4	8	レクレッシュ	11	レクレッシュ『ラダーゲッター』
		9	まーぶるひろば	12	子育て支援センターあいの出張保育と連携
		10	ふれてミニ講座	0	子ども将棋教室
		11	ランチ会	15	ランチ会『お寿司&おそばセット』
		14	こども食堂	30	地域食堂『ふれてこども食堂』
		14	地域のお茶の間	70	『サックス&ピアノ』
		17	ふれてミニ講座	20	『ウォーキング』
		17	ふれてミニ講座	15	『カーネーション』
		19	プレママカフェ	2	妊娠中の方を中心とした交流会
		19	心結の会	24	心結カフェ『介護について語り合う会』
		23	レクレッシュ	6	レクレッシュ『ラダーゲッター』
		24	ふれてミニ講座	4	ライフ&パワーアセスメント
25	ふれてミニ講座	25	ミニ講座『日本の世界遺産②』		
毎週	ふれてミニ講座	88	いきいき百歳体操(毎週、月・木)		
毎週	ミニ講座	155	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
2019	5	8	ふれてミニ講座	2	子ども将棋教室
		11	イベント	30	トリムコースの花と鳥を楽しもう
		12	こども食堂	30	地域食堂『ふれてこども食堂』
		12	地域のお茶の間	70	『ハーモニカ』
		14	まーぶるひろば	6	子育て支援センターあいの出張保育と連携
		15	ふれてミニ講座	15	『悪徳商法』
		16	ランチ会	15	ランチ会『むつちゃん焼き鳥』
		16	レクレッシュ	6	レクレッシュ『ラダーゲッター』
		17	プレママカフェ	1	妊娠中の方を中心とした交流会
		17	心結の会	17	心結カフェ『介護について語り合う会』
		18	ワークショップ	24	ちーむとるワークショップ
		24	ワークショップ	20	ペンチ設置作業
28	ふれてミニ講座	6	ライフ&パワーアセスメント		
28	ふれてミニ講座	24	『世界遺産③』		
毎週	ふれてミニ講座	79	いきいき百歳体操(毎週、月・木)		
毎週	ミニ講座	187	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
2019	6	9	こども食堂	40	地域食堂『ふれてこども食堂』
		9	地域のお茶の間	50	『JAZZライブ』
		11	まーぶるひろば	7	子育て支援センターあいの出張保育と連携
		13	ランチ会	12	ランチ会『お寿司&そば』
		14	レクレッシュ	6	レクレッシュ『スカットボール』
		19	ふれてミニ講座	10	ミニ講座『水分補給』
		20	ランチ会	20	ランチ会『焼き鳥』
		21	プレママカフェ	3	妊娠中の方を中心とした交流会
		21	心結の会	19	心結カフェ『介護について語り合う会』
		22	イベント	110	映画上映会『ぼけますからよろしくお願いします』
		25	ふれてミニ講座	5	ライフ&パワーアセスメント
		27	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『世界遺産④』
毎週	ふれてミニ講座	95	いきいき百歳体操(毎週、月・木)		
毎週	ミニ講座	110	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
2019	7	8	レクレッシュ	8	レクレッシュ『スカットボール』
		9	まーぶるひろば	4	子育て支援センターあいの出張保育と連携
		10	ふれてミニ講座	4	子ども将棋教室
		14	こども食堂	30	地域食堂『ふれてこども食堂』
		14	地域のお茶の間	60	『クラシックギター』
		17	ふれてミニ講座	12	ミニ講座『障がいの話』
		18	ランチ会	30	ランチ会『やきとり』
		19	プレママカフェ	0	妊娠中の方を中心とした交流会
		19	心結の会	17	心結カフェ『介護について語り合う会』
		25	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『世界遺産⑤』
		毎週	ふれてミニ講座	83	いきいき百歳体操(毎週、月・木)
		毎週	ミニ講座	110	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)
2019	8	6	まーぶるひろば	8	子育て支援センターあいの出張保育と連携
		6	レクレッシュ	3	レクレッシュ『スカットボール』
		7	イベント	50	子ども夏フェス
		7	こども食堂	50	地域食堂『ふれてこども食堂』
		8	イベント	60	吉川よしひろさんチェロコンサート
		19	イベント	20	流しそうめん
		21	ふれてミニ講座	10	ミニ講座『薬局』
		22	ランチ会	20	ランチ会『炭火やきとり』
		29	ふれてミニ講座	3	ライフ&パワーアセスメント
		毎週	ふれてミニ講座	63	いきいき百歳体操(毎週、月・木)
		毎週	ミニ講座	86	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)
		2019	9	7	イベント
8	こども食堂			30	地域食堂『ふれてこども食堂』
8	地域のお茶の間			70	『ヴァイオリン』
6	まーぶるひろば			8	子育て支援センターあいの出張保育と連携
13	レクレッシュ			6	レクレッシュ『スカットボール』
18	ふれてミニ講座			15	ミニ講座『遺言・相続』
19	ランチ会			20	ランチ会『やきとり』
19	ふれてミニ講座			7	ミニ講座『味噌づくり』
20	プレママカフェ			0	妊娠中の方を中心とした交流会
26	ふれてミニ講座			4	ライフ&パワーアセスメント
毎週	ふれてミニ講座			65	いきいき百歳体操(毎週、月・木)
毎週	ミニ講座			113	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)

10	7	レクレッシュ	6	レクレッシュ『』
	8	まーぶるひろば	8	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	9	ふれてミニ講座	5	子ども将棋教室
	10	イベント	45	そばの日
	13	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	13	地域のお茶の間	80	『JICA交流』
	16	ふれてミニ講座	20	ミニ講座『成年後見 事務委任』
	17	ランチ会	20	ランチ会『やきとり』
	18	プレママカフェ	0	妊娠中の方を中心とした交流会
	18	心結の会	14	心結カフェ『介護について語り合う会』
22	ランチ会	14	ランチ会『サバ焼き弁当』	
29	ふれてミニ講座	6	ライフ&パワーアセスメント	
31	イベント	21	ふれてハロウィン	
毎週	ふれてミニ講座	90	いきいき百歳体操(毎週、月・木)	
毎週	ミニ講座	100	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)	
11	6	ちーむとどる	15	ベンチ撤去作業
	7	ランチ会	15	ランチ会『』
	10	子ども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	10	地域のお茶の間	76	『コーラス』
	12	まーぶるひろば	0	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	12	レクレッシュ	6	レクレッシュ『』
	15	プレママカフェ	0	妊娠中の方を中心とした交流会
	15	心結の会	22	心結カフェ『介護について語り合う会』
	18	イベント	10	コンディショントレーニング
	20	ふれてミニ講座	19	ミニ講座『高齢者住宅』
21	ランチ会	20	ランチ会『お寿司&お蕎麦セット』	
25	ふれてミニ講座	3	ライフ&パワーアセスメント	
毎週	ふれてミニ講座	86	いきいき百歳体操(毎週、月・木)	
毎週	ふれてミニ講座	116	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)	
12	5	ランチ会	15	ランチ会『お寿司&お蕎麦セット』
	8	子ども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	8	地域のお茶の間	65	『マジックショー』
	10	まーぶるひろば	4	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	11	ふれてミニ講座	0	子ども将棋教室
	13	レクレッシュ	5	レクレッシュ『スカットボール』
	20	プレママカフェ	0	妊娠中の方を中心とした交流会
	20	心結の会	18	心結カフェ『介護について語り合う会』
	25	イベント	25	ふれてクリスマス
	25	ふれてミニ講座	4	ライフ&パワーアセスメント
26	イベント	250	ふれてもあつき大会	
毎週	ふれてミニ講座	98	いきいき百歳体操(毎週、月・木)	
毎週	ふれてミニ講座	106	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)	
1	5	イベント	25	新春板かるた大会
	8	イベント	20	ふれてこども冬フェス
	8	こども食堂	40	地域食堂「ふれてこども食堂」
	8	ふれてミニ講座	10	ミニ講座『味噌作り』
	9	ランチ会	10	ランチ会『さけ弁当』
	12	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	12	地域のお茶の間	50	『小樽の歌謡人グループ』
	14	まーぶるひろば	3	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	15	ふれてミニ講座	14	認知症サポーター養成講座
	17	プレママカフェ	6	妊娠中の方を中心とした交流会
17	心結の会	18	心結カフェ『介護について語り合う会』	
20	レクレッシュ	6	レクレッシュ『』	
23	ランチ会	12	ランチ会『お寿司&お蕎麦セット』	
毎週	ふれてミニ講座	93	いきいき百歳体操(毎週、月・木)	
毎週	ふれてミニ講座	117	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)	
2	4	まーぶるひろば	5	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	4	レクレッシュ	8	レクレッシュ『』
	9	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	9	地域のお茶の間	60	『ハーモニカ』
	10	ランチ会	15	ランチ会『さけ弁当』
	19	ふれてミニ講座	31	ミニ講座『体のメンテナンス』
	20	ランチ会	10	ランチ会『お寿司&お蕎麦セット』
	21	プレママカフェ	5	妊娠中の方を中心とした交流会
	21	心結の会	15	心結カフェ『介護について語り合う会』
	毎週	ふれてミニ講座	91	いきいき百歳体操(毎週、月・木)
毎週	ふれてミニ講座	87	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)	
新型コロナウイルスの影響により休館				
延べイベント等参加者数合計		5742		

6. 2019年度地域交流ホームふれて 来場者数

	年代											来場目的							何で知った				居住地																				
	乳児	小学生	中学生	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	来場者計	喫茶	ギッス	イベント	ミニ講座	ティ	ふれて通信	ホームページ	友人	その他	栄	北進	広葉	輝美	南	白樺	若葉	青葉	高台	里見	泉	松葉	縁陽	山手	その他	市内	市外		
4月	男性	0	5	0	0	0	1	2	0	45	125	23	0	0	201	135	0	12	20	0	50	38	0	4	0	3	0	2	5	2	0	3	10	5	0	1	0	2	0	0	0	0	
	女性	0	24	7	6	0	2	0	24	3	71	213	91	3	445	156	16	24	183	0	203	51	0	9	5	8	1	3	91	32	0	7	14	7	7	3	7	3	0	0	0		
	合計	0	24	12	6	0	2	0	25	5	116	338	114	3	646	291	16	36	203	0	253	89	0	13	5	11	1	5	96	34	0	10	24	12	7	4	7	5	0	0	0		
5月	男性	1	6	7	0	0	0	2	8	3	15	142	66	0	250	106	3	78	82	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	3	0	1	0	4	0	0	0		
	女性	1	9	9	0	0	4	24	4	7	51	202	119	2	432	151	10	92	165	0	186	0	27	0	5	4	3	0	2	57	34	0	5	12	18	6	1	1	3	0	0		
	合計	2	15	16	0	0	4	26	12	10	66	344	185	2	682	257	13	170	247	0	213	0	54	0	5	4	3	0	2	57	34	0	7	17	21	6	2	1	7	0	0		
6月	男性	0	1	3	0	0	0	4	5	21	109	61	5	0	209	101	0	100	4	0	47	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	女性	0	2	45	0	0	2	17	2	6	40	238	97	8	457	132	40	141	146	0	189	0	48	0	6	3	0	7	36	25	2	5	6	22	10	1	0	2	0	0	0		
	合計	0	3	48	0	0	2	17	6	11	61	347	158	13	666	233	40	241	150	0	236	0	48	0	6	3	0	7	37	25	2	7	6	22	10	1	0	7	0	0	0		
7月	男性	0	3	28	0	0	0	0	7	11	125	44	5	0	223	108	17	38	35	0	29	0	10	0	0	0	0	0	6	0	0	10	2	2	1	0	0	5	0	0	0		
	女性	0	4	79	0	0	12	2	0	42	247	97	0	0	483	169	61	61	172	0	137	2	83	0	3	3	0	0	44	28	0	16	12	20	10	0	1	0	0	0	0		
	合計	0	7	107	0	0	12	2	7	53	372	141	5	0	706	277	78	99	207	0	166	2	93	0	3	3	0	0	50	28	0	26	14	22	11	0	1	5	0	0	0		
8月	男性	0	7	23	0	0	0	2	2	4	45	53	5	0	141	56	25	45	23	0	17	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	2	0	0	2	6	0	0	0		
	女性	0	16	63	0	0	5	17	2	4	106	106	2	0	323	62	69	73	125	0	95	0	13	3	1	3	0	3	38	23	0	4	6	12	11	0	1	3	0	0			
	合計	0	23	86	0	0	5	17	4	8	151	159	7	0	464	118	94	118	148	0	112	0	14	3	1	3	0	4	38	23	0	7	7	14	11	0	3	9	0	0			
9月	男性	10	50	103	10	0	16	5	30	40	105	203	90	11	673	45	18	501	41	0	24	0	1	0	0	0	0	3	0	0	3	2	3	1	0	0	7	0	0	0			
	女性	10	59	129	10	0	17	12	30	40	123	329	123	15	697	73	39	607	164	0	134	0	65	3	1	2	3	0	83	26	0	4	2	17	8	2	4	1	0	0			
	合計	20	109	232	20	0	33	17	60	80	228	532	213	26	1370	118	57	1111	205	0	158	0	65	4	1	2	3	0	86	26	0	7	4	20	9	2	4	8	0	0			
10月	男性	0	0	33	0	0	6	5	0	10	70	74	1	0	204	68	15	74	45	0	24	0	23	0	0	0	0	0	4	0	0	5	0	1	1	0	1	2	0	0			
	女性	5	3	62	0	0	8	18	5	0	48	150	104	3	406	122	37	97	119	0	148	0	39	0	1	2	2	1	2	55	27	0	7	8	8	15	0	1	6	0			
	合計	5	3	95	0	0	14	23	10	0	58	220	178	4	610	190	52	171	164	0	172	0	62	0	1	2	2	1	2	59	27	0	12	8	9	16	0	2	8	0			

	年代												来場目的						何で知った				居住地																				
	乳児	小学生	中学生	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	来場者計	喫茶	キッズ	イベント	ミニ講座	ティ	心で通信	ホームページ	友人	その他	栄	北進	広葉	南	白樺	若葉	青葉	高台	里見	泉	松葉	縁陽	山手	その他	市内	市外			
11月	男性	0	20	0	0	0	2	1	21	136	64	2	0	249	107	17	84	50	0	38	1	6	0	0	0	0	3	0	1	3	2	0	0	1	4	0	0	0	5	1			
	女性	0	49	0	0	7	11	0	57	172	110	14	0	420	150	25	91	130	0	184	0	24	0	10	6	1	0	1	61	32	0	1	34	6	2	2	13	0					
	合計	0	69	0	0	7	14	2	78	308	174	16	0	669	257	42	175	180	0	222	1	30	0	10	6	4	0	2	64	34	0	1	2	38	6	2	2	18	1				
12月	男性	13	37	0	0	3	6	19	10	29	111	97	0	343	89	13	228	36	0	40	0	48	0	0	0	0	0	6	0	0	0	8	0	2	0	0	1	3	0				
	女性	13	15	0	0	6	10	15	10	49	244	147	6	567	121	20	240	152	0	158	0	73	0	0	5	0	0	62	27	0	2	0	27	10	0	1	0	0					
	合計	26	52	0	0	9	16	34	20	78	355	244	6	910	210	33	468	188	0	198	0	121	0	0	5	0	0	6	62	27	0	10	0	29	10	0	2	3	0				
1月	男性	5	39	0	0	1	0	5	14	0	116	69	0	269	79	14	60	47	0	21	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4	0				
	女性	7	0	0	0	1	2	31	8	4	22	189	106	5	432	120	21	64	136	0	126	0	43	0	0	3	0	1	52	23	0	0	25	6	5	5	0	0					
	合計	12	39	0	0	2	3	13	12	18	122	175	11	701	199	35	124	183	0	147	0	59	0	0	3	0	1	52	24	0	1	26	6	5	5	4	0						
2月	男性	0	2	0	0	5	10	2	8	0	13	80	33	0	156	54	0	61	43	0	20	0	22	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	2	0				
	女性	1	5	0	0	5	6	11	4	0	18	146	77	6	280	70	0	64	151	0	101	0	23	0	0	3	0	2	34	22	0	0	2	15	6	0	0	0					
	合計	1	7	0	0	10	16	13	12	0	31	226	110	6	436	124	0	125	194	0	121	0	45	0	0	3	0	2	34	22	1	2	2	16	7	0	0	2	0				
3月	男性																																										
	女性																																										
	合計																																										
合計	男性	29	93	10	0	6	35	29	94	68	289	1262	674	23	2918	948	122	1281	426	0	337	1	191	1	4	0	8	10	22	5	1	39	22	24	4	2	4	45	1				
	女性	37	133	557	16	6	57	187	75	70	525	2236	1177	64	5142	1326	338	1554	1643	0	1661	2	489	6	36	39	20	2	613	299	2	51	63	205	95	14	23	31	0				
	合計	66	226	570	16	12	82	216	169	138	814	3498	1851	93	8060	2274	460	2835	2069	0	1998	3	680	7	40	39	26	2	31	635	304	3	90	85	239	99	16	27	76	1			

7. 2019年度 地域サポートセンターとともに地域交流スペース利用状況

<団体利用>

月	団体数	活動室1	活動室2	活動室3	活動室4・5	体育館	グラウンド	まーぶる		ともにの つどい	合計
								大人	子供		
4	44	185	20	48	25	1288	27	0	0	19	1,612
5	45	131	19	69	101	944	79	6	0	38	1,287
6	40	123	20	74	123	1076	40	2	1	34	1,493
7	43	114	23	73	105	1345	55	5	6	93	1,819
8	44	83	22	72	97	1318	47	3	2	24	1,668
9	44	134	21	71	189	1356	38	2	1	22	1,834
10	42	123	22	63	157	1960	42	2	0	19	2,368
11	39	120	21	40	40	1624	0	2	1	34	1,882
12	38	129	9	80	44	1567	0	2	1	110	1,942
1	39	143	11	114	147	1317	0	4	1	0	1,737
2	41	131	31	60	17	1151	0	3	2	41	1,436
3											0
実100	1,416	219	764	1,045	328	14,846	31	15	434	19,098	

<宿泊利用> (人)

月	団体数	人数
4	0	0
5	1	44
6	1	17
7	1	34
8	0	0
9	1	47
10	0	0
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	1	10
3	0	0
実100	5	152

<個人利用、一般>

月	利用日数	体育館	グラウンド	喫茶	キッズ	体操			販売			合計
						健康体操	100歳	つむら	ヤクルト	パン		
4	22	77	0	372	72	174	0	83	21	43	1,261	
5	21	56	0	227	20	42	238	101	23	15	996	
6	21	30	0	333	33	173	0	62	27	26	1,109	
7	26	78	0	383	58	43	214	99	23	26	1,320	
8	26	74	2	220	39	182	0	65	23	28	850	
9	21	64	3	230	45	54	211	105	13	32	1,447	
10	21	77	0	701	51	182	0	72	22	50	1,083	
11	19	70	0	300	28	62	239	120	22	32	1,040	
12	20	75	0	318	55	168	0	16	24	28	967	
1	21	89	0	267	46	24	187	25	15	28	2,704	
2	21	98	0	287	46	156	0	56	16	27	2,505	
3						47	189	89	13	22	90	
実100	239	788	5	3,638	493	1,848	0	591	211	341	12,191	

(総人数)

団体	個人	合計
1,612	1,261	2,873
1,287	996	2,283
1,493	1,109	2,602
1,819	1,320	3,139
1,668	850	2,518
1,834	959	2,793
2,388	1,447	3,835
1,882	1,083	2,965
1,942	1,040	2,982
1,737	967	2,704
1,436	1,069	2,505
0	90	90
19,098	12,191	31,289

※2月26日より新型コロナウイルス感染拡大対策のため休館

2019年度 施設係 事業総括

主管 管理課 施設係

事業方針	重点事業項目
<p>基本理念に基づいてお客様はもとより地域社会への貢献を担う法人職員として各事業が安全、円滑、快適に運営できるように主にハード面における管理業務を主軸とし事業の運営に専与するものとする。</p>	<p>1) 施設内、設備機器及び備品等の保守点検、法定点検整備、メンテナンス、修繕の実施</p> <p>2) 施設ご利用のお客様及び職員の送迎、並びに各車両の法定点検、メンテナンス、修繕の実施</p> <p>3) 敷地内、及び各地点の屋外環境整備（除雪、草刈、花壇整備等）の実施</p> <p>4) その他施設に関わる業務、行事、催し等の補助、及び用務全般</p>
	<p>総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期、一番大きいのはやはりふりでの階段改修工事である。業者依頼らず要所々で他部署に協力を仰ぎ自分達の方であれだけのを造りあげられた事は素晴らしいと同時に良い経験になったものとして振り返る。 ・施設内設備に関しては大きなトラブル等はなかったものの例年通り配管修理に伴う支出が大きい。 ・車両管理に関しては快適送迎委員会の設置により、管理方法、更新計画、その他の課題について議論している。 ・送迎業務に関しては通所の依頼も減少し、負担が軽くなった。 ・本年度の除雪業務は2名体制になった事もあり従来通り施設係にて実施した。改善点として今後は自己判断により出勤していたが除雪施設同様、管理担当者に出動判断を委ねる事により、より確実な体制で臨めたものと振り返る。 ・3月の消防立入検査においては特に指簡事項は無かったが、改善点として管理日当直の巡回業務に火気確認を追加。 ・再来年度の火災模範改修に向けた工事中内容等の計画案を作成。 ・車両管理においては更新計画通りには進んでいない。1台廃車とし新規の購入に至っていない。 ・公用車の事故に関しては可避、不可避な物損事故はあったものの幸いなことに人身事故は発生していない。

2019年度 管理課 事業総括

主管 管理課

事業方針	重点事業項目
<p>介護報酬改定、生産労働人口の減少による介護人材確保の困難さなど、社会福祉法人（以下、法人）はこれまで地域を支える拠点とし、この役割を果たしてきた役割を継続して果たすことも危機的状況にある。法人がこれまで果たしてきた役割を継続していくと共に、住み慣れた地域で暮らせる地域を創り、その地域を支える拠点としての機能を発揮していくためには安定した経営、人材の確保育成が重要な課題となる。</p> <p>安定した経営による法人の成長と地域課題解決に向けた新たな事業展開の模索、そのために必要な人材確保と育成、定着に向けた取り組みを高齢者施設全体で取り組んでいくための旗振り役が求められる。各事業所が健全かつ安定した事業経営が行えるような側面的な支援をしていく。</p>	<p>重点事業項目</p> <p>1) 安定した事業経営のための情報提供と各課事業計画に対する支援 各事業の収支状況と事業実行状況を把握し、健全な経営が出来るよう情報提供助言を行う。</p> <p>2) 人材確保、育成、定着に向けた支援 専門職養成機関だけでなく、一般大学、高等専門学校への訪問による介護福祉サービスの営業活動や他事業所の取り組み等の情報収集を行うと共に、職員の健康管理、福利厚生の実現に取り組める</p> <p>3) 地域貢献活動への積極的な参加 各事業の行事への支援やこれまで通り、地域交流スペースでの活動や市地区夏祭りへの支援など積極的に地域へ出かけ、地域住民と顔なじみの関係を作っていく。</p>
	<p>総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーフ会議において幹部会議に各管理職より、各部署の収支状況報告を受けてその要は、今後の取り組みについて報告することとで地域の経営状況を把握することが出来ている。また、会議を報告のみで終わらせることなく、各課の課題や参加職員が不安を感じる課題等について検討する場としていたと問題提起している。 ・他課相談就業研究会にカインズから役員会を中心に参加、研修が成果は表れていないが、各委員は役員は、法人運営に参加しているという意識は高まっている。 ・例年通り、各部署の業務に積極的に参加し、地域住民と顔なじみの関係が構築されている。今後ともにも、ふれて市民スタッフを中心とした企画やさまざまな支援の関わりを深めていく。ともに、ふれてでのミニ講座の定期開催が好評である。 ・弊業、ヘルプで収支が改善したこと、GH、サ高津の安定した経営が元締め者施設全体の支店を安定させた。反面アイホールとみの利用者獲得が出来なかったことは悲定外であった。利用者獲得にむけた取り組みが功を奏し改善に向かっている。あらためて経営リスキングの取り組みの重要性を学んだ。 ・かいごみらい委員会、広報委員会合同によるブース装飾を構成。採用者が大幅に増えたとは言えないものの、職員採用に対する一般職員の意識は確実に向上している。職員紹介による採用が増加、職員の帰属意識の高まりを感じている。 ・ともに地域の学芸会、ふれてフェスティバル、雪かき交流祭りに参加、地域住民との良好な関係は広がりをみせているが、さらに多くの職員が習得できるような取り組みづくりが不可欠となる。ともに運動会がコロナウイルスの影響で中止、感染症予防を含めた、今後の市民スタッフによるイベント開催のありかたも要検討である。

2019年度 給食サービス課事業総括

主管 給食サービス課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>1. お客様満足に向けて各拠点(四恩園・ともに・かたの)のニーズを図り、各拠点の特色を活かし、①生活食(身体の基礎・健康促進・予防)、②治療食(回復・維持)、③行事食(心と体の栄養・楽しみ・喜び・感謝)の三つを柱としてお客様本位の提供に努める。</p> <p>2. 安全・安心の信頼を損ねることの無いよう清掃・衛生管理・健康管理の強化に努める。</p> <p>3. 地域の行事への参加、つながりに努める。</p> <p>4. 栄養相談、食事の感心を高め体調不良軽減につながるよう努める。</p> <p>5. お客様から見える仕事、提供の仕方の工夫に努める。</p> <p>6. 人材確保、機器導入、マニュアルの作成など業務の効率化を図る。</p>	<p>重点事業項目</p> <p>1) 各拠点の特色を活かした食事、行事に取り組む。</p> <p>2) 清掃・衛生管理・健康管理のマニュアル見直し。</p> <p>3) 職員のスキルアップ、機器・設備管理、新機器についての勉強会の実施。</p> <p>4) 業務マニュアル作成、ムリ・ムラ・ムダを無くすよう会議を実施。</p>	<p>総合評価</p> <p>・人員不足や異動で落ち着かない状態だった。デイ、特養の夏祭りではイメージして頂いた雰囲気とは違い、思っていたより食べてもらえなかった。出前など行事等で人員が多いうちにしか出来ていない。職員が集まっていた会議は出来ていないが、行事等で全員参加している時に話し合いをすすめるようにしている。</p> <p>・相変わらず人員不足の一年となったが、大きな事故・怪我・感染症などが無かったのは職員全員が頑張ってくれたことだと思ふ。</p> <p>・職員の出入りもあって落ち着かない一年だったがみんな良くやってくれた。</p> <p>・今年出来なかったことをどうすれば出来るか、違う方法で出来ないかを話し合い、来年度に取り組むみたい。</p>

2019年度 施設サービス課事業総括

主管 施設サービス課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>「人」が楽しみを生み、「人」が喜びを生む。「人」が生を生み、「人」が愛を生む。常に先にあるのは「人」である。「人」が「人」を支え合っていることを念頭に、四恩園に関わる全ての「人」の満足を目指し、またこれから出会う全ての「人」の幸福を願ひ、我々施設サービス課は基本理念を念頭に置き「SHIONケア」をスローガンに掲げ新たな時代に挑みます。「SHIONケア」とは… S=Satified 満足、H=Happiness 幸福、I=Idia 想像、O=Originality 独自性、N=N o.1ブランドの5項目をお客様支援に位置づけ2019年度施設サービス課は取り組みます</p>	<p>重点事業項目</p> <p>1) 満足・幸福を追求します。 私たち施設サービス課で働く者は「年を重ねても、認知症を患っても、障がいをおっても自分らしく暮らしたい。」というお客様の思いにこだわり、また「大切な家族に四恩園で暮らせたい」と思われるか、多職種連携(相談員・介護職・看護職・管理栄養士・リハ職)でそこに挑戦し関わり続ける事で我々の働き甲斐、喜びへと繋げていきます。</p> <p>2) これまでの特長に捉われずに自由な発想から独自性を創造します。 お客様に喜ばれるケアを提供できるよう人材確保に努め、職員の働きやすい労働環境を整えます。次に人材育成、新規採用職員に対しては育成チェックシートを活用しての個別面談を、全職員にはケア会議外における認知症ケア研修・介護技術講習を実施。将来の介護人材の確保を見据え介護実習生の受け入れを積極的に進め育成にも力を入れます。またケアプランを通してアセスメント能力の向上に努め、目標志向型のケアを共に作り、お客様個々の幸せを具体的にします。その為に我々は「やってみよう」というチャレンジ精神を大切に「お客様に喜ばれるように」「四恩園で良かった。」と思っていただけでよいような新たな価値観を認め、取り入れる勇氣を持って取り組んでいきます。</p> <p>3) No.1ブランド 魅力ある施設になる為に、施設環境の整備と改善に取り組めます。働く者にとっては、制服の導入をこれから検討します。また最新福祉機器の導入と活用を進め、お客様・職員双方にとって安全安心のケアの実現を図ります。ハード面においては居室等の改修に取り掛かり、住み良い環境を形成していきます。また自立支援介護にも再挑戦し四恩園ならではのケアを見つけていく足掛かりとします。</p>	<p>総合評価</p> <p>2018年度から2019年4月新体制にて新たな目標「SHIONケア」を掲げ、理念にある「お客様に喜んで頂く」その前提には「四恩園での暮らし」を選択してもらおう事、すなわち整備の向上と働き換えられその中で喜び・幸せを感じる支援を提供するスタートに立てた上半期となった。下半期に向けてケアを提供できる幸せを感じ、地域との取組参加、四恩園に関わる全ての方に満足度を高めるよう職員一同チャレンジしていきたい。2019年度末稼働において2018年度を大きく回復できた1年であった。施設入所のお客様には「四恩園での暮らし」を提供することができ、また短期入所のお客様には、日帰りや定期、中長期的に「四恩園ベッドを使って頂く」ことでご家族の在宅生活を高める一助を担うことができた。稼働を意識し安定的に四恩園においてケアサービスを提供できる体制構築に引き続き取り組みたい。</p>

2019年度北広島デイサービスセンター四恩園事業総括

主管 通所介護課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>北広島デイサービスセンター四恩園は、お客様の30%以上が要介護3以上、25%以上が認知症自立度Ⅲ以上と心身機能が中重度化した方に多く利用いただいている事業所です。お客様のほとんどはご家族からの介助も受けており、お客様の心身機能の安定と笑顔がご家族に大きな安心と喜びをもたらしていることを日々実感しています。</p> <p>北広島デイサービスセンター四恩園はお客様お一人一人に“自然に心と身体が動く”ケアを提供することで心身機能の安定と笑顔を引き出し、お客様はもちろん、介護するご家族や地域を元気にできる事業所になることを目指します。</p>	<p>1) お客様お一人お一人が“自然に心と身体が動く”プログラムの実施</p> <p>2) 評価と成果の見える化とケアの統一化のためのツールの検討</p> <p>3) 職員の意識とスキルの向上</p>	<p>行事を含めた年間プログラムについてはお客様が“自然に心と身体が動く”という視点で実施・継続することができているが、個別性という点ではまだ不十分であるため、下半期の課題とした。</p> <p>・ケアプランの周知に加え、役割分担の明確化にとり組んだ。結果、介護職員間のコミュニケーションが増え、ケアの統一ができてきたケースが増えている。職員会議や研修に参加する職員が昨年より増えていることと合わせ、徐々にではあるが意識とスキルの向上が図れていると感じている。下半期は次年度以降につなげるための満足度調査や施設・設備の活用計画などにも取り組んでいきたい。</p> <p>・1年を通し、ほとんどののお客様の心身機能の安定が図れたのは“自然と心と身体が動く”ケアを提供することと意識し続けたこととケアの統一化が図れたことの結果であると感じている。2月末から流行が開始した新型コロナウイルス感染症について、予防のためことと利用を控えたお客様の数名が体調を崩してしまっただけでなく、お客様の不安や心配を軽減させることと、今年度やりきれなかった評価と成果の見える化にも再度取り組むこととする。</p>

2019年度 デイホームさとみ 事業総括

主管 通所介護課

事業方針	重点項目	総合評価
<p>・基本理念の視点と実践を基本に業務について振り返り、どうなのか?イイのか?など、日頃の不安と緊張している自分に向き合い解決の「糸口」をさがります。中重度化した認知症のお客様のその人らしき日常生活の支えをしながら、まわりの変化による戸惑いやおびえ、不安などを取り除き、安心して過ごせる環境を整えます。お客様がご家族とともになじみの環境で今までの暮らしを継続できるように、地域や自然とふれあい、ゆつたりありのままのままと過ごせる取り組みをします。</p>	<p>1) 基本理念を道標として、迷ったら立ち戻る</p> <p>2) 安心していれる場所</p> <p>3) 周辺状況の基本対応</p> <p>4) 施設環境を整える→ 設備、人、将来の見通し</p> <p>5) 分かりやすい言葉で伝える。 情報の伝え方</p>	<p>利用者の減少による、グループでのゲームに影響があるが職員とのコミュニケーションが増え、個別のかわり合いの期間が増えた。</p> <p>事業所の経営内容から振り返ると毎月の経費を補えないので職員の勤務調整をする。事業内容は、「日帰り温泉」「お茶のみ教室」など予定した内容で実施。地域との交流も「お茶の間」を利用してさとみの活用もできた。世話人により細仕事や庭の草取りもしていただいている。敬老の集いもさとみで昼食会を開き、家族や地域の参加もいただいたとき喜ばれた。</p> <p>お客様の確保も居宅や、支援センターへ出向いて広報活動をしている。毎月の解放日を設定して、ケアマネジャーや相談員がさとみへ足を運んでいただけるようにする。</p> <p>職員の研修も家庭の事情もあるが参加できるように促す。日常の業務で困難、ヒヤリハット、交通事故もなく下半期も気持ちよく取り組むことと、目標の15名まで達成ならず。さとみを利用してくださったそれぞれに3月来利用者登録12名で、目標の15名まで達成ならず。さとみを利用してくださったそれぞれに個別のケア実践はできている。2020年度も一人一人が長く住み慣れた家で暮らせるように支える事業内容としていた個別外出もできた。</p> <p>職員の退職や体調不良で勤務の不規則状況が続いたが協力で乗り越えた。お客様の確保でケアマネや包摂にさとみの様子がわかるお知らせを配るようにして事業が継続できるように働きかける。また施設経営者よりほかの事業所との連携も工夫するようにアドバイスをいただきお客様の状況に合わせた事業所の進捗でお客様の移動も図られた。</p>

2019年度 デイホームかたる事業総括

主管 通所介護課

事業方針	重点事業項目
<p>・デイホームかたるは、軽度者の方をターゲットとし、四億圓ブランドにふれる介護保険の入り口的作用を担います。地域交流ホームがもたらすやポランティア、各相談機関と連携をとりながら地域力を活用し「お客様お一人お一人の“やりたいこと”が“できる”ために」という視点で「自立支援」を目指していきます。</p> <p>また、介護を担う職員の人材不足は全国的な問題となっているが、当事業所においても例外ではなく、少ない職員体制でもお客様が安心して通うことができるよう、業務の効率化、職員の資質向上、次世代を担う職員の発掘、育成、地域のマンパワーの活用にも力をいれていきます。</p> <p>そして、介護保険法の改正と第8期介護保険事業計画について情報収集と対応すべく準備を進める年度としていきます。</p>	<p>1) お客様のやりたいこと、転倒予防、認知症予防を軸としたプログラムを検討、実施します。</p> <p>2) お客様と地域、事業所と地域がつながり、支え合える関係を構築します。</p> <p>3) 業務内容の整理と改善、職員のスキルアップを進め、安心・安定した事業の運営を目指します。</p>
事業方針	重点事業項目
<p>・デイホームかたるは、軽度者の方をターゲットとし、四億圓ブランドにふれる介護保険の入り口的作用を担います。地域交流ホームがもたらすやポランティア、各相談機関と連携をとりながら地域力を活用し「お客様お一人お一人の“やりたいこと”が“できる”ために」という視点で「自立支援」を目指していきます。</p> <p>また、介護を担う職員の人材不足は全国的な問題となっているが、当事業所においても例外ではなく、少ない職員体制でもお客様が安心して通うことができるよう、業務の効率化、職員の資質向上、次世代を担う職員の発掘、育成、地域のマンパワーの活用にも力をいれていきます。</p> <p>そして、介護保険法の改正と第8期介護保険事業計画について情報収集と対応すべく準備を進める年度としていきます。</p>	<p>1. 5月より毎月、外出行事を予定通り実施。楽しみが蓄かたりにやってくる状況を作れている。脳活性化ゲームに関しては、内容にマンネリ化を感じている。「進め方」「内容」等検討する。</p> <p>2. レクレーション(月1～2回)とコンディショニング(週5回)継続。地域の方の参加が減少(固定化している)ため、地域の方々にとって魅力ある内容の検討が必要と考えるが、利用のお客様の機能訓練と活動、交流の場ともなっている取り組みであるため、高度な内容は難しく、バランスを大切にしている。下半期では茶話会を実施し、地域の方々の思いを確認していく。</p> <p>3. 毎月の正職会議で検討。お客様の人数増加に伴いフロアを広く使う方法や転倒リスクの高い時間帯や場所での見守りを強化した。人件費削減を目的し、お客様の人数に合わせた職員配置(最低人数)の勤務表への変更。時間外を減らせるよう早退勤務を調整し、実際に人件費の削減することができている。</p> <p>4. お客様満足度アンケート実施。外出行事の希望が多く、食事外出も好評であった。次年度は外出行事を増やす方向で検討していく。各活動も2～3月中に見直しを行い、4月(新年度より)活動を細分化できるように準備ができた。</p> <p>5. 新型コロナウイルスの影響でふれがみ休館となり、感染予防の観点から地域活動も休止。コンディショニング・レクレーションの内容を見直し、再開時にバーベキュー・ジョギングなどができるよう準備している。各ポランティアの方々は電話にて近況報告や関係が切れぬように対応している。</p> <p>6. 新型コロナウイルスにおける予防策として、法人の感染対策における意向と事業所で取り組むべき対策について会議で検討し現場と連携し入れる際の対策など協議している。3月は会議時間を概ね1時間と実施している。上半期にて、勤務者の見直しをしたことで、下半期でも時間外勤務は減少させることができた。次年度は残業や有休消化数にも焦点を当てて働きやすい職場を目指していく。</p>

2019年度 北広島市みなみ高齢者支援センター事業総括

主管 高齢者地域支援課

事業方針(なぜ)	重点事業項目
<p>・2019年度は、北広島団地地区を担当圏域とする地域包括支援センターとして、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていることのできる地域包括ケアシステム構築を目指し、「個を地域で支える援助」と「個を支える地域」を両輪で実践します。近頃は我が事・丸ごと地域共生社会実現本部の設置などから、支え手や受け手という考え方の転換、年齢による役割の区切り難などが浸透しつつあり、高齢者の活躍が今後ますます期待される場所です。自助・互助・共助・公助で言う「自助」機能を強化できるようにコーディネート機能を発掘する他、地域住民、自治会、行政、福祉・大学・社会福祉協議会・民生委員や地区福祉委員・民間企業など関係機関とのネットワーク連携を構築し、住みよいまちづくりを目指します。</p>	<p>1) 地域包括支援センターが実践している各事業の円滑な実施と他機関・他職種連携 (総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的継続的ケアマネジメント事業、介護予防マネジメント事業、家族支援事業など)</p> <p>2) 北広島団地地区の地域課題解決に向けて、生活支援コーディネーター及び第2層協議会活動を通じた自助・互助機能の強化</p> <p>3) 介護予防事業の強化</p>
事業方針(なぜ)	重点事業項目
<p>・2019年度は、北広島団地地区を担当圏域とする地域包括支援センターとして、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていることのできる地域包括ケアシステム構築を目指し、「個を地域で支える援助」と「個を支える地域」を両輪で実践します。近頃は我が事・丸ごと地域共生社会実現本部の設置などから、支え手や受け手という考え方の転換、年齢による役割の区切り難などが浸透しつつあり、高齢者の活躍が今後ますます期待される場所です。自助・互助・共助・公助で言う「自助」機能を強化できるようにコーディネート機能を発掘する他、地域住民、自治会、行政、福祉・大学・社会福祉協議会・民生委員や地区福祉委員・民間企業など関係機関とのネットワーク連携を構築し、住みよいまちづくりを目指します。</p>	<p>総合評価</p> <p>・担当している北広島団地地区は、高齢化率の上昇(81.7/81時点の高齢化率46%)、単身高齢者や老人福祉者高齢者の増加などに伴い、寄せられる相談件数も増加の一途を辿っている状況。又、相談内容も介護に関する相談のみというケースは少なく、複合的な課題を抱えた相談が増加しており、1ケース当たりの支援時間も長期化しつつある。トータル相談件数や新規相談件数は他の支援センターと比較しても飛びぬけて多く、地域格差が顕著に表れている状況。</p> <p>・職員内で役割分担を図りながらチームアプローチで相談対応を実施。地域作り双方一丸となって役割を遂行出来ていると評価する。</p> <p>・課題としては、地域包括支援センターとしての役割を果たす業務に精一杯の状況で、新しいチャレンジを実施する財源的余裕がない。事務的な業務の効率化、業務の役割分担の見直し・法人や他機関との連携を一層図り、乗り切りたい。</p> <p>・2019年度は、地域包括支援センターに寄せられたトータル相談件数が増加し(昨年度6,005件 今年度7,366件)高齢化率の上昇(82.3/81時点の高齢化率46.5%)、後期高齢化率(24.4%)、1世帯当たりの世帯人数減少による単身世帯者の増加、要支援認定から要介護認定への移行者数増加など北広島団地地区が全国的に課題を抱えた方が増えている事を実感する。さらに新型コロナウイルス流行に伴い、国の方針による活動制限や心理的不安感の増大は高齢者の身体・精神・生活に大きな影響を及ぼすものと思われる。このような非常事態の中、地域でどのような事が起こり、どのような事が求められるかを見定め、地域包括支援センターとして行える支援を実施していきたい。</p> <p>・新年度に向けて、職員を擁出し相談体制を充実する予定である事から、今一度職員の教育システムを見直し、チーム方向に向け取り組みを実践していきたい。</p> <p>・介護予防事業の強化に向け取り組みは、1)及び2)の実施で一杯となつてしまい、新たなチャレンジを実施するには至らず反省すべき点である。関係法人さまさまも職員や専門職と今後も取り組みの原資を考えていきたい。</p>

2019年度 地域交流ホームふれて事業総括

主管 地域交流ホームふれて

重点事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>「人と人のつながり（ふれて）かたる）から生きることの喜びを知ろう！！」 人が生きることの究極の目的は、一人ひとりの人格が尊重され尊厳が保持されることとあります。 ふれては、子供・高齢者・障がい児者など、地域住民一人ひとりがつながることによって、お互いを 尊重し尊敬をもって安心して生活のできる豊かな地域社会となるようその実現を目指します。</p>	<p>○ 共生の理念のもと、地域の方が数多く集い、積極的に関与できる場になります。 （2019年度目標：毎月の来場者数平均800人を継続します。）</p> <p>○ ふれて市民スタップを増やし組織化します。 （2019年度目標：市民スタップ数を70人にします。）</p> <p>○ 地域住民・社会資源・関係機関と連携し、地域力を高め、地域を考える場になります。 （2019年度目標：認知症の方やその家族の方も安心してくつろげる場を提供します。）</p> <p>○ 情報の発信と相談対応により、不安を解決できる場になります。</p> <p>○ 北北島田地区の資源・象徴として、建物管理や環境整備を行います。</p>	<p>▶ 共生の理念による交流 9月末までの来場者数が4,734名（ひと月の平均来場者数が789名）となっている。自然の月平均800名の目標達成と することができた。 喫茶コーナー、キッズコーナー、イベントやミニ講座を通して、世代を超えた交流が実現しており、今後も、ふれてを活用し る地域の方、一人ひとりが顔の見えづなかりをつくらせることができよう、そしてそのつながりがお互いを支え合えるよう市民 スタップを中心に取り組んでいく。</p> <p>▶ 市民スタップの組織化 スタップが1名加入。また、市民スタップとしての交際場としての役割はしていないものの、ふれての取組みに協力してくれる地域の方々 も多く存在する。</p> <p>▶ 地域力の向上 喫茶コーナーやキッズコーナーの運営、イベントや講座の開催、ワークショップを通して、市民スタップを中心には自働2丁目 自治会、直都大学、四国福祉専門学校と連携しながら、地域の課題に対して向かえることができるのかを改めて考えることが出来た。ワークショ ップでは、出前高等専門学校との連携によりベンチを地域に設置した。ふれてで行った各種の場が広がっている。</p> <p>▶ 情報発信と相談対応 市民スタップ、かたるは、支援センター職員とのつながりにより、地域交流ホームふれて全体が、一人暮らしの方や介護者 など、地域の方にとって安心して暮らせる場、相談できる場になっている。今後も、話し合いの場を増やして、人に会いやすい場になる 思いの場や、気軽に相談しやすいうちを市民スタップ・みなみ高齢者支援センター・デイホームかたると連携してつくっていく。 毎月1回発行しているふれて通信を活用し、イベントや講座開催の情報を中心に発信しました。</p> <p>▶ 建物管理と環境整備 ふれて及び、サブセンターの環境整備については、ふれて市民スタップ、自働2丁目自治会、四国福祉の各事業所の協力・連携 により、計画通り実施できた。 毎月のハウスキューピングを継続しています。修繕箇所の見直しや環境整備への意識が向上している。</p> <p>▶ 共生の理念による交流 3月末までの月別来場者数が8,060名（ひと月の平均来場者数が655名）となっている。目標の800名は下回った。 喫茶コーナーの継続運営やミニ講座の開催、イベントの検討、定例など、市民スタップの積極的・主体的活動と、デイホーム かたるのコンチエントメントトレーニング、レクリエーション、ライブ＆ワークセサメントなどにより、ふれての機能がさらに地域に 活かされてきている。その中でもものづくり、皆孫伝承のミニ講座は9回開催で290名の来場があった。今後もふれてを 拠点としたこれらの取組みを継続し、住民の積極的参加による、地域の人と人とのつながりづくりを進めていく。</p>

▶ 市民スタップの組織化

▶ 上半期に新たなスタップが1名加入。現在のスタップ数67名。70名の目標には届いていないが、イベント、ミニ講座、ワークショップなどの取組みに協力してくれる地域の方々、直都大学生を含めると100名を超えている。今後もふれて通信を活用した市民スタップ募集を継続していく。

▶ 地域力の向上

▶ 地域の課題を解決するワークショップの開催により、直都大学生・自働2丁目自治会との連携で、市民スタップを中心には、地域の課題解決に向けた『おひき交流まつり』を継続開催することができた。

▶ 今後はワークショップの場を活用し、市民スタップ、住民、直都大学、その他の団体と協力・連携しながら、ふれてやワークショップの活動参加とそれの取組を活用することにより、個人では達成できなかった地域の課題解決に向かって取り組んでいく。地域の課題解決という目標に向かって、具体的な取組みをつくらせることが出来るようコーディネートしていく。

▶ 情報発信と相談対応

▶ 市民スタップ、かたるは、支援センター職員とのつながりにより、地域交流ホームふれて全体が、一人暮らしの方や介護者など、地域の方にとって安心して暮らせる場、相談できる場になっている。今後も、話し合いの場を増やして、人に会いやすい場になる思いの場や、気軽に相談しやすいうちを市民スタップ・みなみ高齢者支援センター・デイホームかたると連携してつくっていく。今後も多くの方々に情報発信ができる仕組みについて検討していきます。

▶ 建物管理と環境整備

▶ ふれて及び、サブセンターの環境整備については、ふれて市民スタップ、自働2丁目自治会、四国福祉の各事業所の協力・連携により、計画通り実施できた。

2019年度 北広島グループホーム四恩園 事業総括

主管 グループホーム課

事業方針	重点項目
<p>・認知症になっても最期まで安心して住み慣れた環境の中で生活が継続できるようにサービスの質を高める。また、働きやすい環境づくりに努めることで安定したサービスの継続を図る。</p> <p>一人ひとりの認知機能や身体的機能の状態を見極めて、チームで取り組むよう専門的知識を拡大していき、グループホームでの看取りを希望されるお客様への対応としても、個々の人生の最後を全うできるように支援の提供を追及していく。他職種と連携し多方面からアプローチができる職員の質向上に努め、和やかな交感を継続することで、稼働率100%を目標に取り組んでいく。</p> <p>・地域とのつながりが日常の生活の中で継続していけるよう、運営推進会議、ボランティア、市民スタッフ、家族の集いのみなさまと一緒に日々の馴染みの関係性を継続しイベント活動にも取り組んでいく。</p>	<p>1) 人材育成と職員体制の確保</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 業務の見直し（日勤業務内容を中心にムリ、ムダ、ムラの排除）。 ② 資格取得にむけて目標を持つことで知識をつけ取り組む力を持つ。 ③ 職員の心得など（チェックシート）を活用し、客観的な視点で自己を振り返れるよう取り組む。 <p>2) 多面的な知識を得てサービスの質の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① それぞれのシフトを活用し事例を通して実践力を得る。 ② 研修を通して職員全体で要因分析の視点やコミュニケーション力の向上を図る。 ③ 他職種からの指導やアドバイスを受け多方面からの実践力を見につける。 <p>3) 地域とのつながりを大切にお客様が生きて喜びを感じて頂けて頂けるようお客様本位のサービスに努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 運営推進会議、ボランティア、市民スタッフ、家族の集いのみなさまと一緒に日々の馴染みの関係性を継続しイベント活動にも取り組んでいく。 ② お客様が今まで大切にしてきたものを継続できるようにさまざまな交流を活用し、生活に楽しみを感じて頂ける様取り組む。
総合評価	<p>1. 業務の見直しを行なう。早番の時間変更にもない、細かいなくみくみな業務改善をおこなっている。各自資格取得に向け自己研鑽おこなっている。マナーや身体拘束等チェック表を活用し会議等でも自己を振り返る時間を設けている。</p> <p>2. 看護や歯科衛生士、おむつメーカーなど、それぞれの専門職よりアドバイスをうけて実践にいかしている。事例を通しての要因分析は取り組んでいない為、上半期にて実践予定。</p> <p>3. 運営推進会議や地域の行事には、実践参加できている。家族会では、行事へのご意見を頂けており、積極的なお手伝いもいただいている。細かい個別での交流は、行き届いていないため、今後状態に応じた関わりを実践していきたい。</p> <p>4. 業務内容等見直し実践している。今後も状況変化に応じて随時見直し変更必要である。資格取得については、各自自己研鑽行なっている。マナーや身体拘束チェック表等については、継続的研修が必要で常に意識づけしていきたい。</p> <p>5. 他職種から個別でアドバイスを受けている。今後は事例を通してアセスメント力を深めていきたい。実際に職員が担当しているお客様の生活等を通して、今何を大切にしていくべきかもご理解しチームでお客様の生活を支援していき。</p> <p>6. 地域の行事に参加し生活に楽しみを持って頂けている。今後も運営推進会議、地域のボランティア家族等の皆様とのなじみの関係性を大切にし、1年間の計画をたて取り組んでいきたい。</p>

2019年度 北広島居宅介護支援事業所四恩園 事業総括

主管 居宅介護支援課

事業方針	重点項目
<p>・ケアマネジャーは、お客様の声を聴くことのできる関係を築き、お客様の「ニーズ」を理解し、お客様がどのような暮らしにしたいのかをもち考え、お客様主体の生活を支えていく。昨年度実施したアンケートでは、ケアマネジャーの「言葉遣いや態度が丁寧」「よく話を聞いてくれる」「時間を守る」「私に選択や決定を押しつけない」「私の状況や問題を理解してくれる」といった態度を評価いただいたことから、お客様主体の支援を具体化することが求められていることが分かる。</p> <p>・お客様が地域の暮らしに必要十分な機能である。</p> <p>・地域包括ケアは、「重厚な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム」とされ、それがこにいるお客様が「住み慣れた地域で暮らしている」と実感をもちながら生活するには、お客様と様々な人、仕組みをつなげる夜間のソーシャルワーカーの存在が必要と考え、</p> <p>・地域で暮らす高齢者の多様な生き方を寛容に受け止めることのできる「民生社会」を目指し、お客様とケアマネジャーのつながりやお客様と同居の人々とのつながりから「私を分かってくれ人がいる」と感じる「人間としての尊厳」が保たれ、「幸せ」な生活を実現するための支援を果敢としていきたい。</p>	<p>1) お客様を地域で支えるケアマネジメントの実践</p> <p>2) 安定経営と業務改善の取り組み</p> <p>3) 地域の基盤づくり</p> <p>4) 地域を支えるソーシャルワーカー育成</p>
総合評価	<p>・7月に1名退職して8名体制での営業となった。</p> <p>・欠員した職員の担当するお客様は職員が分担して担当し、件数を落とさず実践を積んだ。課としての柔軟性を発揮できたと評価している。</p> <p>・会議でのケース交流の振り返り、事例検討会が有効に機能しており、各自の内省の機会となった。</p> <p>・新たな視点やアプローチを学習して他のお客様の支援にも反映することができた。</p> <p>・新たな取り組みとして「ともにミニ講座」開催。企画・準備・周知・講師役など学びながら実施している。講師による情報発信により、住民の関心も高まり、地域の課題について理解を促し、多様な価値を持つ人を寛容に受け止めるが、互いに認め合いながら暮らせる地域づくりの一助とする。</p> <p>・下半期では以下の点について取り組む。①ICT活用②ケアマネジメント有理化対応③改善への備え</p> <p>・会議でのケース交流の振り返り、事例検討会が有効に機能しており、各自の内省の機会となった。</p> <p>・視点やアプローチを学習して他のお客様の支援にも反映する意識も形成されつつある。</p> <p>・引き取り組んだ。</p> <p>・またひろるサービスネット居宅部会を活用して、運営に役立つ情報を他事業所と共有できた。</p> <p>・新たな取り組みとして「ともにミニ講座」開催。固定の参加者も出来つつあり身近な生活の困りごとを考る機会として定着しつつある。また、職員が講師役を担うことで知識・技術の向上、プレゼンテーションを学ぶ機会となり、事業を運営する視点についても経験を積んだ。</p> <p>・年間通して、計画を超える実績を残すことができた。</p> <p>・ICT活用については検証継続中。</p> <p>・ケアマネジメント有理化は見送られる予定。</p> <p>・災害への備えとして災害時のお客様名簿を更新した。</p>

2019年度 ホームヘルプサービス 事業総括

主管 訪問介護課

事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>・お客様一人ひとりの「その人らしい生き方」を継続するために、その方の持てる力を見つけ、生活の中でサポートできる介護を、基本理念に基づき実践します。</p> <p>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を開始し、24時間のきめ細やかな支援により、安心した在宅生活を支えます。</p> <p>・ホームヘルパーの魅力を伝え、新人ヘルパーの獲得と育成を行い、訪問件数の増加に努めます。</p>	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「その人らしい生活とはなにか」をチームで統一したケアで実践する。 2) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実践と地域へ周知できるようにする。 3) ヘルパーの質の向上に努める。 4) 業務の効率化を図る。 5) 人材確保に努める。(在籍ヘルパー-離職防止と新人ヘルパー-確保) 	<p>・4月から定期巡回サービスを開始となり、登録数は延べ10名、月の実績は5〜7名と変動があった。業務の効率化は、スマケアを使用し情報の共有や記録物の削減につながっている。ヘルパー研修の内容を見直し、リスクマネジメントのヒヤリハットのとらえ方とケアの向上、オムツ研修、定期巡回同行訪問を実施、ヘルパーの新しい知識習得や意見交換をすることができた。</p> <p>・上期に新人ヘルパー採用、退職はゼロ。しかし、病欠者が続出した。夜勤者の長期病欠があり、日勤者が夜勤業務の入るため日勤業務(リダー業務)が不十分となっている。訪問件数は障害が増加傾向、通常訪問介護は減少しているが、収入は徐々に増加傾向にある。</p> <p>・定期巡回サービスは月6〜9件であったが、短期利用の方も多く登録数は15名であった。スマケアアプリを活用した記録と情報共有ができたため、ケアマネや相談員、ご家族へタイムリーに状態把握が可能となった。全訪問記録をスマケア利用に変更し、ヘルパー間の情報共有、記録の書き方等見直すことができた。新人ヘルパー1名入職、病欠者2名で夜勤業務に支援がためたためサ責1名夜勤業務に移行してきた。昨年度同様は退職を考慮している職員もいたが、退職者なく意欲的に働いている職員が多くなり職員のモチベーションが向上していると思われる。研修内容の視点を考える、サ責の意識を変えていくことが働きやすい環境につながっていたのではないかと。</p> <p>・昨年延期していた外出行事(運動会)を開催し幅広い年代、障がいと高齢の交流があり好評であった。通所では見られない表情、訪問で見られない活躍等職員が気づかされたことが多かった。今後は形式を変えて交流の場を検討したい。</p>

2019年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん事業総括

主管 サービス付き高齢者向け住宅課

重点事業方針	重点事業項目	総合評価
<p>「大切なあなたと、幸せを共感できるわが家を目指して！」</p> <p>何らかの事情で住みなれた自宅を離れ、しおんに入居されたお客様には今まで暮らしてきたいるんな思い出や、地域との関わりがあったこととして。私たちは基本理念に基づき、一人一人のその思いに寄り添った対応を心がけ、状況の変化にも迅速に行動をし、お客様に安全・安心な暮らしを提供します。お客様が長い間楽しまし、地域社会を大切にしつつ、入居者同士の新たな交流やともに過ごす地域の方々や職員などの新しいコミュニティを通して、社会の一員として充実した日々を過ごしていただきたい。</p> <p>サービス付き高齢者向け住宅しおんは、お客様が自分らしい生き方で、楽しく幸せな終の棲家になることを目指します。</p>	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日々の暮らしの中で、安心・安全・安定を共感できる住宅にします。 2) 人と人のつながりの中から、楽しみや幸せを共感できる視点にします。 3) 自立支援を促し、健康寿命を延ばします。 4) 快適な住環境を目指して、建物管理や環境整備を行います。 5) 職員の質の向上を図ります。また人材確保に努めます。 	<p>総合評価</p> <p>・お客様が「しおん」の生活に慣れてきたことで、それぞれの個性が現れるようになってきた。良いことである反面、トラブルに発展しかねない場合も出てきたため迅速な対応を心掛けています。直接的な介護だけでなく見配りや気配りなど、一人一人のお客様に関わることで「安心・安全・安定」した生活を過ごしてもらっている。</p> <p>・生活環境や身体状況の違いなどから、お客様自身が職員に頼むことも多様化してきている。充実した心地よい生活を送ってもらうために、できるだけお客様が頼むことはしてはいるが、一人一人のお客様の対応に時間がかかることも多くなり難しくなっている。不足の部分を「ともに」全体で支援してもらっているが、地域の行事に参加するだけでなく、地域の方とつながりも持つよう体制作りが必要である。</p> <p>・環境については、年間を通していつ何をすればよいかが明確になってきているので、急なトラブル以外のお客様に心配をかけることはなくなっている。</p> <p>・お客様の状況が大きく変わってきており、介護度では自立の方から介護5までのお客様が入居している。一人一人のニーズや思いを大切にしながらお客様に寄り添ってきてきたが、直接関わる機会の他、目に見えない配膳(同配り)が必要になってきており、むしろその部分の方が多い現状では、全員ののお客様と関わりが難しく、それでもともにも活用する地域の方々やともに全体での行事を通して、お客様の楽しみを見出し、充実した日々を過ごすことが出来たと思っている。コロナウイルス感染症予防のため、外館との接触がなくなったことは残念なことであった。</p> <p>・サ南住が中心となって行う健康体操は住民の方にも評価され参加人数が増えた。参加しているお客様自身の健康予防にも繋がっている。</p> <p>・住環境については一年を通してトラブルはなかったが、感染予防の徹底に努めた。</p> <p>・今年度パーソナル職員を1名増えたことで、他のパートの勤務体制を見直すことが出来た良かった。</p>

2019年度 感染対策・衛生委員会 事業総括

主管 障害施設・高齢者施設合同

Table with columns: 重点項目, 月, 事業内容, 評価, 実績. Rows include items like 'すべての職員が感染症に対する適切な判断と迅速な行動を行うことができる。' and '標準予防策(スタンダードプリコーション)を徹底し実践できる。'

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2019年度 食事検討委員会 事業総括

主管 法人本部

Table with columns: 重点項目, 委員, 月, 事業内容, 評価, 実績. Rows include items like '食べることが生きること(を念頭に置き、サービスを利用する人の食事のあり方等、他職種連携の下で口から食べる食事のあり方方を検討することを目的とする。'

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

様式2

2019年度 広報・個人情報保護委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	事業内容		実績	
	項目	事業内容	評価	評価内容
1) 施設における事業の透明性を図り、サービス利用者に限らず広く地域全体へ法人の取り組みの広報活動を担う。 2) 個人情報、法人情報の適切な活用、管理方法を検討し提案を行う。	1	□ 機関紙の発行 定期的に機関紙を発行する。そのための記事・写真の収集、編集を行う。	4	6月機関紙発行予定。現在、記事・データ作成、校正中。
	2	□ ホームページの運営及び活用 随時更新及び2年ごとにトップページのリニューアルを行う。 各事業ホームページの効果的な活用を検討し作成する。	2	各事業のホームページ実施。
	3	□ SNS等の不適切な利用の防止に関する検討 セキュリティポリシー・ネットリテラシーなどICT機器やインターネットの使用に関するルールの提案を行う。	2	提案書作成し検討中。
	4	□ 研修の企画、立案 セキュリティ・ネットリテラシーに関する研修を行う。(障がい施設との合同研修)	2	企画・立案し、随いで施設と確認。
備考	・同時、ウェブサイト・プログラムの更新や写真撮影など素材集めを行っている。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (期待しない)
 1. 全くできていない

様式2

2019年度 研修委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	月	事業内容	実績	
			評価	年間評価内容
1. 法人で計画されている研修会と連携し、基本理念や行動規範に基づいた人材育成に貢献すること、各委員会が企画している研修会や外部研修等の情報を収集し、わかりやすく周知することで、学びの機会を広げる 3. 各課単位でどのような学びを求めているかリサーチし、今後の研修運営に生かす。	1	□ 各種研修運営のバックアップ ・研修会実施時は参加者集約・会場設営・受付・後片付け等の協力 ・各研修の効果測定方法について検討	4	法人合同研修、役職者研修等における出席確認・会場設営・参加者集約等バックアップを実施出来たと評価。 R2.2月末より新型コロナウイルス流行に伴い、各種研修が中止となっており。 北広島市介護サービス連携協議会主催の研修案内や参加者集約を下準備として実施。
	2	□ 研修に関する情報収集と情報公開 ・すでに計画・予定されている研修会の情報収集 (法人単位、委員会、役職者研修等) ・北広島市介護サービス連携協議会、北広島市役所等法人以外で企画されている研修会の情報収集 ・メールなどで各課へ研修会の情報伝達実施	4	法人内研修のリスト化を実施している。 アンケート用紙の原案作成は行えたが、アンケートの実施にまでは至っていない。来年度以降、時間を見計らって実施していきたい。
	3	□ 研修アンケートの実施 ・各課へ望む研修会のアンケート形式を作成 ・アンケートの実施・集計 ・法人や委員会等にアンケート結果をフィードバック	3	・1年間研修委員会の活動を通じて、感じたこととしては、①職員の育成には、研修という形にとらわれず、柔軟な発想で取り組む必要がある②人材育成において、技術や知識の習得に力点が置かれ過ぎており、職員個々の内面の成長・自己覚悟が進む取り組みが重要③福祉の仕事の魅力、社会福祉法人・北広島正会の魅力を意識出来る事が、人材育成・職能予防・新職員獲得の取り組みとして必要性が高い④カイゴみらい委員会や広報委員会など他委員会との連携性が大きい点に気づいた。
備考	評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (期待しない) 1. 全くできていない			

2019年度 防災対策委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	委員	事業内容	実績	
			評価	評価内容
			1	障がい施設と合同で取り組みたいが実現していない。
			4	防火訓練 7/9 さとみ 7/11 四国園・ふれて 7/12 ともに 地震訓練 2/26 ともに・さとみ 2/27 四国園・ふれて ※新型コロナウイルスの影響で中止
			3	ブラックアウトの経験から、対応の振り返り
			3	検査用、7月の訓練時、防災機器の取扱方法及び防災機器品の把握・確認を教習で行う。
			2	施設間での応援体制の強化が必要
重点項目		本委員会は、火災発生や自然災害に備えるとともに、発生した被害を最小限にとどめられるよう防災訓練の企画、立案を行い、その結果を踏まえ課題を抽出し、ワークショップ会議、幹部会議へ諮問する役割を持つ。また災害時に使用する機器の定期的管理を行うことでスムーズな活用が出来るようにすることを目的とする。		
委員	(委員長)大田向伸也 (委員)向山 篤 新沼 右文 吉田 匡典 毛利 秀景			
計画				
備考				

評価基準： 5 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4 できている (期待した成果が得られた)
3 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2 できていない (見直しが必要)
1 全くできていない

2019年度 カイゴみらい委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	委員	事業内容	実績	
			評価	評価内容
			5	実施できなかった。 次年度目標に掲げる。
			2	実施できなかった。 次年度目標に掲げる。
			2	実施できなかった。 次年度目標に掲げる。
			2	実施できなかった。 次年度目標に掲げる。
			5	9月に開催し情報交換 交流達成。
			5	現在作成中。 2020年8月完成目標。
			2	実施できなかった。
			1	実施できなかった。 見直しが必要。
			5	採用ブース業務完成し 使用、継続頂く。
計画				
備考				

・社会福祉・介護福祉の魅力を伝える為には、委員自身が日々の仕事に誇りを持ち、誠実に取り組むことが必要であると考える。
・自分達の言葉で魅力を伝えることができるよう自己研鑽に努めていく。

評価基準： 5 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4 できている (期待した成果が得られた)
3 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2 できていない (見直しが必要)
1 全くできていない

2019年度 快適送迎委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	実績	
	評価	評価内容
委員		
	月	事業内容
4	4	<p>定期委員会 都合合わせ</p> <p>定期委員会 公用車輛情報のリスト化に向け情報集約</p> <p>定期委員会</p> <p>定期委員会</p> <p>定期委員会</p> <p>定期委員会</p> <p>定期委員会</p> <p>定期委員会 冬タイヤ購入確認</p> <p>定期委員会 法人全体研修 (オプイスブレイン)</p> <p>定期委員会</p> <p>定期委員会</p> <p>定期委員会 夏タイヤ購入確認</p>
計画		
備考		

・お客様に快適にご利用頂ける車酔いや乗降を維持する為に、公用車の清掃や管理についてマニュアルを作成し、車輛担当者に限らず車輛を使用する職員全員に対し車輛に対する意識向上に努める。

・安全運転・交通事故防止に関する啓発活動を行なうと共に、法人全体での研修を実施する。

・送迎サービス・車輛の調整等をスムーズに行なう事が出来るよう、車輛情報を集約リスト化する。また、車輛のリースや購入等に関し、法人に対し提言を行なう。

[委員長]奥山 智直

[委員]神原 英明 林 大輔 佐藤 吉朗

毎月一回、定期の委員会を開催。高所施設所有の全車輛をリスト化し「車輛詳細調査基準例」を基に点検化。年に二回、詳細を見直し、リースの継続や車輛購入の目安にする事とした。また9月に身障施設と合同委員会を予定していたが、都合により10/8に延期となる。

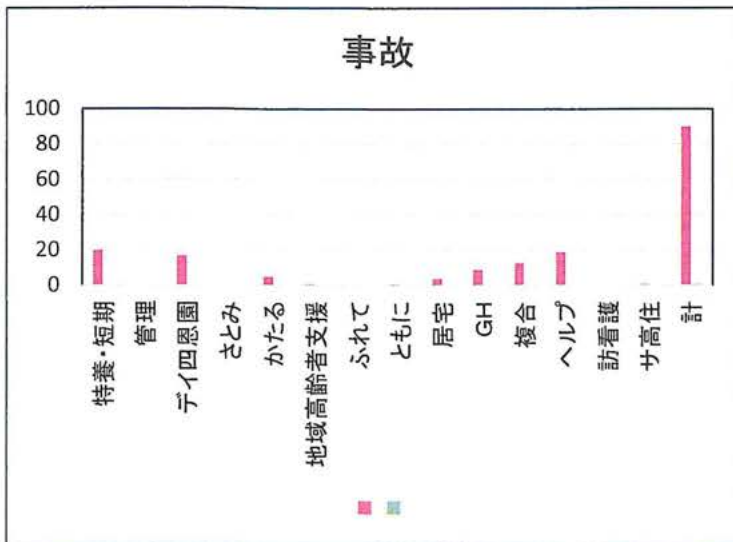
上期同様、月に一度の定期委員会を開催。所有車輛リストを更新。来年度からは年に3回の更新を実施予定。また、職員全体研修を開催したり、送迎車輛における正しいシートベルト装着に関する資料を各課に配布する等、安全運転に関する啓発活動も行った。感染症蔓延に伴い、3月の定期委員会は中止。

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)

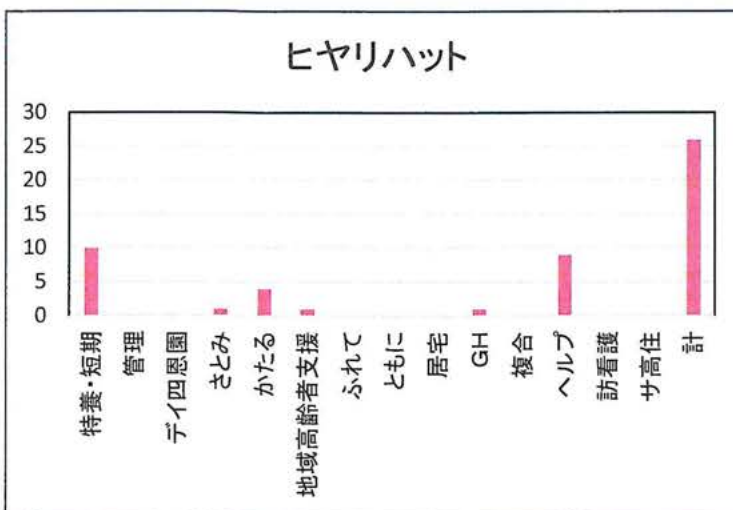
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (追加が必要)

1. 全くできていない

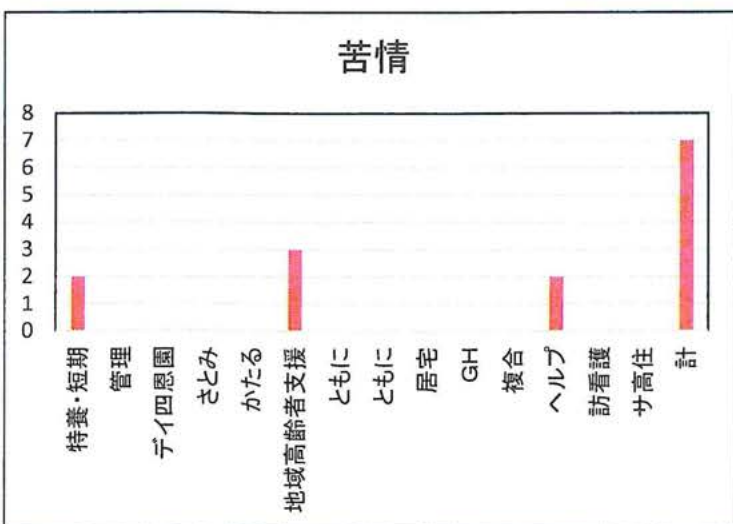
2019年度高齢者施設リスクマネジメント結果(2019. 4～2020. 3)



事故		
特養・短期	20	22.2%
管理	0	0.0%
デイ四恩園	17	18.8%
さとみ	0	0.0%
かたる	5	5.5%
地域高齢者支援	1	1.1%
ふれて	0	0.0%
ともに	1	1.1%
居宅	4	4.4%
GH	9	10.0%
複合	13	14.4%
ヘルプ	19	21.1%
訪看護	0	0.0%
サ高住	1	1.1%
計	90	100.0%

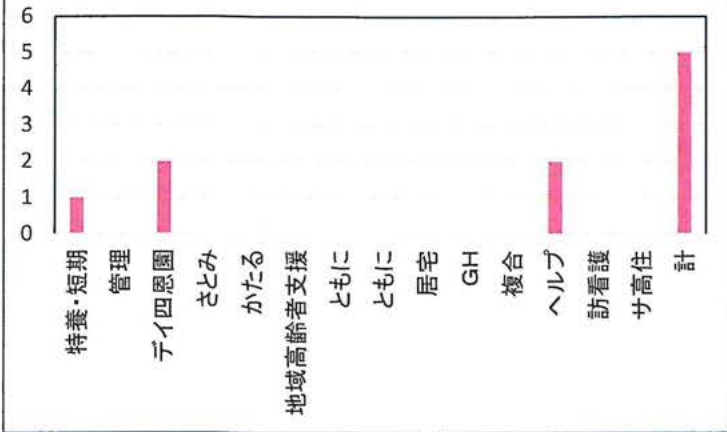


ヒヤリハット		
特養・短期	10	38.4%
管理	0	0.0%
デイ四恩園	0	0.0%
さとみ	1	3.8%
かたる	4	15.3%
地域高齢者支援	1	3.8%
ふれて	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	1	3.8%
複合	0	0.0%
ヘルプ	9	34.6%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	26	88.3%



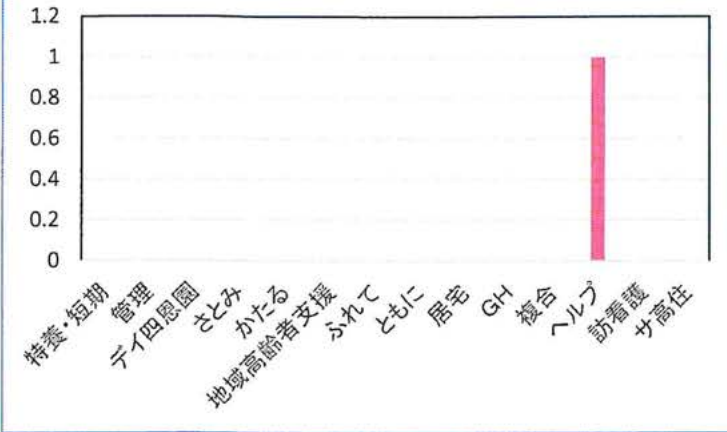
苦情		
特養・短期	2	28.5%
管理	0	0.0%
デイ四恩園	0	0.0%
さとみ	0	0.0%
かたる	0	0.0%
地域高齢者支援	3	42.8%
ともに	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	0	0.0%
複合	0	0.0%
ヘルプ	2	28.5%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	7	

意見・要望



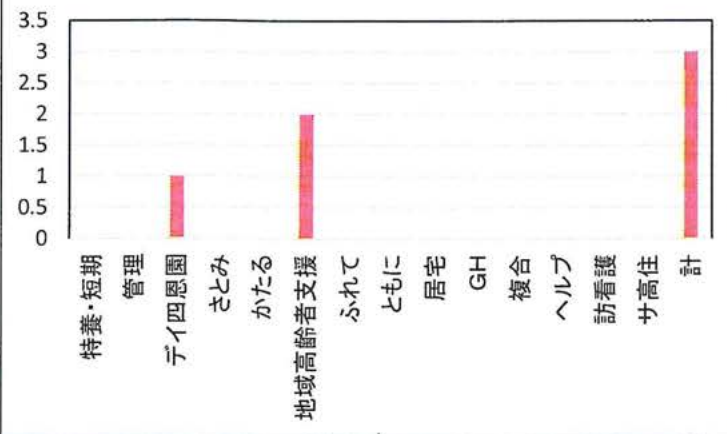
意見・要望		
特養・短期	1	20.0%
管理	0	0.0%
デイ四恩園	2	40.0%
さとみ	0	0.0%
かたる	0	0.0%
地域高齢者支援	0	0.0%
ともに	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	0	0.0%
複合	0	0.0%
ヘルプ	2	40.0%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	5	100.0%

事業所過失



事業所過失		
特養・短期	0	0.0%
管理	0	0.0%
デイ四恩園	0	0.0%
さとみ	0	0.0%
かたる	0	0.0%
地域高齢者支援	0	0.0%
ふれて	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	0	0.0%
複合	0	0.0%
ヘルプ	1	100.0%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	1	100.0%

その他



その他		
特養・短期	0	0.0%
管理	0	0.0%
デイ四恩園	1	33.3%
さとみ	0	0.0%
かたる	0	0.0%
地域高齢者支援	2	66.6%
ふれて	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	0	0.0%
複合	0	0.0%
ヘルプ	0	0.0%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	3	100.0%